



麻生区民会議

第4期区民会議報告書の刊行によせて

第4期区民会議は平成24年7月にスタートし、2年にわたる活動をしてきました。ここにその活動経過と内容、提言をまとめ、報告書としてお届けいたします。

*第4期の区民会議の特徴的な取り組みについて

① 区民会議の認知度をあげよう！！

第4期区民会議も第1～3期までと同様に「市民自治によるまちづくり」をめざし、活動してきました。平成17年に制定された「市民自治基本条例」に基づく「区民会議」ですが、第4期8年を迎えている今日においても市民には広く認知されているとは言えず、低い認知度が問題になりました。そのような現状の中で、

- ・区民会議は今、何に取り組んでいるのか、その内容を知ってもらう。
- ・区民は取り組んでいる内容について、いつでも意見を述べ、共に考えてもらう。
- ・地域メディアの活用を図り、区民会議をより多く取り上げてもらう。また、わかりやすい区民会議ニュースを発行する。

などに努力してきました。

② 区民の生活に生かされるテーマの設定を！！

全体テーマは第1～3期までのテーマを基本に据え、「～人と人と心をつなぐ地域づくり～」に継続し、取り組んできました。

区民の関心の深い身近な課題だけでなく、広い視野で麻生区のまちづくりに資するものとし、テーマの設定を図りました。

- ・安全・安心のまちづくり
- ・若者が住みたくなる魅力あるまちづくり

の2つの専門部会を設け、検討会、勉強会、各種ヒアリング、モデル事業の具体化等を進めてきました。

特に、安全安心のまちづくりにおける「モデル事業」や若者が住みたくなる魅力あるまちづくりにおける第1回あさ子育てフェスタ（安心・楽しい・助かる）などいずれも画期的な事業を実施し、成果をあげました。区民の皆様の意見を伺いながら、次回への具体的な一歩の足がかりを作ることができたものと思っています。

③ 取り組みは次のステップにつながること！！

第3期提言のうち、芸術・文化のまちづくりに関する内容の実現に向けて、フォローアップの取り組みを働きかけてきました。その結果、行政の提言内容への前向きな動きによって一部改善が示される等もありました。

1期2年での新しい取り組みの実現には予算や組織等困難な課題も多く、区民会議委員20名、参与9名の他、区民の力がさらに求められるところです。

2年間の真摯な検討会、勉強会、フォーラム、モデル事業等、多くのパワーと時間を使い、ここに取り組みと提言をまとめました。

これらの提言が今後の区政に反映されることを期待したいと思います。

市制90周年、飛躍の年を迎えます。

さらに「若者にとって住みたくなる魅力あるまち」「安全・安心のまち」になりますことを期待して第4期の報告といたします。

平成26年6月

第4期麻生区区民会議
委員長 菅原敬子

目 次

| | | |
|-----|-------------------------|----|
| 第1章 | 麻生区区民会議の概要 | 1 |
| | 1. 麻生区区民会議とは | |
| | 2. 第1～3期区民会議の審議の流れ | |
| 第2章 | 第4期区民会議について | 4 |
| | 1. 審議課題の選定と審議の流れ | |
| | 2. 会議の構成と役割 | |
| 第3章 | 各部会の審議と取組みについて | 5 |
| | 1. 企画部会 | |
| | 2. 安全・安心のまちづくり部会 | |
| | (1) 背景 | |
| | (2) 検討経過 | |
| | 3. 若者が住みたくなる魅力あるまちづくり部会 | |
| | (1) 背景 | |
| | (2) 検討経過 | |
| 第4章 | 区民会議フォーラム～大地震から助かる命を守る～ | 25 |
| 第5章 | 提言 | 28 |
| | 1. 提言 | |
| | 2. 第4期区民会議を振り返って | |

【資料編】

- 1 第4期区民会議委員・参与名簿
- 2 第4期区民会議の活動の記録
- 3 第4期麻生区区民会議関連資料
- 4 区民会議ニュース
- 5 地域情報紙掲載記事

第1章 麻生区区民会議について

1 麻生区区民会議とは

川崎市では、市民の参加と協働によって暮らしやすい地域社会を築いていこうという考えのもと、平成17年に「川崎市自治基本条例」を制定しました。

区民会議は、この条例が目指している「市民自治によるまちづくり」を進めるために平成18年4月から各区に設置され、麻生区でもこれまで4期（1期2年）にわたって活動してまいりました。

平成24年7月から始まった、今回の第4期区民会議では、区民による区民のための身近な会議になるように、課題の選定から提言に至るまで、区民が直面している問題を常に意識し、委員20名全員が一丸となって審議を進めてまいりました。

また、全体のテーマとして「人と人と心をつなぐ地域づくり」を掲げ、ヒアリング調査やモデル事業の実施など、机上の会議に留まらず、様々な実践的手法を取り入れ、区民や市民団体等、多くの人の声を聴き、人とのつながりを通して、地域課題の解決策を検討し、平成26年6月、提言に結びつけました。



区民：多くの区民の方に、区民会議で企画したフォーラムやフェスタ等に協力、参加頂きました。また、モデル事業、ヒアリング調査では、多くの貴重な意見を頂きました。

委員：第4期麻生区民会議は、各分野からの団体推薦7名・公募6名・区長推薦7名の合計20名の委員で組織されました。（資料P33参照）

参与：麻生区選出の市議会議員、県議会議員は、区民会議の参与として、全体会議に出席いただき、調査、審議に必要な助言を頂きました。

区長：区民会議から解決策の提案を受け、今後、区民の自主的な取組、区民と区役所の協働、関係局区の調整、他の行政主体との連携等によって、解決を目指していきます。

2 第1～3期区民会議の審議の流れ

| | |
|---|---|
| <p style="text-align: center;">第1期</p> | <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 地域のつながり「あいさつ」がはじまり </div> <ul style="list-style-type: none"> ・防犯パトロールの支援の検討 (ベストや腕章等の貸与) ・冊子「あいさつが交わし合える地域づくり事例集」の作成(第2期で実施) <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div> |
| <p style="text-align: center;">第2期</p> | <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 市民活動推進 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・「子ども文化センター」について市民活動拠点としての視点からヒアリング調査等の実施 ・積極的な広報、各施設間の連携の方法を検討 ・区民が利用しやすい施設運用の検討 </div> <div style="width: 45%;"> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 文化芸術のまちづくり </div> <ul style="list-style-type: none"> ・川崎・しんゆり芸術祭2009開催を受け、「市民参加の芸術祭」の取り組みを検討 ・絵画展の開催や美化清掃活動に参加 <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div> </div> </div> |
| <p style="text-align: center;">第3期</p> | <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> <h3>人と人と心をつなぐ地域づくり</h3> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 高齢者・障がい者などが暮らしやすい環境づくり </div> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢化の進展、近隣関係の希薄化などを受け、地域でささえあうコミュニティシステムの視点からヒアリング調査等を実施 </div> <div style="width: 45%;"> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 区民が主体となって進める芸術・文化のまちづくり </div> <ul style="list-style-type: none"> ・情報発信の機能や中心となる担い手など、芸術・文化のまちづくりの形を検討するため、区内の文化芸術団体(8団体)にヒアリング調査等を実施 <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div> </div> </div> <div style="margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <h3>提言</h3> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <ol style="list-style-type: none"> 1. 高齢者に情報を届ける「広報活動」 2. ささえあい活動の運用・展開・仕組みづくりなどによる「地域の絆づくり」 3. 高齢者の交通手段の確保に関する行政の支援 </div> <div style="width: 45%;"> <ol style="list-style-type: none"> 1. 文化振興等の調整・相談機能を担う「文化担当官」の設置 2. 地元の芸術家や団体等のネットワーク強化を目的とした「(仮称)麻生文化会議」の設置 3. 「にぎわい」が共生する街並みの実現のために「川崎市都市景観条例の見直しと弾力的な運用」 </div> </div> </div> |

高齢者が輝く地域づくり

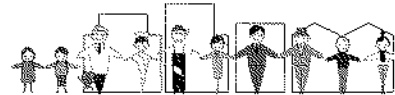
- ・高齢者の地域参加をテーマに「老人いこいの家」の活性化案を検討
- ・「老人いこいの家」と「老人福祉センター」の愛称を募集

※「いこいの家」、「いきいきセンター」の愛称が選定



地元農産物と地域交流

- ・区の特徴である「農」に着目し、区内小学校の食育担当の取組み状況等、学校と地域との連携等について調査



異世代間の交流

- ・専修大学、保育園、高齢者施設と協働して、世代間の交流を実施
- ・「エコバックづくり」や「エコかるた」による交流会の実施



エコのまち麻生の推進

- ・レストランあさおでモデル事業の実施
- ・生ごみ堆肥等で作った花や野菜の写真展の開催
- ・生ゴミリサイクルと地産地消フォ



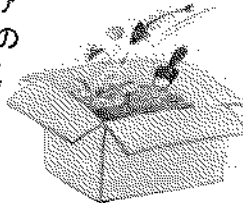
環境教育

- ・身近な地域から地球温暖化防止を進めるため、区内の取組み事例等を調査
- ・学生向けの環境学習資料「麻生区エコカルテ」を作成し、区内小中学校に配布

循環型のまち

・生ごみリサイクル

- ・区民が実践できる「ごみの減量」や「リサイクル」に着目し、市民アンケートや先進自治体へのヒアリング等を実施。写真展、モデル事業を開催



グリーンアップ

・里山ボランティア

- ・麻生区の特徴である緑の減少をふまえ、これまで手つかずだった区内緑地について、市民ボランティアの力を活用しての保全活動を実施



1. 「生ゴミリサイクル講習会」の定期開催
2. 「写真展」の継続実施
3. 資源循環に関する区独自の広報
4. 市民農園の優先枠設置
5. 市民と農家が直接つながる「あさお広場(ファーマーズマーケット)」の開催

1. 地域に限定されないで区の緑を保全管理する団体の立ち上げと、地元住民へ管理を引き継ぐための「里山ボランティア」の構築
2. 「麻生区里山ボランティア事業」の定着発展と保全活動を通じたコミュニケーション

第2章 第4期区民会議について

1 審議課題の選定と審議の流れ

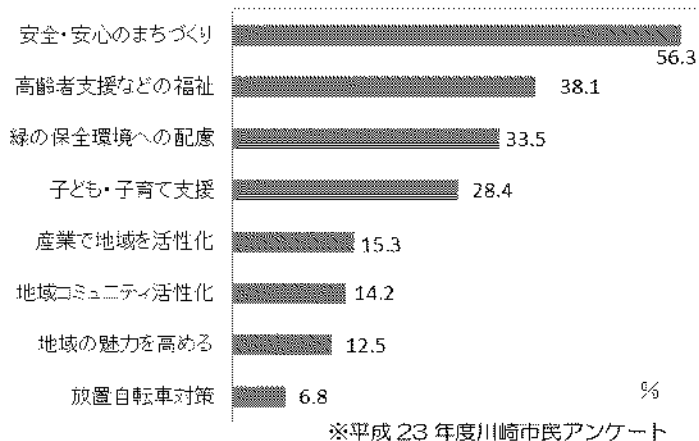
ステップ1

地域課題の把握・整理

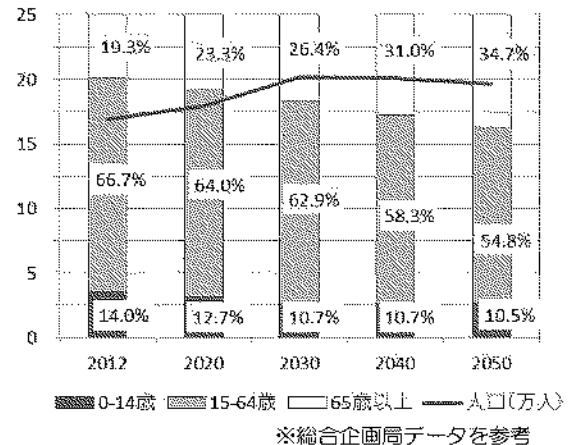
H24.8~9

第4期の区民会議の審議テーマは、企画部会が中心になって、市民アンケートの結果や区の統計等を参考に検討し、区民にとってより身近な課題を抽出しました。

区民会議で取り上げてほしい地域の課題（麻生区民回答）



麻生区年齢別将来推計人口



- ・安全・安心のまちづくりは、市民アンケート結果により、区民の最も関心のあるテーマ。委員の関心も高い
- ・震災対策が進んでいる部分とそうでない部分がある

(目標・方向性)

- ・防災対応や避難対策などの検討も必要
- ・災害対策をコミュニティづくり、町会との絆づくりに活かす
- ・小地域コミュニティづくりを目指す

- ・将来、高齢化・若者減少の加速が予想される
- ・区内では開発行為が進んでいる(目標・方向性)
- ・今から若者が住みたくなるまちづくりが必要
- ・文化芸術振興による魅力づくり
- ・若者が住みたくするためには、子育て支援も必要
- ・芸術・文化と福祉が共存したテーマとして審議

ステップ2

審議テーマの決定

抽出された地域課題を元に、さらに慎重な検討を重ね、区民にとって特に関心が高く、特に対策が必要な2つの審議テーマを決定しました。また、これらを含む全体テーマとして、「人と人と心をつなぐ地域づくり」を掲げました。

人と人と心をつなぐ地域づくり

安心・安全の
まちづくり

若者が住みたくなる
魅力あるまちづくり

20名の区民会議委員は審議テーマごとに「安全・安心のまちづくり部会」と「若者が住みたくなる魅力あるまちづくり部会」の2つの専門部会に分かれ、約2年にかけて、調査、審議しました。

区民会議フォーラムやあさ子育てフェスタの開催の他、ヒアリング調査やモデル事業を積極的に進め、多くの区民や市民団体の声を聴き、審議の充実を図りました。

区民会議運営や広報活動を担う「企画部会」では、地域情報紙と連携し、区民会議の認知度向上のためPRを行いました。

企画部会と各専門部会を毎月開催し、勉強会や協力者への説明会も交えながら、区民や地域に密着した調査を進め、中身のある議論と実践を重ねました。

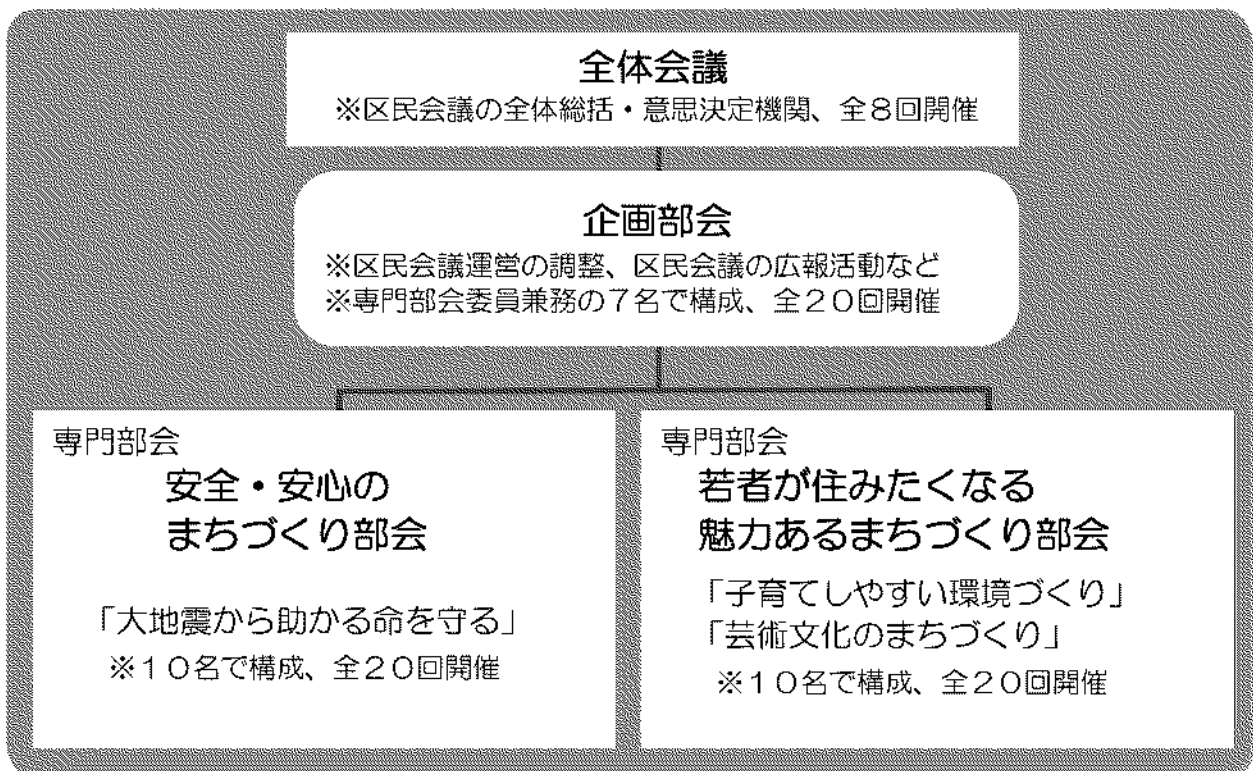
第3章 各部会の審議と取組について

第4章 区民会議フォーラム～大地震から助かる命を守る～

2年間の調査審議の集大成として、提言のとりまとめを行い、区長へ提言しました。

第5章 提言

2 会議の構成と役割

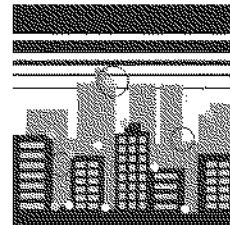


第3章 各部会の審議と取組みについて

1. 企画部会

企画部会は委員長や各専門部会長等を含む7名の委員で構成され、毎月第一月曜日に会議を開き、次のことを検討しました。

- (1) 審議・調査・提言すべき課題の整理
- (2) 区民会議（全体会議・各部会）の運営
- (3) 広報・広聴活動（PR活動・区民会議ニュース等）
- (4) 区民会議フォーラム・あさお子育てフェスタの開催
- (5) 区民会議報告書の作成



(1) 審議・調査・提言すべき課題の整理

区民からのアンケート結果をもとに、区民の関心に合致している地域課題を抽出し、入念に選定を重ね、それぞれの課題について、二つの部会の立ち上げに取り組みました。

(2) 区民会議の運営

各部会の審議や進行状況を、毎月確認する機会を設けました。

お互いの部会の取り組み状況について意見を交換し、各部会の審議の充実を図りました。

また、企画部会が区民会議全体の舵取り役を担うことで、委員間の情報共有（意思統一）が図られ、効率的な運営となりました。

(3) 広報・広聴活動

区民にとって区民会議が身近な会議になるよう、積極的な広報広聴活動を展開しました。

ア. PR活動

次のとおり多角的なPR活動を行い、会議の傍聴の呼びかけ等を行いました。

- ・区内の各地域情報紙（メディ・あさお、タウンニュース、マイタウン）に働きかけ、会議の開催予定や活動経過を掲載しました。
- ・また、フォーラム等の取材協力を要請する等、協力関係を築きました。
- ・市政だよりに区民会議・各部会会議の開催予定を掲載しました。
- ・ホームページで全体会議開催の告知やテーマや審議内容を掲載しました。



マイタウン

地域情報紙などの原稿は、資料編P79～82に掲載

イ. 区民会議ニュースの発行

区民会議の情報を区民に届けるため、区民会議ニュースを全6回発行し、進捗状況などを周知しました。

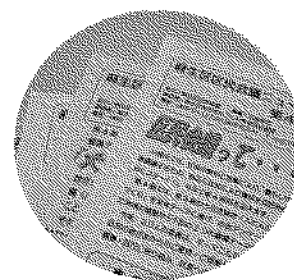
体裁：A4 モノクロ

紙：色上質紙

部数：5,000部/回

配布先：町会・自治会（回覧）、区役所、図書館、
市民館、スポーツセンター、やまゆりなど

編集・印刷・発送準備：企画部会委員が担当



| | 発行時期 | 主な内容 |
|-----|----------|-------------------|
| 第1号 | 平成24年10月 | 第1回・第2回区民会議全体会議報告 |
| 第2号 | 平成25年3月 | 安全・安心部会からのトピックス |
| 第3号 | 平成25年7月 | 若者が～部会からのトピックス |
| 第4号 | 平成25年10月 | 区民会議フォーラムの報告 |
| 第5号 | 平成26年2月 | あさ子育てフェスタ開催案内 |
| 第6号 | 平成26年6月 | 報告書完成（提言） |

原稿は、資料編P72～P78に掲載

ウ. 広聴活動

区民の提案意見を審議内容にフィードバックするため、次の広聴活動を行いました。

- ・区役所ロビーに提案箱を設置し、随時意見を受け付けました。
- ・区民会議傍聴者に対してアンケートを実施しました。
- ・区民会議ニュースの一部に意見欄を掲載し、随時意見を受け付けました。



(4) 区民会議フォーラム・あさ子育てフェスタの開催

各専門部会が企画検討した内容を、企画部会が中心となって調整し、開催日当日の運営や開催に向けての広報を区民会議委員全員で分担しました。また、参加者への区民会議活動の経過を報告するため、ブースを設置しました。

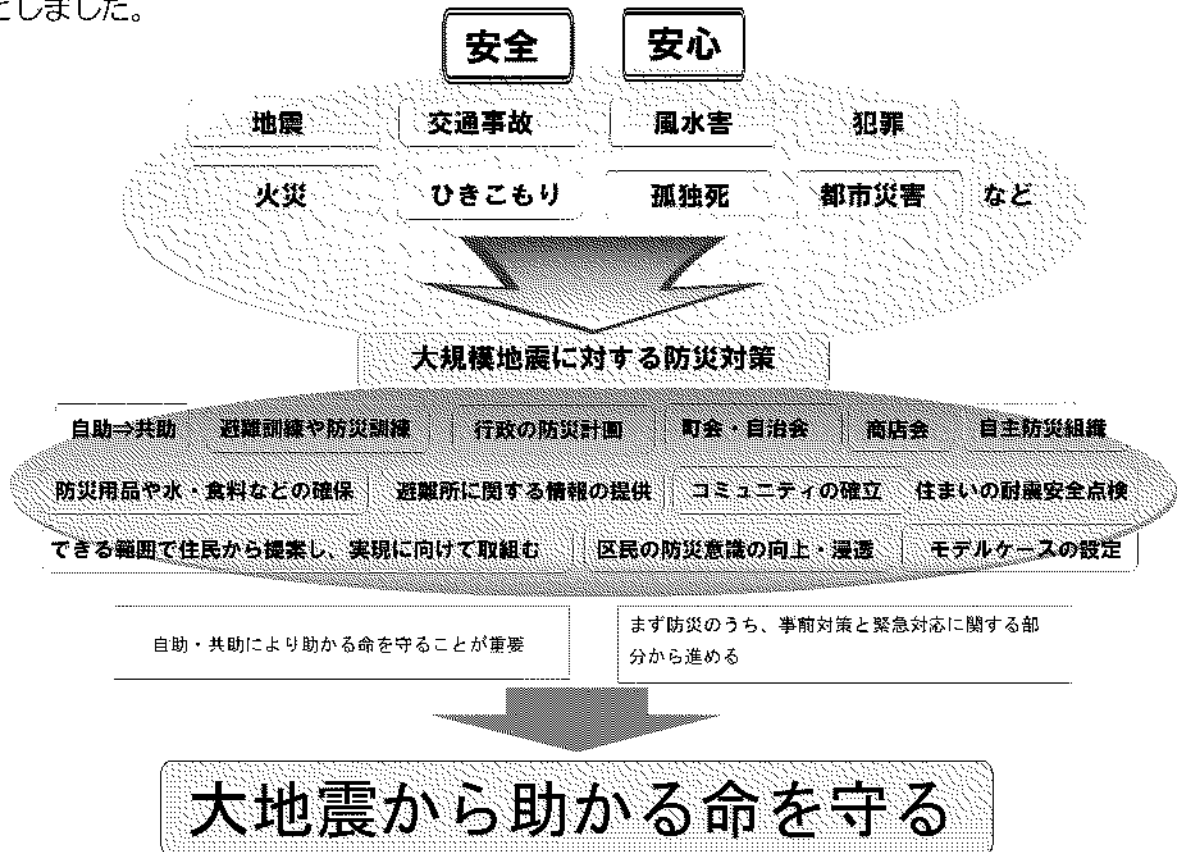
(5) 区民会議報告書の作成

各専門部会と連携し、約半年の期間をかけて、この「第4期区民会議報告書」の編集・作成に携わりました。

2. 安全・安心のまちづくり部会

(1) 調査審議テーマの方向性

「安全」「安心」にかかわる課題の中から、区民の関心が高く、区民の主体的な取り組みにつながる「大規模地震に対する防災対策」に絞り、審議テーマを「大地震から助かる命を守る」としました。



(2) 検討経過

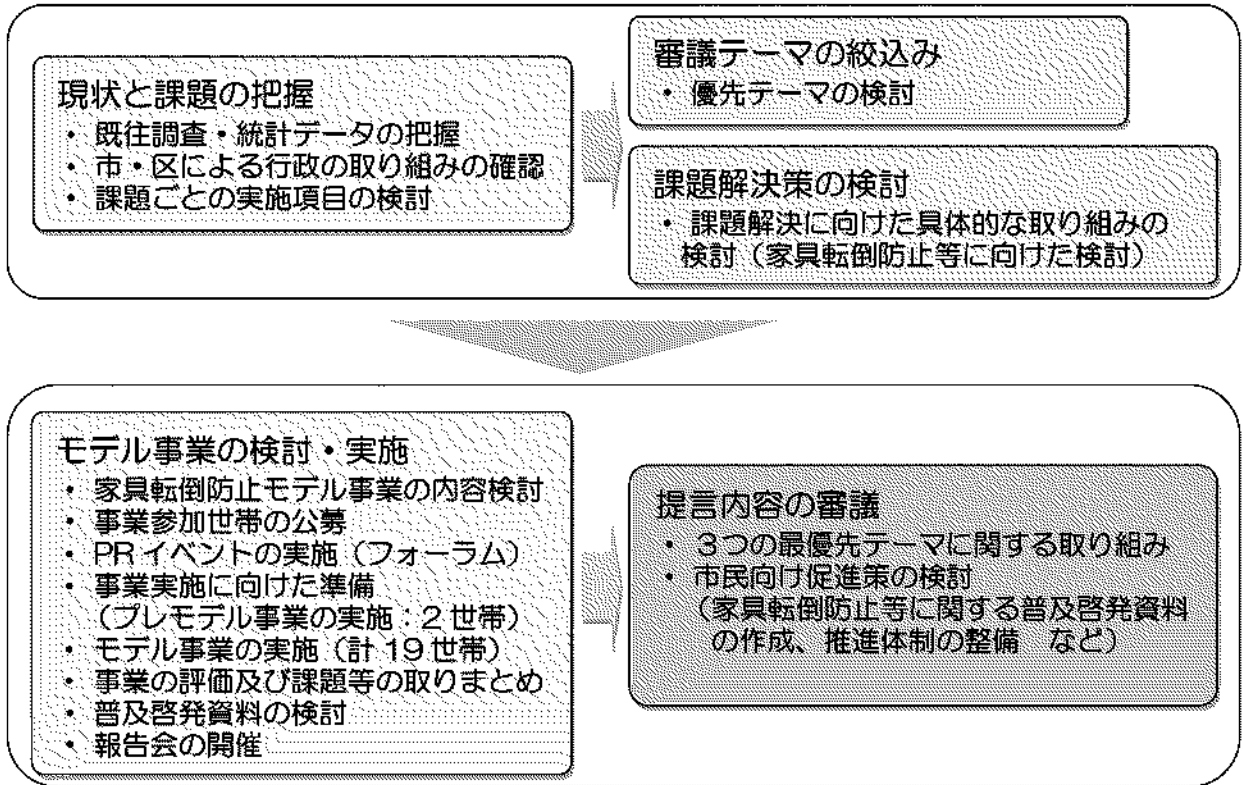
防災に関する数々の課題の中から、公助で行き届かない部分は何か、区民自らが考え取り組んでいける課題は何か検討するため、「川崎市地震被害想定報告書」「麻生区地域防災計画」などの統計データのほか、危機管理体制、防災教育、火災予防・消火対応、耐震促進、自主防災組織などに関する市・区による行政の取り組みを確認しました。

また、課題設定する上で前提となる大地震を「最大震度6強～6弱・発生時間は冬の平日18時」と想定しました。この大地震への対策のうち「事前対策」と「緊急対応」に重点を置き、「自助」「共助」「公助」「企業市民」の項目別に、既の実施されている対策及び今後考えられる対策を洗い出しました(※1)。その中から区民会議として取り組んでいくべき具体策として、『麻生区内で想定される死者(※2)を0にすること』を目標に、「3つの最優先テーマ」、「2つの優先テーマ」を設定し、検討することとしました。

※1 「具体策検討シート」(資料編35ページ)参照

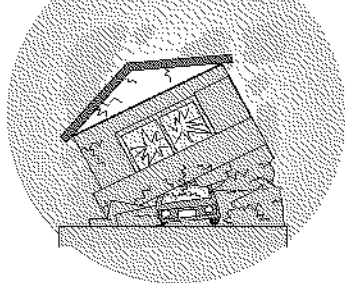
※2 「川崎市地震被害想定報告書(平成25年3月)」より、麻生区では「火災死者26人、建物倒壊死者16人」と想定

検討フロー



3つの最優先テーマ

1 家屋の倒壊防止



- ・ 耐震補強が必要な家屋への的確な情報提供とその解消
- ・ 耐震診断・耐震補強工事の実施の促進 など

2 家具の転倒防止



- ・ 家具・電化製品の適切な固定化の促進、置き場所の見直し など

3 火災予防・火事発生への対応



- ・ 火災予防対策、消火活動に関する近隣での認識共有
- ・ 町会・自治会・マンション等での消火器の設置・共用 など

2つの優先テーマ



- 4 災害時に救援・援護を必要とする要援護者等への対応
- 5 負傷者または生き埋め者の一刻も早い救助、手当、安全な場所への収容

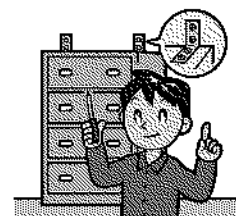
(3) 区民会議フォーラム

部会での調査・審議経過を区民の皆様に報告し、防災に向けた取り組みを考え、行動するきっかけとなるよう、平成25年9月、「大地震から助かる命を守る」をテーマとした第1回区民会議フォーラム（第4章25ページ参照）を開催しました。明治大学園田教授から、安心して暮らすための知恵と心構え、東京大学教授目黒教授から、最優先テーマに関わる大地震に対する事前対策の必要性などをお話いただきました。このフォーラムをきっかけに、後述のモデル事業に応募していただいた世帯もあり、防災についての区民の主体的な取り組みを考える良い機会となりました。



(4) モデル事業

大地震で想定される死者の要因のうち、最優先テーマに関わる「建物の倒壊」「家具の転倒」「火事」でその約9割を占めています。つまり、人的被害を防ぐには「わが家の安全対策」が最も大切です。「大地震から助かる命を守る」に向けて、地震防災対策に関する区民の主体的な取り組みを促進するため、3つの最優先テーマのうち「家具の転倒防止」を中心にモデル事業を実施しました。



内容

①目的

◆モデル事業の実施結果やそこから得られた成果を取りまとめ、普及啓発資料を作成し、区民への普及啓発を通じて地震防災対策に関する取り組みの促進につなげる。

②進め方

◆明治大学建築学科園田教授の監修のもと、モデル事業の進め方を検討。

◆モデル事業の成果を普及・啓発する際の区民の取り組みやすさなどを考慮。

③対象世帯の募集・決定（平成25年7～9月）

◆公募によりモデル事業対象世帯（マンション1棟6戸、戸建て13戸）を選定。

④プレモデル事業・説明会（10月）

◆本格実施前に、実施にかかる所要時間、工事範囲、世帯との調整内容などを把握するため、マンション及び戸建て各1戸に対し、事前調査・工事を先行実施。

◆プレモデル事業での経験を踏まえ、対象世帯全戸に対する説明会を開催。

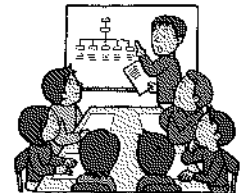
⑤事前調査・工事（11～12月）

- ◆専門技術者を含むグループが、各世帯を訪問し、住まい方や使用状況を伺いながら、家具の転倒の危険性や家屋の構造を調査し、世帯の希望に合わせた固定方法などを提案。
- ◆実際に家具固定工事を行い、工事前後の対象世帯の意識・認識についてのアンケート調査を実施。

【事前調査・工事の具体的な内容】

- 実施体制：専門技術者、区民会議委員等の4～5名のグループ
- 施工の範囲：「命を守る」ことに必要な工事を行うことを前提とし、部屋や工事箇所数は限定しない。
- 工法の選択：区民が自ら取り組めるよう普及・啓発するため、技術的・工学的な合理性、材料入手の容易性、施工の容易性、経済性等を考慮して決定する。
- 金具類の選択：小さい電化製品等は工事の対象とせず、世帯が自分でできるような方法を伝える。
- 世帯との調整：事前調査時に金具サンプルを用いた説明をし、固定する家具類・移動場所・工法などを要望も踏まえて提案。希望しない部屋は工事を実施しない。
- 世帯の協力：写真撮影への同意。アンケート記入。モデル事業実施要項に定めた様式（申込書、確認書等）の記入・提出。※工事にかかる費用負担なし

結果



①工事实績（資料編41ページ）参照

- ◆実施戸数 19戸（マンション1棟6戸、戸建て13戸）
- ◆実施期間 平成25年10月11日～12月21日（プレ実施を含む）
- ◆所用時間 1戸あたり2日、3～4時間（事前調査1～1.5時間、工事2～2.5時間）
- ◆参加者 11名（専門技術者3名、明治大学建築学科教授、明治大学学生1名、区民会議委員6名等）※各戸に数名ずつのチーム編成で参加。
- ◆施工家具合計 222個
- ◆施工数合計 439箇所
- ◆平均施工数 マンション11.2箇所、戸建て17.1箇所

②対象世帯アンケート結果

- ◆対象世帯数 19世帯（マンション6世帯、戸建て13世帯）
- ◆回収率 100%（19世帯）
- ◆調査結果（資料編47ページ）参照

参加した動機は「専門家のアドバイスが受けられる」が最も多く、日常生活での変化では「家具の転倒への不安感が減り、安心して生活ができるようになった」が最も多い。また、家具の転倒防止対策の促進への対応策としては「家具類の転倒防止器具の取り付けの斡旋・施工費用の補助などを市として制度化」が最も多く、参加者はほぼ全世帯から安心して暮らせるようになったと、工事担当者や行政への感謝の言葉が寄せられた。

③参加者意見（資料編50ページ）参照

- ・「施工」を受け持っていただいた専門技術者の方々が極めて協力的、積極的な姿勢で主体的に取り組んでいただいた。
- ・大型の置時計・ショーケースなど、L字金具で固定したくない物は突っ張りジャッキで固定し、見栄えが悪くならないよう壁紙を貼った目隠し板で隠すなど、対象世帯の希望に沿うための工夫と努力には素晴らしいものがあった。

- ・対象世帯には、子ども・孫と同居している、水・食料の備蓄、自分で対策に取り組んでいる、家族に熱心な人がいる等の共通点があった。
- ・「何とかしなければと思うがどうしていいかわからない」「家具自体が重いからちょっとやそっとでは動かないだろう」など、自分でやることは無理と思い、実施していないのが実情らしい。

④まとめ（資料編53ページ）参照

◆活動計画・実施体制について

- ・事前調査により作成した工事計画書を工事前に対象世帯に提示し、確認してもらったため、希望に応じた柔軟な工事ができた。
- ・1つずつ家具を確認する作業により、対象世帯のご家族自身が個々の家具転倒の危険性を知ることができ、安全な住まい方を考えるきっかけを提供できた。
- ・金具・材料の実物を見せ、家具の状況によっては、専門技術者から複数の固定方法を提案したことで、対象世帯のご家族に主体的に家具固定を考えていただくことができた。

各世帯の住まい方に合わせた満足度の高い家具転倒防止工事を実施するためには、事前調査を丁寧に行うとともに、工事日程にゆとりを持たせた計画を立てることが重要。また、施工者には、家具固定の知識や技術だけでなく、対象世帯への説明や対話ができるスキルが求められる。

◆固定方法について

- ・木製家具以外を固定する方法、金具やアイデア商品以外を使った固定方法、専用バールや下地探し器、家具固定に有用な材料など、専門技術者の発想や技術を間近で見て、一般的に知られていない知識を得ることができた。
- ・ホームセンターなどで簡単に安価に手に入る材料で簡単に実施できる固定方法がある一方で、マンションの躯体壁へのビス打ちなど専門的な器具や技術が必要な方法もあり、工事の難易度に幅があることがわかった。
- ・マンションなど区分所有建物の場合には、工事箇所が専有部分か共有部分かによる取り扱いの違い、管理組合への届出や許可申請など、管理規約等に基づく手続きや制約があることがわかった。
- ・固定方法を提案する際に丁寧な説明をすることで、どんな震度でも絶対に転倒しないという保証はないことを前提に、対象世帯には納得の行く方法を選択してもらうことができた。

固定方法は、実施しやすいもの・施工の難しいものなど、多様な方法があり、その中から適当なものを、できれば複数、選択する必要がある。

◆対象世帯について

- ・子どもや孫と同居しているなど、自分以外の誰かの安全を確保したいと考えることが防災対策の実施への動機付けになることがわかった。
- ・防災対策への関心が高い世帯でも、なかなか意識が家具固定の行動に結びついていないことがわかった。

誰かのためと考えることが防災への動機付けになり、具体策を提示することで意識が行動に結びつく。

課題

【課題1】区民が家具転倒防止に取り組むためのきっかけづくり

◆課題解決の視点

- ・取り組みのきっかけに何が有効かを再検討すべき
- ・誰（子どもなど）のための家具転倒防止かを強調すべき
- ・関心を持つことから実際の行動まで誘導する必要がある

【課題2】適切な取り組みにつながる普及啓発資料の作成・活用

◆課題解決の視点

- ・平易で一般的な方法のわかりやすい普及と一般的でない困難なケースに対する専門技術者による協力を考慮すべき
- ・誰（区民、地域組織など）が活用するか明確にした上でのツール作成が必要

【課題3】取り組みを推進する「組織づくり」「人材育成」

◆課題解決の視点

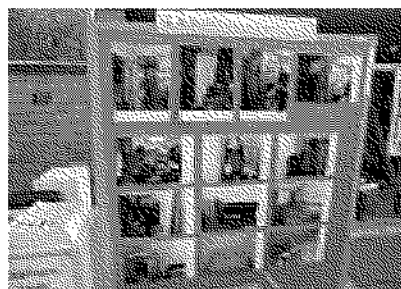
- ・普及啓発、コミュニケーション、専門技術などいくつかの役割を担う人材や組織が必要
- ・住まい手の視点に立ち、個々の状況に応じたきめ細やかな対応が必要
- ・組織づくり、人材育成に関しては、公的な支援もあった方が望ましい

（5）実物や写真を使った展示と実演

平成26年4月13日に開催した「あさお子育てフェスタ」において、2階エントランスホールの一 corner で「家具転倒防止モデル事業」の成果の普及啓発活動を行った。タンス、テレビ等、実物の家具を設置し、揺らして転倒の可能性や怖さを実感してもらったり、写真を展示して具体的なイメージを持ってもらったり、滑り止めシートの効果を実感してもらった上で自宅で試してもらえようサンプルを配布するなど、分かりやすい展示と実演を行った。イベントの性格上、子ども連れのご家族が多かったので、実演には子どもが面白がり、分かりやすい説明には親御さんが興味を示すなど、普及啓発活動の第一弾としては、一定の効果があつたと思われる。

実物の家具を使用した場合、実際にL字金具で固定する実演よりも、ぐらぐら揺らしたり、テーブルが滑り止めシートを敷くだけで画期的に滑りにくくなることを目の当たりにして対策の有効性を認識したりするような展示・実演が有効であることを実感した。また、大判の写真や説明用パネルを活用することも効果的であることが分かった。このように、今後展開していくべき普及啓発活動のあり方を検討する良い機会ともなった。

なお、今回は、モデル事業にも専門技術者として参画された篠原進氏に全面的な協力をいただき、装置や実物家具の提供、来場者に無料配布する滑り止めシートのサンプルの用意、来場者への説明など、多方面にわたって貢献していただいた。安全・安心のまちづくり部会のメンバーは、篠原氏のアドバイスを受けて来場者への説明・実演を行いながら、徐々にコツをつかんでいった。



(6) 提言内容の検討

モデル事業等を実施した経験を通じて、以下のような教訓が得られた。

- ①単に「家具固定の方法」を技術的に伝えるだけでなく、広く区民に対して、家具転倒防止に関して、「関心や興味を持ち、やろうという姿勢を持つ」という意識に訴えることが重要であること。
- ②「家具固定の方法」は、素人でもできることが大半であり、その技術やノウハウを普及啓発資料として区民に伝えることが有効であること。ただし、専門技術者の手を借りた方がよい場合もあることも併せて伝えることが望ましいこと。
- ③家具転倒防止を普及させ、さらに家屋の転倒防止や火災予防・火事発生への対応も含めて総合的な地震安全対策を広く区民に浸透させていくためには、得られたノウハウ・技術に関する普及啓発活動と併せて、推進体制の整備や、公的な支援制度の充実などが求められること。

このような問題認識に基づき、普及啓発資料についてはその案を作成するとともに、区長に対する提言を取りまとめることとした。

小さな取組みが大きな安全につながる 一家具の転倒防止モデル事業から得られた知見一
明治大学理工学部教授 園田真理子

今般、安全・安心のまちづくり部会の「家具の転倒防止等モデル事業」のお手伝いをさせていただき、何よりも嬉しく思うのは、このモデル事業によって、防災に関する実に重要な点が次々に解き明かされたことです。

その第一として、家具の転倒防止に関して、科学的ともいえる貴重な方法やデータを明らかにすることができました。

例えば、家具の転倒防止とは、すぐに工事に取り掛かれるものではなく、その前に綿密な準備が必要でかつ重要なことがわかりました。今回のモデル事業では、協力いただけるお宅を専門技術者と区民会議委員がチームを組んで事前訪問し、家具の種類や位置、日頃の使い方や工事にあたっての希望等を居住者の方に伺い、さらにどのような対策があるかの選択肢を示して、居住者の方と相談して決めるという方法をとりました。この準備が綿密であるほど実際の工事は効率よく進み、また結果の満足度も高いようです。その事前調査時間に1～1.5時間、実際の施工時間に2～2.5時間かかることも、19の事例を通じてわかりました。

また、転倒防止が必要な家具の数は、平均して、マンションの場合は11.2個、戸建ての場合は17.1個、1個あたりの家具に2種類程度の工事を行うと効果的なこと等がわかりました。これらの点から、転倒防止に必要な費用（コスト）も極めて明解にはじき出せます。

さらには、家具の転倒防止は、万一への備えに留まらず、一つずつの家具を吟味する中で、その要否や使い方、置き方への問い直し等、日常的な生活の見直しにもつながるという思わぬ発見もありました。

第二には、モデル事業を通じて、チームワークが極めて大切なことと、それが地域の関係力を培う源泉になり、目にみえない防災力を高めることが実感されました。今回の成果は、小水内公彦氏（ジェクト株式会社）と篠原進氏（家具転倒防止一経験交流サイト代表）の専門技術陣と、良き隣人としての区民会議メンバー、そしてモデル事業参加者のチームワークの賜物です。この場を借りて、これらの方々のご尽力に深く敬意と感謝を表するとともに、日常、非常時を問わず、防災にはチームワークの良さがものをいうことを強調しておきたいと思います。

本モデル事業の成果が、麻生区に留まらず市域や市域を超えて広がることを期待しています。小さな取組みが大きな安全につながります。

3. 若者が住みたくなる魅力あるまちづくり部会

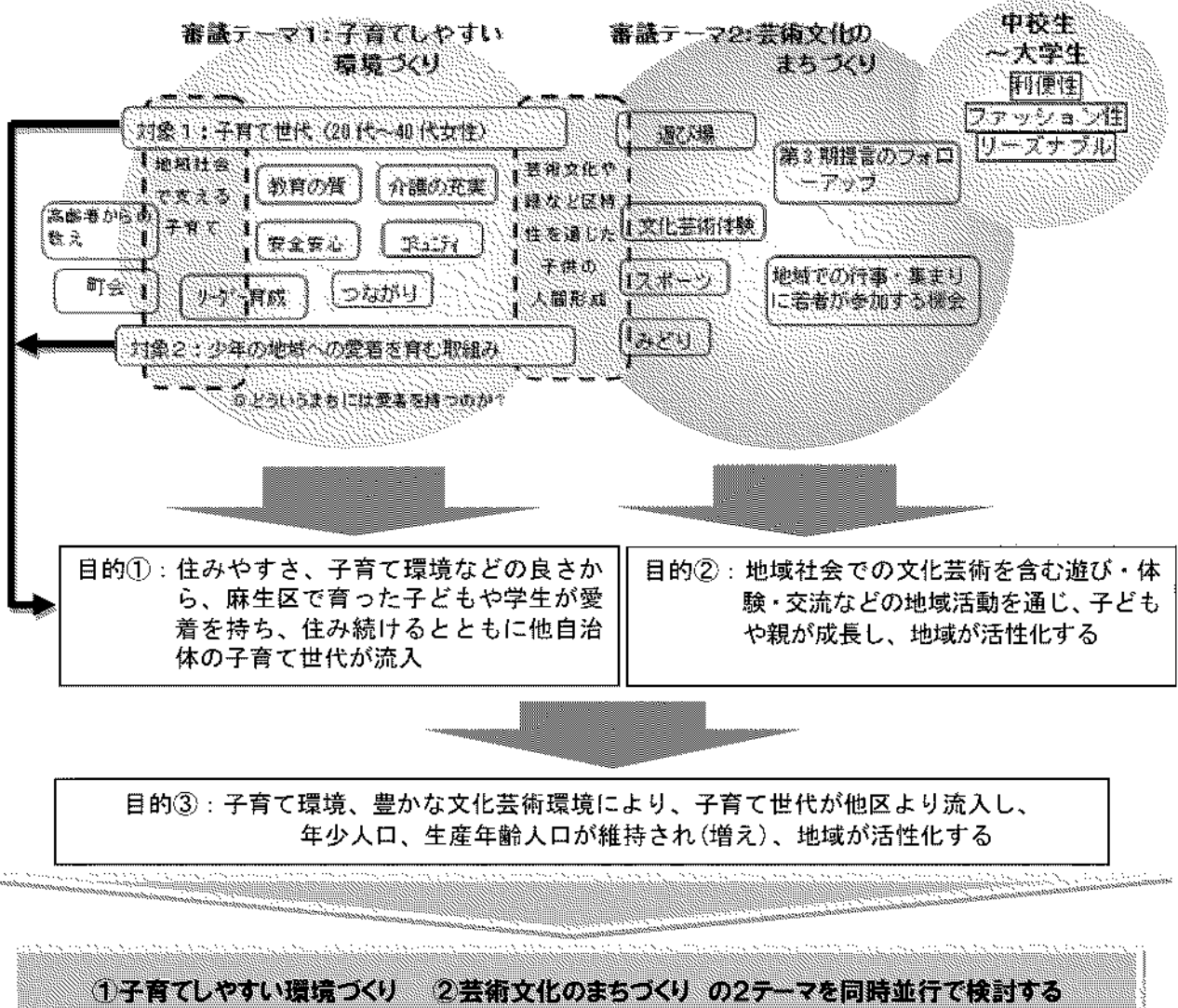
(1) 調査審議テーマの方向性

「若者」を広くとらえると、子どもから子育て中の 20～40 代まで幅広い年齢・世代が含まれますが、それぞれのまちの魅力に対する価値観も様々あると考えられます。子どもについては、地域に対する愛着醸成、中学生から大学生までは、まちの利便性やファッション性、リーズナブル性、子育て世代については、教育の質・地域のつながりなどの子育てしやすい環境づくりが必要などの意見が出されました。更に、高齢化・若者減少に備えて定住人口・生産年齢人口を増やすための施策検討が必要という視点から、子育て世代（20～40代）を主な対象として、子育て支援に関する調査審議を進めることとしました。

また、区の特徴であり魅力である芸術文化の推進も、「若者が住みたくなる魅力あるまち」実現のための大切な要素であることから、第3期麻生区区民会議提言内容のフォローアップも含め、芸術文化のまちづくりについて調査審議を進めることとしました。

調査審議テーマの概要

「若者が住みたくなる魅力あるまち」



(2) 子育てしやすい環境づくり

1) 検討経過

子育て環境における現状と課題把握の第一歩として、川崎市の既往調査・データの整理を行うとともに、区に固有の現状・課題を把握するため、区民会議によるアンケート調査を実施しました。その結果から、「未就学児」に焦点を当てた「子育て世代を支援する多様な保育の展開」にテーマを絞り、子育てにおける早い段階から麻生区に定住してもらえる環境づくりについて検討を進めることとしました。

さらに、区内子育て団体6箇所へのヒアリング、および行政所管課へのヒアリングを行い、「子育て環境」における現状と課題をまとめました。

■既往調査の整理

- ・川崎市民アンケート（H23年10~11月）
- ・川崎市次世代育成支援に関するニーズ調査報告書（H21年2月）
- ・川崎市青少年意識踏査（クロス集計）（H22年9月）

■区民会議によるアンケート調査

- ・「こどもと一緒にコンサート」でのアンケート調査（平成25年2月）（72票）

未就学児の子育て世代を支援する多様な保育の展開

■ヒアリングの実施（平成25年4月～6月および9月）

- ・区内6つの子育て団体および行政所管課へのヒアリング

- | | | | |
|-------|--------------|------------|----------|
| 子育て団体 | ①地域子育て支援センター | ②子育て自主グループ | |
| | ③子育てサロン など | | |
| 行政 | ①こども支援室 | ②児童家庭課 | ③生涯学習支援課 |



2) 現状と課題の把握

アンケート結果、および子育て団体へのヒアリングの結果、子育て現場の課題として以下が抽出されました。

川崎市子育てアンケート

■子育てで困っていること【上位3位】

- 第1位：安心して遊べる場所がない
- 第2位：交通機関や建物がバリアフリーではない
- 第3位：子どもの犯罪被害

■子育てを楽しく行うためのサービス【上位3位】

- 第1位：子どもを遊ばせる場や機会
- 第2位：親のリフレッシュの場や機会の提供
- 第3位：子育て中の親同士の仲間づくり

こどもコンサートアンケート ※1

■子育てで困っていること【上位3位】

- 第1位：保育園がいっぱいで入所できない
- 第2位：いざというときに子どもを預かってくれる人がいない
- 同2位：保育料や教育費の負担が大きい

■行政に期待すること【上位3位】

- 第1位：近くで遊べる公園や広場の充実
- 第2位：子どもと遊べるスポーツ・芸術・文化各施設や活動の充実
- 第3位：保育園の受入定数の拡大

※1 「こどもコンサートアンケート結果」（資料編55ページ）参照

抽出課題項目一覧 ※【 】は課題のキーワード

A 子育て支援・保育サービス【安心・助かる】

●サービス時間の延長や土日の開館など、不足の声が挙げられている。

B 預けられる場所・病後児保育【安心・助かる】

●現行システムでは、前申請が必要だったり、緊急で預けられる施設がない。

C 子育て相談【安心・助かる】

●平成25年7月より児童家庭課に保育士が設置されており、相談業務を展開している。

D 公園・遊ぶ場所【助かる・楽しい】

●家族が楽しく遊べる公園や、安心して遊べる場所がない、という意見が多い。

E 情報発信【安心・助かる】

●子育て支援の情報不足、情報の錯綜などが挙げられている。

F 親同士の交流【安心・楽しい】

●親同士が気軽に集まれる場所が欲しいという意見がある。

G 保育園・文化施設【安心・助かる】

●保育園は1,800人が定員、26年に270人増となる。

H 児童虐待等支援の必要な児童への対応【助かる】

●虐待件数の比率は年々増加傾向。未就学児より小学生～中学生

I 子育てと仕事の両立【楽しい・助かる】

●子育てと仕事の両立できる仕組みづくり、イクメンの関心が弱い

J 保育人材【助かる】

●子育て活動の現場での人材不足。自主保育グループの活動は責任が重い。

K 保育活動団体【助かる】

●公園の遊具が少ない。活動場所が毎回変わるので疲れる。プレーパークづくりのための法整備。公園があまり利用されていない。

※2「子育て支援グループへのヒアリング結果」（資料編56ページ）参照

3) 課題解決策の検討

子育ての現場から多くの課題が挙げられた一方で、区内では行政や子育て団体等による多種多様な支援がきめ細やかに実施されていることもわかりました。

これらの情報や支援策を区民に広く周知するとともに、抽出した課題解決策のひとつとして安心して楽しみながら子育てをしていただける機会の提供が必要と考えました。そこで、子育てフェスタの開催を提案することを視野に、方向性・内容を検証するため、モデル事業「あさお子育てフェスタ」を実施しました（内容詳細は、19ページ参照）。

(3) 芸術文化のまちづくり

1) 検討経過

芸術文化活動によるまちの魅力アップ推進のため、芸術文化団体10箇所及び行政所管課へのヒアリングを行い、「若者が住みたくなる魅力あるまち」実現のための課題の把握と第3期区民会議からの提言が具体的に行政においてどのように審議・実現のプロセスにあるのかフォローアップを行うこととしました。

■ 調査審議課題

- 1) 若者が楽しめる・住みたくなる芸術文化のまちづくりに向けた課題の把握
- 2) 3期提言のフォローアップ
 - ①文化担当官の設置
 - ②(仮称)麻生文化会議の設置
 - ③川崎市都市景観条例の見直しと弾力的な運用



■ 既往調査の整理 (平成 25 年 2 月～5 月)

- ・新百合ヶ丘地域活性化委員会の報告書 (平成 24 年 3 月)
- ・「新百合ヶ丘駅周辺の芸術のまちづくり」に関するアンケート (平成 24 年 3 月)

■ ヒアリングの実施 (平成 25 年 5 月～8 月)

- ・麻生区をフィールドとしている芸術文化団体および行政所管課へのヒアリング
- 芸術文化団体 ①麻生文化協会 ②日本オペラ振興会 ③民藝 ④区内大学
⑤麻生フィルハーモニー ⑥麻生合唱団 など 10 箇所
- 行政 ①市民文化室 ②川崎市文化財団 ③麻生区役所 ④麻生市民館

2) 現状と課題の把握

既往調査やヒアリングの結果、以下のような課題が抽出されました。

ヒアリング結果(芸術文化団体 10 団体、市民文化室、川崎市文化財団、麻生区役所、麻生市民館) ※3

① 若者や子供など多くの市民が楽しめる芸術・文化のまちづくり

- ・子どもと一緒に楽しめる催しがいろいろ開催されているにもかかわらず、情報提供の方法や見せ方が充分でない。

② 第3期区民会議提言内容のフォローアップ

(ア)文化担当官の設置・(仮称)麻生文化会議の設置:関連団体・行政ともに、文化担当官(コーディネーター)および文化会議設置については原則、賛同しているが、どこが(だれが)担うべきか、どのような組織とするか、担うべき業務などについての意見が分かれている。

(イ)情報発信・活性化(川崎市都市景観条例見直し): (行政:提言を受けて)景観条例の一部見直し、駅コンコースの柱にポスター設置への働きかけなどの取組みがスタートしている。

③ 川崎市や麻生区への要望、「しんゆり・芸術のまち」の施策の方向性について

- ・活動団体の練習場所の確保やホール整備の問題が挙げられているが、市民館の建て替えやホールの設置などハード面の整備は、難しい状況である。団体の活動方針・内容によって必要な設備(防音など)、広さも様々である。
- ・「芸術のまち」としての麻生区の地域ブランドを確立し、商業者とも相談して情報発信を図る必要がある。

※3「芸術・文化団体及び行政へのヒアリング結果」(資料編58・59ページ)参照

3) 課題解決策の検討

ヒアリングの結果、区内では子どもと一緒に楽しめる芸術・文化の催しがいろいろ開催されているにもかかわらず周知不足である状況が浮き彫りになりました。これを踏まえて、モデル事業「あさお子育てフェスタ」の場を活用して、現状の把握と提言の方向性・内容を検証することとしました。

第3期区民会議の提言(文化担当官及び(仮称)麻生文化会議の設置等)については、

原則賛同が得られ、行政サイドでも提言を受けた取組が始められていることがわかりました。また新しい課題として、練習場所確保の問題などが挙がっており、これらを整理して提言の方向性を検討することとしました。

(4) あさお子育てフェスタ (モデル事業)

「子育てしやすいまちづくり」の課題として抽出された「親子が一緒に楽しめる場の提供」、「行政情報の提供」、「相談窓口の設置」などを解決する1つの手法となると考え「あさお子育てフェスタ」をモデル事業として実施しました。

フェスタは、区役所4階の第1～5会議室、予防接種ホール、及び区役所前広場にて、さまざまな遊びの場を提供する「遊び・交流の広場」や昭和音楽大学等とのコラボレーションによるミニコンサート、行政の子育て情報コーナーの設置など、様々な催しが繰り広げられました。会場は、開始時間から終了時間まで、予想をはるかに超える大勢の親子連れで賑わい、お父さんの姿も多数見られました。運営は、地域の子育て支援団体や主任児童委員部会の協力と熱意により準備から実施まで手際よく開催され、フェスタは大成功のうちに終わりました。

内容

- ◆開催期日 平成26年4月13日(日) 10時30分～15時00分
- ◆開催場所 麻生区役所4階会議室、予防接種ホール、区役所前広場
- ◆テーマ 子育てするなら麻生区で～安心・楽しい・助かる～
- ◆当日プログラム オープニング挨拶(館内放送) 区民会議委員長、麻生区長
各会場でのプログラムの実施
- ◆来場者 2,500人(パンフレット配布数769部から推定)
※フェスタのチラシ・パンフレットは(資料編●ページ)参照



親子連れで賑わう会場

【区役所前広場】フリーマーケット、麻生プレーパークを創る会、かきまるくんと交流

区役所前広場では、フリーマーケット(計51区画の参加)のほか「麻生プレーパークを創る会」のブースが設置され、フェスタ開始直後から大勢の親子で賑わいました。特に、フリーマーケットの気持ちは高く、アンケート結果でもフリーマーケットが良かったと回答している割合が最も高く(48.3%)、「子どもの成長は早いため役立つ」という声がたくさん挙げられました。

「麻生プレーパークを創る会」のブースでは、自然素材を使った工作をしながら、出展者との会話を楽しむ家族の姿も見られるとともに、広場には時折登場した区の木「禅寺丸柿」のゆるキャラ「かきまるくん」と一緒に写真撮影をする親子の姿も多数ありました。



ゆるキャラ「かきまるくん」



麻生プレーパークを創る会



フリーマーケット



フリーマーケット

【区役所2F】受付、子育て情報コーナー、保育・幼稚園児の作品展

区役所 2 階では受付の他、保育・幼稚園児の作品、子育て情報コーナーを設置しました。保育・幼稚園児の作品は、折り紙や写真による装飾などそれぞれの園の創意工夫に富んだ素晴らしいポスターがたくさん掲示され、親子の関心を集めました。

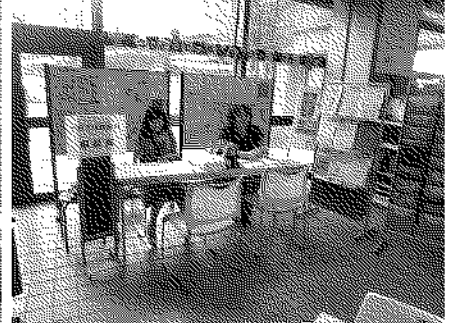
子育て情報コーナーでは、麻生区の子育て支援情報を掲示するとともに、相談員を設置し子育てに関する情報案内をしていただけるようにしました。



受付でも主任児童委員会
の方々がお手伝い



保育・幼稚園児の作品展



子育て情報・相談コーナー

【予防接種ホール】ミニコンサート、みんなで楽しくうたっておどってゴーゴー！、人形劇「虫たちのファンタジー」



昭和音楽大学のミニコンサート



会場は親子で音楽を楽しむ
参加者でいっぱい

予防接種ホールでは、昭和音楽大学によるミニコンサート（午前1回、午後1回）、アルテリッカボランティアによる「みんなで楽しくうたっておどってゴーゴー！」、はるひ野保育園による「人形劇・虫たちのファンタジー」が開催され、いずれのイベントも満員御礼、会場は熱気に包まれました。

昭和音楽大学によるミニコンサートでは、普段なかなか聞くことのできない管楽器、ソプラノ、アルト、テナー、バリトンサクソフォンのそれぞれの音色の違いが動物の泣き声を実演しながら紹介され、子どもたちに馴染みの曲を中心に演奏が展開されました。「となりのトトロ」など、良く知っている歌についてはみなで一緒に歌う場面も見られました。

「みんなで楽しくうたっておどってゴーゴー！」では、ネコやウサギ、パンダなどの着ぐるみが登場し一緒に踊る音楽パフォーマンス、「人形劇・虫たちのファンタジー」は、芋虫たちの人形や絵を駆使した独特のパフォーマンスで子どもたちを魅了しました。

【区役所4F】遊び・交流の広場

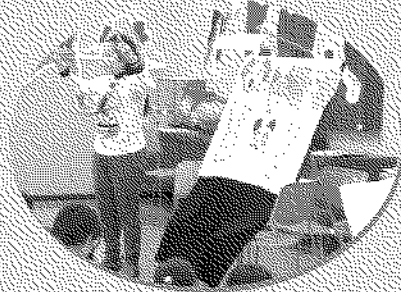
区役所4階「遊び・交流の広場」では、第1会議室を「遊び」、第2会議室は「アンパンマン映画『それいけ！アンパンマンルビーの願い』の上映」、第3会議室は「工作」、第4会議室は「フリースペース&情報相談コーナー」、第5会議室を「絵本コーナー&おはなし会」というテーマにてさまざまな催しが展開されました。特に、第1～3会議室は常に満員の状況で大変賑わいました。

第1会議室
遊び

遊びの部屋では、「親子で歌おう（英語の歌やわらべ歌など）」（エデュケアルームベリーキッズ）、「親子でハルーン遊び」（白鳥保育園）、「みんなで歌うパネルシアター＆ブラックライトシアター」（和光大学）、リトミック（はるひ野保育園）、手遊びうた音楽に合わせて遊ぼう！（風の谷幼稚園）と、いずれも自宅ではなかなかできないような、大勢の親子がともに楽しめるイベントが繰り広げられ、子育てをする親もともに楽しむ機会となりました。



親子でハルーン遊び



みんなで歌うパネルシアター・
ブラックライトシアター



親子でともに楽しむ

第2会議室
アンパンマン
上映会

アンパンマンの映画上映は、当初午前1回、午後2回の2回上映の予定でしたが、人気のため3回上映することとなり、いずれの回も満員となりました。大変盛況であった一方、アンケートでは会場への誘導、空調、座席の設置、音響、隣の部屋のイベントの音が漏れるなどの改善を望む声も多く挙げられました。



アンパンマン上映に長蛇の列

第3会議室
工作

工作の部屋では、「グルグル動き回るおもちゃ工作」（健康いきがいつくり教室）、「によるによるへびをつくろう！」（地域子育て支援センターおかがみ）、簡単手作り工作（エデュケアルームベリーキッズ）、手作り玩具作り（五月台ルミナス保育園）、「走る車づくり・紙粘土の家作り」（風の谷幼稚園）のコーナーが提供されました。

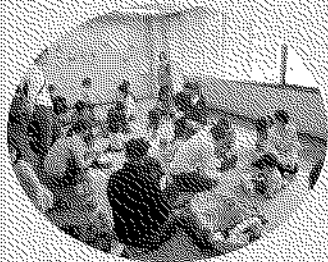
どの工作も大変人気で、材料がなくなってしまうコーナーもありましたが、年配の方から教えてもらう工作や、自分で作ったもので楽しそうにお友達と遊ぶ姿が印象的でした。



左: グルグル動き回る
おもちゃ
中: 走る車づくり
右: によるによるへび
をつくろう!

第4会議室
フリースペース
情報相談

にこりんおもちゃ図書館、はるひの保育園、あさおオモチャとしょかん、知ろう小児医療守ろう子供達の会、ジャンケンボン、の協力により親子が自由に交流できるスペースと小児医療情報・相談コーナーを設置しました。



第5会議室
絵本
おはなし会

おはなしたまへはこの協力により、自由に絵本の読み聞かせができる場所の提供と講師によるおはなし会が随時開催されました。



アンケートによる検証

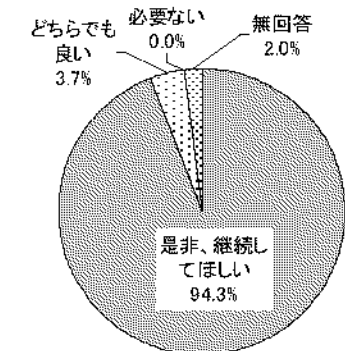
「あさお子育てフェスタ」の有用性、子育てしやすいまちづくりや子育て世代の芸術文化のまちづくりに対するニーズ検証のため、来場者や協力団体にアンケートを実施しました。（来場者アンケートは資料編64ページ、協力団体アンケートは67ページ参照）

①あさお子育てフェスタの有用性

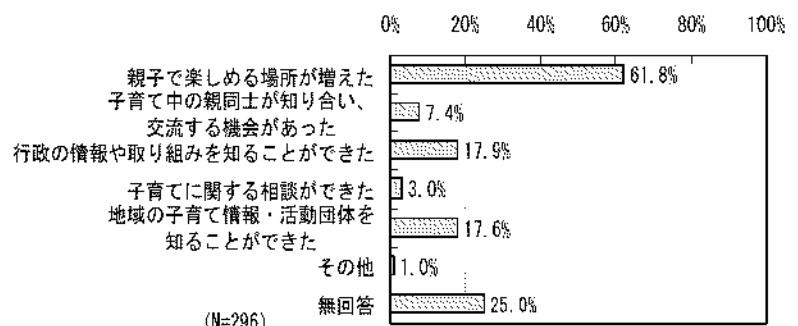
「あさお子育てフェスタ」の感想と継続実施の希望について聞いたところ、回答者の94.3%が「是非継続してほしい」と回答し、非常に高いニーズが検証されました。また、「とても楽しかった」「楽しかった」を合わせて82.4%が「楽しかった」と回答しており、参加した親子がフェスタを楽しめたことが伺えるとともに、フェスタが意図した目的、①親子で楽しめる場所の提供(61.8%)、②行政の情報や取り組みの周知(17.9%)、③地域の子育て情報・活動団体の周知(17.6%)についても一定程度達成できたといえます。企画内容については「育児用品フリーマーケット」が約48%で最も高く、次いで「遊び・交流の広場」が約42%となっており、この2つが特に好評でした。

また、今回、準備から当日実施まで大変熱意を持って協力いただいた地域の子育て団体18団体に行ったアンケートでは、13団体から回答があり、12団体が「参加して良かった」と回答、「悪かった」は1団体のみでした。また、第2回目開催への参加意向について、10団体は「参加したい」と回答し、回答の無かった3団体も「時期があえば参加したい」など前向きなコメントでした。その他「団体の宣伝ができた」「他団体と交流できた」など、本イベントに対する肯定的な意見や期待が多数寄せられました。

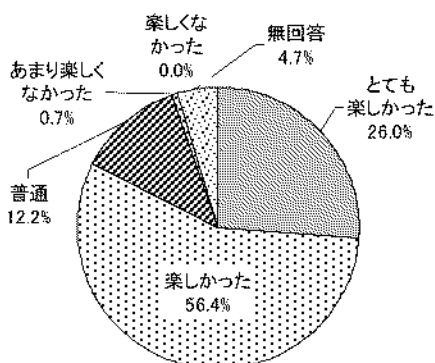
これらのことから、また肌で感じた当日の会場の賑わいからも「子育てしやすいまちづくり」のひとつの方法として、「あさお子育てフェスタ」は一定程度有用であるとともに、本イベントを契機に地域の子育て団体が連携し、地域での子育て支援体制の構築につながるのではという期待が持たれました。



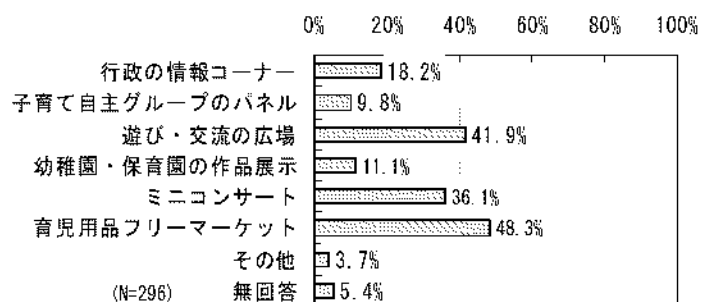
(N=296) ■ フェスタ継続希望



(N=296) ■ フェスタでどのようなことができたと感じたか



(N=296) ■ 楽しかったか

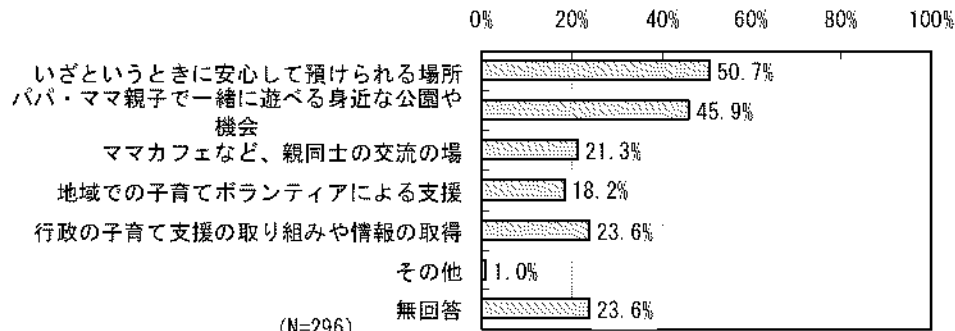


(N=296) ■ どの企画が良かったか

②子育て支援ニーズの検証

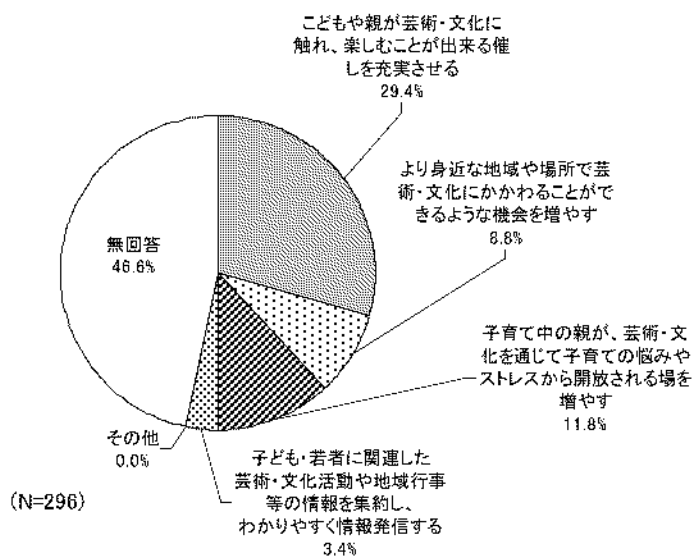
これまでのヒアリング結果から抽出された課題をさらに絞り込むことを目的として、子育て支援ニーズについて聞いたところ、「いざというときに安心して預けられる場所」が50.7%で最も高く、次いで「パパ・ママ親子で一緒に遊べる身近な公園や機会」が45.9%という結果であり、特にこの2つの項目のニーズが高いことがわかりました。

麻生区には、一時保育（行政）やボランティアによる子どもの一時預かりの仕組み（社会福祉協議会）など既存の取り組みもありますが、事前の申し込みが必要であるなど「いざ」という緊急時への対応の充実など改善の余地があります。また、安心して親子で遊べる場所や機会へのニーズは高く、子育て施策の検討においては重要なテーマであり、今後の検討課題であります。



■子育てにおいて、今もっとも必要なもの・ことは何か

③芸術文化のまちづくりに対するニーズの検証



子育て世代が麻生区の「芸術・文化のまちづくり」に何を望むかについて聞いたところ、「こどもや親が芸術・文化に触れ、楽しむことができる催しを充実させる」が29.4%で最も多く、次いで「子育て中の親が、芸術・文化を通じて子育ての悩みやストレスから解放される場を増やす」が11.8%という結果であり、芸術文化に対する関心や意欲が高いことが確認されました。

(5) 提言の内容の検討

1) 子育てしやすいまちづくり

①「『あさお子育てフェスタ』を契機とした地域で子育てを支援する体制の構築」

前出の通り、「あさお子育てフェスタ」で実施したアンケート結果等から「あさお子育てフェスタ」の有用性が検証され、またこれを契機とした地域での子育て支援体制をつくってきたいとの期待から「『あさお子育てフェスタ』を契機とした地域で子育てを支援する体制の構築」という方向で提言をすることが確認されました。

2) 芸術文化のまちづくり

①「子育て世代が楽しめる、豊かな芸術文化の環境を区内区外に情報発信」

麻生区では、親子で参加できるさまざまな芸術・文化のイベントが開催されており、子育て世代の芸術文化への関心も高いことが検証されましたが、これらの情報提供の方法や見せ方に工夫や改善の必要があるということが確認されました。また、麻生区らしい芸術・文化イベント「アルテリッカしんゆり」や今回実施した「あさお子育てフェスタ」など子どもをキーワードとした芸術・文化のまちづくりをさらに推進していくことが必要であるとの合意に達し、「子育て世代が楽しめる、豊かな芸術文化の環境を区内区外に情報発信」という内容で提言をすることとしました。

②「麻生区の『芸術のまち』構想の推進と独自のブランドづくり」

第3期のフォローアップをしたところ、平成26年度より麻生区役所地域振興課が主体となって麻生区全体の「芸術・文化のまちづくり」についての提言や意見交換を行う「（仮称）麻生芸術文化懇談会」が設置される運びとなりました。また、川崎市アートセンターと連携し、芸術・文化関連団体の情報交換を目的とした「（仮称）あさお芸術・文化交流カフェ」の開催、ホームページのリニューアル、ソーシャルネットワークワーキングサービスの活用などを通じた麻生区の芸術・文化情報の発信のしくみの構築も計画されています。新百合ヶ丘景観特定地区の景観形成基準については、25年7月にパブリックコメントが実施され、26年4月に改正が行われ、これまで原則禁止となっていた立看板、広告旗（のぼり）、広告幕は、イベント開催などに際し、期限を設けて設置が可能となるなど、規制が緩和されました。また、新百合ヶ丘駅南口バスターミナルの柱に年間を通じて、行政主体で柱巻き広報物を設置し「しんゆり・芸術のまち」をアピールすることになりました。また、練習場の不足の問題については、しんゆり21ホール（管理者：川崎市文化財団）にて、空いている時間帯を練習に利用できるよう検討するなどの取組が始まっています。

このように、区役所（行政）のイニシアチブのもと、第3期の各提言を組み入れた麻生区の芸術・文化のまちづくりの取組が進められており、今後も、これを推進するとともに、広く区民に周知していくことが必要となります。

また、麻生区の「しんゆり芸術のまち」というブランドを確立していくために、今後は上記「（仮称）麻生芸術文化懇談会」「（仮称）あさお芸術・文化交流カフェ」などと連携し、意見交換や活動を推進することを提言する方向で合意されました。



第4章 区民会議フォーラム～大地震から助かる命を守る～

第4期麻生区区民会議の「安全・安心のまちづくり部会」の目標である「大地震から助かる命を守る」をテーマに、区民会議フォーラムが平成25年9月7日（土）に開催されました。

はじめに、第4期区民会議における3つの専門部会の区民会議委員の紹介がなされ、その後各専門部会における具体的な取り組みの経過について報告がありました。

引き続き、今回の区民会議テーマである「大地震から助かる命を守る」に関する学識者による講演が行われました。

会場内には各種の展示ブースが設けられ、区民会議の紹介や様々な家具転倒防止器具の展示、区民レベルで実施されている大地震対策に関するパネル展示、区内における地域コミュニティづくりへの取り組み事例、防災関連の参考書籍などが紹介されました。

◆開催期日 平成25年9月7日（土） 午後1時30分～4時45分

◆開催場所 川崎市麻生区役所4階第1・2会議室

◆当日プログラム

委員長あいさつ

区民会議報告（所属委員の紹介と活動内容等に関する報告）

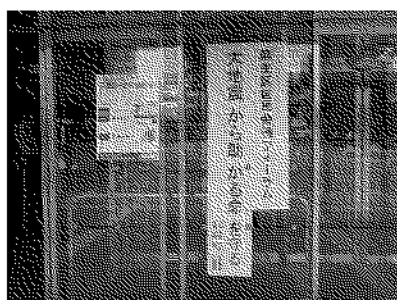
- ① 企画部会（田中副部会長）
- ② 安全・安心のまちづくり部会（村主部会長）
- ③ 若者が住みたくなる魅力あるまちづくり部会（石井部会長）

講演：園田眞理子氏 「いざという時の備えは、日ごろの安心から—その知恵と心構え」

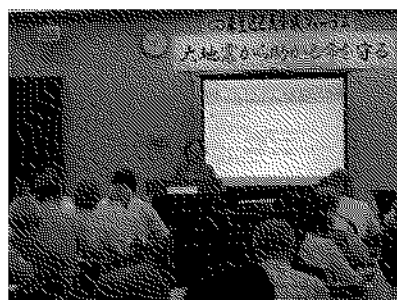
講演：目黒 公郎氏 「大地震に備えて、私たちはどのように取り組むべきか」

◆参加者人数

153人（区民会議関係者等を含む）



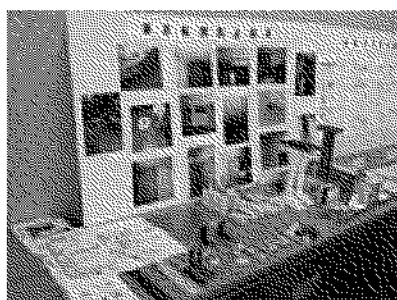
区役所入口の看板



委員あいさつ



会場の様子



家具固定器具の展示



展示ブース



区民会議の展示

◆講演内容（抜粋）

「いざという時の備えは、日ごろの安心から—その知恵と心構え」

明治大学教授 園田眞理子氏



- 高齢者・子どもたちが暮らしやすい住環境に関して研究を進めています。「東日本大震災」の体験から実際に本棚などの転倒を経験し、壁などに家具類を固定するという区民会議の「安全・安心のまちづくり部会」での取り組みは大変重要なことと実感している。
- 家族力などソーシャルキャピタルのある人は次の行動がとれるが、ない人は次の行動に移れない。最大の「弱者」は、このような「もの言わぬ・言えない人」であり、その人達の思いを感じ取る力が必要です。
- コミュニティという単位の中での個人関係が希薄化しており、人と人のつながりをどうしていけばいいのかが問題となっています。
- 大学では、孤立しないで安心して住めることを目標に、住民と学生が一緒になって地域を支える活動「たま・みた・まちもりプロジェクト」に取り組んでいます。
- 未曾有の災害に備えるためには、日常的な中での備え・心構えをしておくことが重要であり、①経験や問題などの共有化、②居住者の主体的な活動とネットワーク化、③地域力・仲間力の醸成とネットワーク化等の取り組みが「まちおこし」に必要です。

「大地震に備えて、私たちはどのように取り組むべきか」

東京大学教授 目黒公郎氏

- 地球のハザードに関するハード・ソフトの両面から戦略的な対策について研究を進めています。
- 人々の生活を取り巻く自然環境特性（地形・気候…）や社会環境特性（政治経済文化…）などのシステムに、自然現象の地震・津波のインプットが加わり、ある時期にある基準を超えた時に初めて被害・災害というものになります。
- 防災において非常に重要なことは災害イマジネーションであり、場所・時間・役割り・施設・天気・持ち物などを考えた時に、自分の周りで何が起きるのかを具体的に想像できなければ、災害への対応はできません。
- 防災対策を実現するためには、まずは自分の生命と安全を確保して、家族、地域・・・の順で対応することです。
- 首都圏でより重要なことは揺れへの対処、耐震補強。激しい揺れに対してどれだけ被害を抑止できるかの能力がなければ、事後対応では救える命も非常に限定的です。阪神・淡路大震災の時には、犠牲者の83%が建物倒壊・家具等で圧死しました。
- 皆さんに実施していただきたいことは、災害イマジネーションを向上させて、地震が発生するまでの時間を有効に活用していただくことです。世の中にある家具転倒防止器具はその効果が様々ですが、より有効な器具を用いることが大切となります。

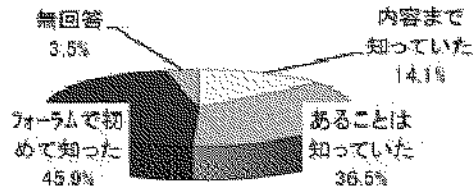
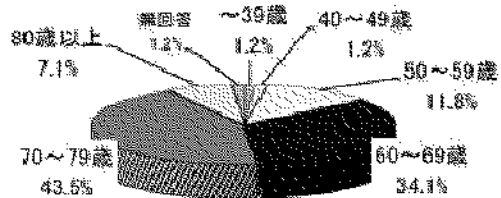


◆アンケート調査結果（回答数 85 票）

○参加者について

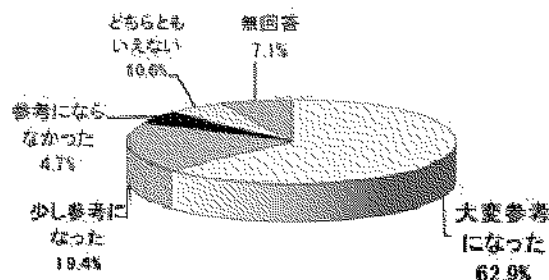
フォーラム参加者の約85%が60歳以上の方でした。地域問題に関心が高く、経験豊かなこの層の方々の力をいかに取り込んでいくかが、今後の区民会議の課題と考えます。

また、認知度調査では、半数近くの方が区民会議を「フォーラムで初めて知った」との回答でした。フォーラムを通じて、多くの方々に区民会議の存在を知って頂くことができました。



○講演内容について

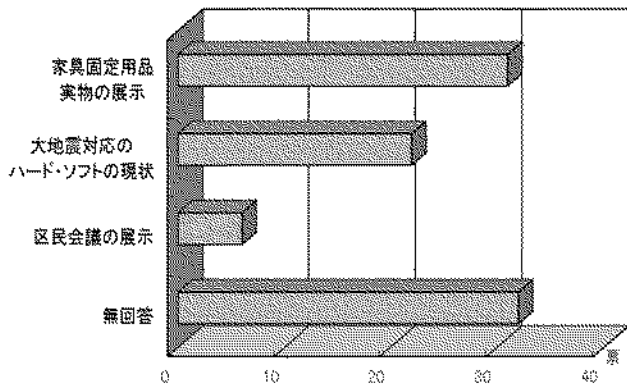
「大変参考になった」との回答が約63%で、次いで「少し参考になった」が約19%、約8割強の方が参考になったと回答しました。



○展示ブースについて（複数回答）

参考になった展示ブースを尋ねたところ、「家具固定器具実物の展示」への回答が31票で最も多く、次いで「大地震対策のハード・ソフトの現状」の22票でした。

自由記述では、「初めて見て参考になるものばかり」という意見がありました。



○自宅での防災対策について（複数回答）

日頃行っている防災対策について尋ねたところ「飲料水や非常食の準備」という回答が63票と最も多く、次いで「家具や電化製品の転倒防止」の50票となりました。

一方で、「家族間での緊急時の連絡手段や避難先の取り決め」や「ガラスの飛散防止」の票が少く、家庭内での対策が浸透していないことがわかりました。

| 飲料水や非常食の準備 | 家具や電化製品の転倒防止 | 消火器・消化用品の設置 | 住宅用火災警報器の設置 | 防災グッズの準備 | 防災訓練への参加 | 家屋の耐震性確認 | 家族間の連絡手段 | ガラスの飛散防止 | 緊急連絡カード | その他 |
|------------|--------------|-------------|-------------|----------|----------|----------|----------|----------|---------|-----|
| 63 | 50 | 47 | 45 | 38 | 25 | 23 | 17 | 16 | 10 | 1 |

○自由記述欄

- ・孤独老人の実態がなかなか掴めなくて困っています。考え方の参考になりました。
- ・団地でなく戸建て住宅街でも空家が目立ち、長期間住んでいない家も増えています。コミュニティの拠点となるカフェの事例は、参考になりました。
- ・聞いたかったのはこれだ！！「常識」に惑わされるな！という考えは大変有効。
- ・もっと多くの人に聞かせたかった。他所で今日の話をお伝えします。
- ・今回、初めて参加しましたが、機会があったら次回も参加したいと思いました。

第5章 提言

安全・安心のまちづくり部会・提言

【提言1】家具転倒防止に向けて

1) 普及啓発資料の作成・配布

- ・モデル事業の成果（家具転倒防止方法とそのコツ）を中心として、「大地震から助かる命を守る」ための考え方や参考情報を、分かりやすく、コンパクトにまとめた一般区民向けの普及啓発用パンフレットを広く頒布することが望まれます。そのため、原案を作成しました。（83～90ページ参照）
- ・モデル事業の経験を通じて得られた様々な知見や情報（写真等を含む）については、整理した上で、必要な時に活用できるよう区役所で保管していくことが望まれます。

2) 取り組みを支援するための体制の整備（推進団体、コーディネーター）

- ・普及啓発、技術的支援、相談対応等を担う市民レベルや民間の支援団体が立ち上がることが望まれます。そのために、市や区は必要な支援を行うことが期待されます。
- ・区民の具体的な取り組みが円滑に実施されるように、コーディネーター役の人材の確保・養成を進めることが望まれます。
- ・地域防災組織や企業と連携し、区民の自主的な取り組みを支援し、普及させていくことが望まれます。

3) 普及啓発のための説明会、出前講座の開催

- ・上記パンフレット等を活用して、モデル事業の成果を広く区民や関係団体に普及させ、意識や取り組みを啓発するため、家具転倒防止の説明会や出前講座等を開催することが望まれます。そのため、市や区の関係部署との連携・協力関係と、実施体制を整えることが必要です。

4) 区民の取り組みを支える専門技術者の協力を

- ・家具転倒防止方法の中には、大工等の専門技術者の協力が必要な場合もあることから、業界団体やシルバー人材センター等との連携・協力のもと、住まい方に合った方法を提供できる専門技術者の人材確保を図ることが望まれます。

5) 市・区の政策的な支援と取り組みを

- ・市や区の関係部署が連携・協力し、財政的、技術的、情報面での支援する体制を整備することが望まれます。

【提言2】家屋の倒壊防止の普及

普及啓発パンフレットの配布、説明会の開催

- ・「家屋の倒壊防止」のためには、耐震診断・耐震改修、あるいは耐震性に優れた建物の建築が望ましく、平成27年度末には90%以上が耐震化される見込み（川崎市耐震改修促進計画〔平成19年3月〕）です。しかし、大地震による死者をゼロにするためには、耐震性不十分な家屋の解消を目指し、継続的に普及啓発パンフレット等の配布や説明会の開催により、「家屋の倒壊防止」の重要性を広く区民に伝え、意識や取り組みを啓発することが必要です。

○今後の検討課題

- ・現実的に家屋が倒壊しても命を守る方法として、「耐震シェルター」などが開発されており、「命を守る」ため有効と認められるのであれば、その普及を図ることも検討することが望まれます。

【提言3】火災予防・火事発生への対応

消火器等の設置推進・啓発

- ・大地震後の火災発生を防止し、初期消火を可能とするため、継続的に各家庭の住宅用火災警報器や消火器の広報を行い、さらなる設置を推進することが望まれます。

○今後の検討課題

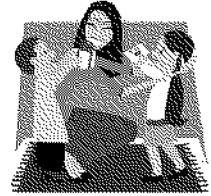
- ・火災のタイプである「通電火災」を防止するためには、例えば「感震ブレーカー」の設置が考えられますが、技術的に未完成な部分もあり、効果が不明で副作用がある等の指摘もあります。新たな火災予防手段についても、区民が自主的に取り組める対策として、その活用を検討していくことが望まれます。

若者が住みたくなる魅力あるまちづくり・提言

【提言1】あさ子育てフェスタを契機とした地域の子育て支援体制の構築

1) 麻生区子育てフェスタの継続的開催を

- ・区民会議が主催し開催した「第1回あさ子育てフェスタ」は、大勢の親子の参加があり、参加者の94.3%から継続してほしいとの要望がありました。これらの声の実現のためにも、開催結果から見えた課題も含め、創意工夫しながら、今後も麻生区で継続的に開催されることが望まれます。
- ・そのためには、区役所は「第1回あさ子育てフェスタ」の参加団体を念頭に、他の関係団体、会議、個人、グループ等、より多くの地域の支援者が参加できる区民主体の体制を作る必要があります。また、区役所内の部署における分担、連携を図り、それぞれ支援することが望まれます。



2) 地域で子育てを支援するネットワークの強化

- ・子育てフェスタの開催を目的に、子育て関係団体、個人、グループ等が一連につながることで、身近に子育て支援の輪が広がり、地域で子育て中の親子を支える仕組みづくりにつながり、地域の子育て力が強化されると思います。これまでも、様々な団体等が子育て支援の活動を行っていますが、個々の活動や情報発信には限界があり、こうした団体が協働・連携するネットワークを作り、それぞれの活動を発展させることで、地域で子育て中の親子を支える更なる力を発揮することが期待できます。
- ・子育てフェスタの開催を契機に、団体間のネットワークを強化する体制づくりに取り組み、「若者が住みたくなる魅力あるまちづくり」の一環として捉え、位置付け推進することが望まれます。

【提言2】子育て世代が楽しめる豊かな芸術文化環境の区内区外への情報発信を

- ・ヒアリングやアンケート調査を通じて、子育て世代の芸術文化活動への関心や期待が高いことが確認されました。子育て世代に向けた情報発信については、年齢や曜日別、内容ごとに分類した見せ方で掲示板情報やホームページを改善するなど、さらなる工夫が求められています。今後も、「アルテリッカしんゆり」「子育てフェスタ」など、子供をキーワードとした芸術文化のまちづくりを目に見える形で推進していくことが、若者にとって魅力あるまちづくりに結びつくものと考えます。

【提言3】麻生区の「芸術のまち」構想の推進と独自ブランドの確立を

1) 活性化に向けた情報発信の強化を

- ・景観形成基準の緩和内容、新百合ヶ丘駅南口のバスターミナル広場の柱巻ポスター広告方法、市・区等の後援取得の意義や方法等をわかりやすく周知徹底し、芸術文化催事の「にぎわい」が共生する街並みが見えることを望みます。また、芸術・文化団体から要望の多かった利用可能な練習場所などを含め幅広い地域情報の収集と麻生区の芸術文化の発信を進めていくことが期待されます。

2) 今後の芸術のまちづくりに向けて、有意義な意見交換の場を

- ・今後、区役所が「(仮称)麻生芸術文化懇談会」や「(仮称)あさお芸術・文化交流カフェ」などと連携しながら、麻生区の芸術・文化のまちづくりをさらに推進し、「しんゆり芸術のまち」がブランドとして確立されることを望みます。

2. 第4期区民会議を振り返って

○テーマの選定

第4期の区民会議では区民にとって関心が高く、かつ身近な課題を選択し検討・審議・調査が具体的に行われ、家具転倒防止のモデル事業や子育てフェスタ等で大きな成果を得られたことは大変意義のあることだったと思います。それぞれが大きな課題を選定したが、その中からさらに検討する課題を絞り込み、継続して精力的に審議・活動を行ったことでかなりクリアな提言へ結びつけることができたと考えます。

○課題への取り組み

安全・安心のまちづくり部会、若者が住みたくなる魅力あるまちづくり部会、2つの専門部会に分かれての検討は、綿密な調査のもとに毎月一回、審議を行うとともに、その状況や成果を様々な広報手段で発信することにより、区民に見える区民会議にすることができたと思われます。また、企画部会も、全体会議や各専門部会の調査審議活動に対して、事実上の仕切り役としてよく機能しました。地域情報紙への働きかけによる区民会議のPRも効果があったと思われます。

○提言の具現化

今回取り扱った課題はかなり範囲が広く、2年という短期間ではすべてにわたって検討し課題解決を見出すことは極めて困難でした。今後、区の施策や市民活動の中で提言の具現化や次のステップへの展開に向けて取組が進められることを期待します。取組にあたって、私たち、第4期区民会議委員はどんな協力も惜しみません。

○情報発信と啓発活動の必要性

二つの部会は共に具体的な検討・調査を行い、家具転倒防止のモデル事業や子育てフェスタ等を通じて、提言に結びつけることができました。今後、生み出された提言を具体的に市民活動に繋げ、展開し地域社会に根付かせていくためにも、きめ細かな情報発信によって、地域住民へ啓発することが必要と思われます。

○地域団体・ボランティア団体との連携・協働

家具転倒防止のモデル事業や子育てフェスタは、関連団体・ボランティア・専門技術者・区民との連携・協力を得ることで活動範囲が広がり、区民会議の認知度の向上も図ることができました。いずれも初めてのケースでしたが、区民会議にとって新たな可能性を示すことができたと思います。今後、区民会議の活動が深く区民の中に浸透していくには様々な団体に呼びかけて、信頼と協力を得ていくことが必要と思われます。

○区民会議の活性化と今後の課題

区民会議が区民により身近な会議として機能するためには、意欲ある人材の発掘とともに、会議自体の活動が活性化されるように、また、委員が出席しやすいように、初めの段階で任期中の概ねのスケジュールを決めました。活動に積極的に参加することによって、委員自身が区民会議の役割・意義を十分に認識することが今後も大事だと思います。

資料編

目次

| | |
|--|------|
| 第4期区民会議委員・参与名簿 | P 33 |
| 第4期区民会議スケジュール | P 34 |
| 第4期麻生区区民会議関連資料 | |
| 安全・安心のまちづくり部会より | P 35 |
| 1.大地震から助かる命を守るための具体策検討シート | |
| 2.モデル事業の工事実施計画書のサンプル | |
| 3.工事実施結果の取りまとめ、工事施工写真 | |
| 4.モデル事業対象世帯へのアンケート結果 | |
| 5.モデル事業参加者の意見（モデル事業を振り返って） | |
| 6.モデル事業のまとめ | |
| 若者が住みたくなる魅力あるまちづくり部会より | P 55 |
| 7.子育てしやすい環境づくりに関するアンケート調査結果 | |
| 8.子育て支援団体・行政へのヒアリング結果（子育てしやすい環境づくり） | |
| 9.芸術文化関連団体へのヒアリング結果（芸術文化のまちづくり） | |
| 10.行政へのヒアリング結果（芸術文化のまちづくり） | |
| 11.あさお子育てフェスタ開催案内チラシ | |
| 12.あさお子育てフェスタ当日配布パンフレット | |
| 13.あさお子育てフェスタ来場者アンケート調査結果 | |
| 14.あさお子育てフェスタ協力団体アンケート調査結果 | |
| 15.あさお子育てフェスタ 掲示・配付 未就学児向け催事・事業一覧 | |
| 16.あさお子育てフェスタ 芸術文化イベントに関するヒアリング調査結果 | |
| 区民会議ニュース | P 72 |
| 地域情報紙掲載記事 | P 79 |
| 安全・安心のまちづくり部会 普及・啓発資料（家具転倒防止対策パンフレット） | |

第4期区民会議委員・参与名簿

【区民会議委員】

(五十音順・敬称略)

| 氏名 | 選出区分(分野) | 推薦団体等 | 役職 | 部会 | | |
|----------------------|------------|------------------------------|------|------|-------|-------------------|
| | | | | 企画 | 安全・安心 | 若者が住みたく なる魅力ある |
| いしい いくろう 石井 郁朗 | 地域特性[文化芸術] | 区長推薦 | 副委員長 | ○ | | 部会長 |
| かがみ たけお 加賀美 長夫 | 産業分野 | 麻生区商店街連合会 | | | ○ | |
| かじ ひさお 梶 久夫 | 地域特性[農業] | 区長推薦 | | | ○ | |
| かみつ ひでお 金光 秀尚 | 市民活動団体 | 区長推薦 | | 部会長 | | ○ |
| くぼくら りょうぞう 久保倉 良三 | 防犯、防災分野 | 麻生区安全安心のまちづくり協議会 (麻生防犯協会) | | | ○ | |
| すがの あきら 菅野 明 | 文化、観光分野 | 麻生区文化協会 | | | | ○ |
| すがわら けいこ 菅原 敬子 | 市民活動団体 | 区長推薦 | 委員長 | ○ | | ○ |
| すくり ひであき 村主 英明 | 公募 | 公募 | | ○ | 部会長 | |
| たかくら ひでとし 高倉 秀敏 | 公募 | 公募 | | ○ | 副部会長 | |
| たかせ たかお 高瀬 隆雄 | 地域特性[市民自治] | 区長推薦 | | | ○ | |
| たかはし つゆき 高橋 庸之 | 公募 | 公募 | | | | ○ |
| たかはし けいこ 高橋 慶子 | 市民自治分野 | 麻生区町会連合会 | | | | ○ |
| たけなみ きょうこ 武濤 京子 | 学識経験者 | 区長推薦 | | | | ○ |
| たなか げんすけ 田中 元介 | 公募 | 公募 | | 副部会長 | ○ | |
| はせがわ まりこ 長谷川 真理子 | 公募 | 公募 | | | ○ | |
| ひがしかわ まさお 東川 視男 | 公募 | 公募 | 副委員長 | ○ | | ○ |
| やの みちよ 矢野 美千代 | 福祉、健康分野 | 麻生区社会福祉協議会 | | | | ○ |
| やまだ やすゆき 山田 安之 | 教育、子育て分野 | 地域教育会議 | | | | 副部会長 |
| よこやま あきら ※ 横山 章 | 緑、環境分野 | 市美化運動実施麻生支部 ※平成25年11月まで在籍 | | | ○ | |
| よしだ けんじ 吉田 謙司 | 市民活動団体 | 区長推薦 | | | ○ | |

【区民会議参与】

| 氏名 | 区分 |
|--------------------|-------|
| あまがき ゆうじ 雨笠 裕治 | 市議会議員 |
| おさく ひとし 尾作 均 | 〃 |
| かつまた みつえ 勝又 光江 | 〃 |
| こば りかこ 木庭 理香子 | 〃 |
| つきもと たくや 月本 琢也 | 〃 |
| はなわ こういち 花輪 孝一 | 〃 |
| やまざき なおみ 山崎 直史 | 〃 |
| あいはら たかひろ 相原 高広 | 県議会議員 |
| よしだ たいせい 吉田 大成 | 〃 |

第4期区民会議スケジュール（平成24年7月～平成26年3月）

| | 企画部会 | 安全・安心のまちづくり部会 | 若者が住みたくなる魅力あるまちづくり部会 |
|-----|------------------------------|--------------------|----------------------|
| 7月 | | | |
| 8月 | 全体会事前勉強会 8月2日(木) | | |
| | 第1回全体会議 8月7日(火) | | |
| 9月 | 第2回 9月17日(金) | | |
| 9月 | 第2回全体会議 9月18日(火) | | |
| 10月 | 第3回 10月11日(日) | 第1回 10月9日(火) | 第1回 10月12日(水) |
| 11月 | 第4回 11月5日(月) | 第2回 11月10日(火) | 第2回 11月12日(木) |
| 12月 | 第5回 12月3日(日) | 第3回 12月11日(火) | 第3回 12月18日(火) |
| 1月 | 第6回 1月7日(木) | 第4回 1月10日(日) | 第4回 1月11日(金) |
| 2月 | 第7回 2月4日(月) | 第5回 2月12日(火) | 第5回 2月12日(火) |
| 2月 | 第3回全体会議 2月25日(月) | | |
| 3月 | 第8回 3月4日(日) | 第6回 3月12日(火) | 第6回 3月11日(日) |
| 4月 | 第9回 4月1日(火) | 第7回 4月9日(火) | 第7回 4月8日(月) |
| 5月 | 第10回 5月1日(火) | 第8回 5月14日(火) | 第8回 5月13日(月) |
| 5月 | 第4回全体会議 5月20日(月) | | |
| 6月 | 第11回 6月3日(日) | 第9回 6月11日(火) | 第9回 6月11日(火) |
| 7月 | 第12回 7月1日(日) | 第10回 7月9日(火) | 第10回 7月12日(金) |
| 8月 | 第13回 8月5日(月) | 第11回 8月12日・第12回 | 第11回 8月12日(月) |
| 8月 | 第5回全体会議 8月26日(月) | | |
| 9月 | 第12回 9月2日(月) | | |
| 9月 | 区民会議フォーラム 9月7日(土) | | |
| 10月 | 第13回 10月3日(月) | 第13回 10月10日(火) | 第12回 9月9日(日) |
| 11月 | 第14回 11月5日(火) | 第14回 11月12日(火) | 第13回 10月21日(月) |
| 11月 | 第6回全体会議 11月25日(月) | | |
| 12月 | 第15回 12月7日(日) | 第15回 12月10日(火) | 第14回 11月30日(日) |
| 12月 | 第16回 12月8日(月) | 第16回 12月14日(火) | 第15回 12月9日(日) |
| 1月 | 第17回 1月3日(月) | 第17回 1月14日(火) | 第16回 1月10日(金) |
| 2月 | 第18回 2月3日(月) | 第18回 2月12日(火) | 第17回 2月10日(月) |
| 2月 | 第7回全体会議 2月17日(月) | | |
| 3月 | 第19回 3月4日(日) | 第19回 3月11日(火) | 第18回 3月10日(日) |
| 4月 | 第20回 4月8日(火) | | 第19回 4月11日(日) |
| 4月 | あさお子育てフェスタ 4月13日(日) | | |
| 5月 | 第19回 5月7日(水) | | 第20回 4月28日(日) |
| 5月 | 合同部会・勉強会 5月12日(月) | | |
| 5月 | 第8回全体会議 5月26日(月) | | |
| 6月 | 第20回 6月2日(日) | | |
| | ※24年10月以降は原則、毎月第1月曜日の午後7時～9時 | 原則、毎月第2火曜日 午後3時～7時 | 原則、毎月第2月曜日 午後6時～8時 |

【ステップ1: 現状と課題の把握①】
 ・既往調査・統計データの把握
 ・課題ごとの実施項目の検討
 (具体策検討シートの集約など)

【ステップ1: 現状と課題の把握①】
 『子育て』
 ・既往調査・統計データの把握
 ・基礎調査実施の検討
 『芸術文化』
 ・第3期取り組み(芸術・文化)の振り返り
 ・既往調査報告による経過と現状把握、課題検討

【ステップ2: 現状と課題の把握②】
 ・課題解決のためのモデル事業実施の検討
 (実施体制、事業内容、記録・評価・検証内容等の検討)

【ステップ2: 現状と課題の把握②】
 ・アンケート調査実施
 ・調査結果の分析と傾向把握から審議課題を絞り込み

【ステップ3: 現状と課題の把握③/課題解決策の検討①】
 ・課題解決のためのモデル事業の実施

【ステップ3: 現状と課題の把握③/課題解決策の検討①】
 『子育て』
 ・ヒアリング調査実施
 ・子育て支援グループ等現場の課題を把握
 『芸術文化』
 ◆ヒアリング調査実施地
 i 芸術・文化関連団体や施設・教育機関の基盤
 ii 市の芸術文化行政の考え方

【ステップ4: 課題解決策の検討②】
 ・モデル事業等の検証
 ・課題解決策の検討
 ・普及啓発資料の検討作成
 ・提言内容の検討・精査

【ステップ4: 課題解決策の検討②】
 ・ヒアリング結果のまとめ
 ・課題解決策の検討
 ・芸術・文化を通じた若者・子どもの育成に関する検討
 ▼モデル事業あさお子育てフェスタの準備

【ステップ5: 提言内容の作成】
 ・提言内容の検討
 ・提言内容の精査

【ステップ5: 提言内容の作成】
 ・提言内容の検討
 ・提言内容の精査

1. 大地震から助かる命を守るための具体策検討シート

【事前対策】

◆：実施中の対策

| 事前対策 | 自助 | 共助 | 公助 | 企業市民の協力 | |
|--------------|--|--|---|--|---|
| 1. 地震に強い家づくり | (1) 家屋の倒壊防止 ◇耐震診断と補強工事の実施(昭和56年以前建築の家屋について) →方法は全戸実施、モデルプロジェクト+成果のPRなど | ◇家屋の耐震補強の必要性に関する近隣での認識の共有 ◇取り組み促進に向けた町内会、自主防災組織としての活動 | ◆住宅の無料耐震診断 ◆耐震工事費助成 ◆耐震改修促進計画(目標:H27年度末90%以上→自然体で達成見込み) ◇耐震性が不十分な家屋の全数把握とその解消に向けた対策の実施 →方法は要検討 | 「備えるかわさき」(H18年に全戸配布)「防災マップ」等の冊子やホームページを用いた市(区)民向け広報・啓発 | ◇建築士の協力 ◇工務店、建設会社等の協力 ◇研究者、専門家の協力 |
| | (2) 家具の転倒防止 ◇家具、電化製品の固定・転倒防止・移動防止 ◇造り付け家具の活用 ◇家具、電化製品の置き場所の見直し ◇窓、食器棚等のガラス飛散防止 →方法は全戸実施、モデルプロジェクト+成果のPRなど | ◇家具等の固定・転倒防止策の必要性に関する近隣での認識の共有 ◇取り組み促進に向けた町内会、自主防災組織としての活動(区によるキャンペーンへの呼応、町内会単位での出前講座の開催など) | ◆高齢者のみ世帯への家具転倒防止用具の無料配布と設置 ◇市内全戸を対象とした家具・電化製品の固定・転倒防止策の徹底 →方法は要検討(区役所でのキャンペーンの実施、区民向けのセミナーや町内会単位での出前講座の開催、訪問サービス(専門的アドバイス+実費取付)の実施など) | | ◇建築士、大工、専門の職人の協力 ◇ホームセンター等の協力 ◇研究者、専門家の協力 |
| | (3) 火災予防 ◇火災報知器の取り付け ◇消火器等の備えつけ ◇火気近くの物の片づけ →方法は全戸実施、モデルプロジェクト+成果のPRなど | ◇火災予防対策、消火活動に関する近隣での認識共有化 ◇消防団の体制強化活性化 | ◆住宅用火災警報器設置の義務付け、PR ◇消火器の町内会への配布、屋外設置 ◇消防団の体制強化、活性化への支援、指導 | | |

| 事前対策 | | 自助 | 共助 | 公助 | 企業市民の協力 |
|----------------|------------------------------|--|--|---|--|
| 2. 防災組織、防災訓練など | (1) 防災組織、防災訓練 | <ul style="list-style-type: none"> ◇自主防災組織への参画 ◇防災訓練への積極的な参加 ◇AED、担架、荷車などの使用訓練への参加 | <ul style="list-style-type: none"> ◆全町会・自治会で自主防災組織を結成(問題点の検証を含む)・・・結成率91% ◆自主防災組織等による訓練の計画的な実施・・・119組織で延べ51回実施 ◇防災資材(荷車など)、特技(医師など)、手伝えること(子供の世話など)の情報共有 ◇AED、担架、荷車などの使用訓練の実施 ◇地震発生時の行政からの連絡方法の確保 | <ul style="list-style-type: none"> ◆自主防災組織への助成 ◆消防署による救急救命講習の実施 ◆防災訓練の計画的実施の指導 ◇市・区が主催する防災訓練の実施 ◇発災時の効果的かつ確実な災害情報の伝達方法の探究と確立 | 「備えるかわさき」(H18年に全戸配布)「防災マップ」等の冊子やホームページを用いた市(区)民向け広報・啓発 |
| | (2) ご近所での日頃の付き合いの心掛け | <ul style="list-style-type: none"> ◇ご近所での日頃の十分な付き合いの心がけ ◇親睦会等の行事への積極的参加 ◇帰宅困難時に依頼することの事前連絡 ◇災害用伝言ダイヤル171の習熟 ◇ご近所防災マップ作りへの参加 | <ul style="list-style-type: none"> ◇ご近所での日頃の十分な付き合い ◆町内会等での親睦会などの開催 ◇小学校、幼稚園等からの引き取りなど、帰宅困難時に関する事前取り決め ◇ご近所防災マップ作りの実施 | <ul style="list-style-type: none"> ◇事前登録したご近所の人への児童・幼児引渡しの制度化 | |
| | (3) 災害時要援護者等への対応の事前取り決めと体制整備 | | <ul style="list-style-type: none"> ◇地域(町内会等)における災害時要援護者の把握と情報共有、対応の取り決め ◇登録者以外の要援護者(子ども、高齢者、障害者、病人、外国人等)の把握と情報共有、対応の取り決め | <ul style="list-style-type: none"> ◆災害時要援護者支援制度の登録 ◇災害時重度障害者受入れ体制の整備 ◇地域での要援護者対応が機能するための、自助・共助への十分な指導・支援 | |

| 事前対策 | 自助 | 共助 | 公助 | 企業市民の協力 | |
|---------------------------|--|---|--|---|---|
| 3. 家族との事前取り決め | <ul style="list-style-type: none"> ◇連絡が取れない場合の集合場所の取り決め ◇避難所の確認 ◇「いざというときカード(仮称)」に連絡先や約束事等を記入して、家族全員が常時携帯 ◇災害用伝言ダイヤル171、Web版171の習熟と活用の取り決め ◇防災家族会議の開催 ◇災害時要援護者である家族への対応の取り決め(支援の事前要請を含む) | <ul style="list-style-type: none"> ◇家族との事前取り決めに関する近隣住民との認識共有、情報共有 | <ul style="list-style-type: none"> ◇災害用伝言ダイヤル171、Web版171の普及・PR ◇「いざというときカード(仮称)」の作成、全戸配布とその周知徹底・活用呼び掛け | 「備えるかわさき」(H18年に全戸配布) | |
| 4. 避難場所の整備と把握 4. 避難経路、 | <ul style="list-style-type: none"> ◇避難所、避難経路を家族で事前確認 ◇ハザードマップ、防災マップを入手(外出時の対応については記述を省略) | <ul style="list-style-type: none"> ◇近隣住民と避難経路、避難場所を確認 ◇町内会・自治会ごとに、定期的に(年1回程度など)回覧板等を活用して、避難経路や避難場所を住民に周知 | <ul style="list-style-type: none"> ◆避難所の指定、標識表示の整備 ◆避難所の整備、二次避難所(福祉施設)との協定 | | <ul style="list-style-type: none"> ◇一時的な緊急避難場所の提供 |
| 5. 避難用具、食料等の備え | <ul style="list-style-type: none"> ◇給水ポイントの把握 ◇非常持ち出し袋の準備 ◇水、食料の確保と使用期限のチェック ◇防災グッズの準備(備えローソク・ハロゲン灯などを含む) ◇人命救助用のパール、ジャッキ等の準備 | <ul style="list-style-type: none"> ◇人命救助用のパール、ジャッキ等の準備と情報共有 ◇共有資材(担架、荷車、手回し充電器など)の備え ◇避難用具や備蓄用食糧について、区内のスーパーや店舗の協力を得てキャンペーンやセールを実施(地域主権) | <ul style="list-style-type: none"> ◆備蓄倉庫の設置 ◆避難所の備蓄品の確保交換 ◆災害時応急給水拠点の設置 ◆帰宅困難者に対する支援協定 ◆防災協力事業所の登録 ◇助かる命を守るための資機材(パール、ジャッキ、消火器など)準備のPR ◇避難用具や備蓄用食糧について、区内のスーパーや店舗の協力を得てキャンペーンやセールを実施(区主催または実行委員会方式) | 「防災マップ」等の冊子やホームページを用いた市(区)民向け広報・啓発 | <ul style="list-style-type: none"> ◇備蓄倉庫の提供 ◇避難用具の提供 ◇水、食料等の提供 ◇防災事業所としての登録 ◇避難用具や備蓄用食糧についてのキャンペーンやセールへの協力 |
| 6. その他 | <ul style="list-style-type: none"> ◇ブロック塀の倒壊防止対策 ◇メールニュース(ASMなど)受信設定 ◇防災無線の確認(聞こえるか) ◇エレベータ閉じ込め時対策を確認 ◇耐震ベッドの有効性の検証 | <ul style="list-style-type: none"> ◇エレベータ閉じ込め時対策を確認 ◇自主防災組織、避難所運営会議 | <ul style="list-style-type: none"> ◆メールニュースかわさき・ASM(登録制度) ◇防災行政無線等を平時から広報・啓発のために使用(市民の認知と緊急時の確実な使用のため) ◇エレベータ閉じ込め時対策を防災訓練で実施 ◆公共施設の耐震化 ◆防災マニュアルの整備(保育園等) | <ul style="list-style-type: none"> ※区内事業所特に重機を持った建設会社、商業者(食料品等の提供)、学校(避難先)、病院(負傷者の収容、治療)、農協等の協 →麻生区災害対策連絡協議会を立ち上げ | |

| 緊急対応 | 自助 | 共助 | 公助 | 企業市民の協力 |
|---------------------|--|--|--|---|
| 1. 地震発生時の安全の確保 | <ul style="list-style-type: none"> ◇飛来落下物のない安全な空間に身を寄せ、からだを守る姿勢をとる ◇揺れがおさまったら火の始末をする ◇出口を確保する ◇倒木、電線に注意 ◇落下物・倒壊から身を守る ◇怪我をした場合は応急措置（緊急治療が必要な場合は病院に移動・搬送） | | | |
| 2. 家族等の安否確認、緊急連絡 | <ul style="list-style-type: none"> ◇事前に取り決めた方法で家族の安否確認 ◇災害用伝言ダイヤル171の活用 ◇災害用伝言板 web171の活用 | <ul style="list-style-type: none"> ◇近所の要援護者などの安否を確認 ◇自主防災組織の招集、活動開始 | | |
| 3. 要援護者の安否確認、救護等 | | <ul style="list-style-type: none"> ◇自主防災組織、町内会等による要援護者の安否確認、救護活動等 | | <ul style="list-style-type: none"> ◇要援護者の救護への協力 |
| 4. 広域避難場所・避難所への緊急避難 | <ul style="list-style-type: none"> ◇落下物・倒壊から身を守る ◇耐震性のある住宅なら避難しなくても良い ◇避難所に移動する場合は防寒具、着替え、雨具、食料その他携行品を持って移動 | <ul style="list-style-type: none"> ◇近隣住民と協力し避難確認（可能な限り） ◇避難所への誘導 ◇避難所へ行けない場合、近隣での一時的な避難場所の確保 | ◆避難経路の案内 | |
| 5. 負傷者、生き埋め者の救助 | <ul style="list-style-type: none"> ◇自力での脱出 ◇家族の救出（パール、ジャッキの活用） ◇脱出、救出ができない場合は、大声（携帯電話）で助けを求める。 | <ul style="list-style-type: none"> ◇近隣住民と協力し救助活動を行う ◇体力のある人を集める ◇パール、ジャッキを持って助けに行く ◇自主防災組織、町内会等による救護活動 | <ul style="list-style-type: none"> ◇全半壊住戸の多い地区を回り、負傷者や下敷きになった住民を救出する。 ◇自衛隊要請 | <ul style="list-style-type: none"> ◇重機の提供等による生き埋め者の救助（建設会社）、医療や薬の提供による負傷者の手当（病院、薬局）等 |

| 緊急対応 | 自助 | 共助 | 公助 | 企業市民の協力 |
|-------------|--|---|---|--|
| 6. 火事発生への対応 | <ul style="list-style-type: none"> ◇初期消火を行う（消火器、消火布、風呂の残り湯） ◇状況判断により周辺の助けを求める ◇ガス、電気の断絶・復旧の確認 ◇「投てき型簡易消火用品」の使用 | <ul style="list-style-type: none"> ◇消防団による消火活動、見守り ◇近隣住民と協力し初期消火を行う ◇全半壊した住宅から、ガス漏れ、ストーブ等による出火の危険性があるため地域の見守り点検を行う（地区全員が避難所に避難してしまわない） | <ul style="list-style-type: none"> ◆出火の危険性の高い地区を警戒し、火災が同時発生した場合、延焼の危険性が高い箇所、人口密集等「重要性」の高い箇所を優先して消火活動を行う。 | <ul style="list-style-type: none"> ◇所有する設備や人員等を生かした消火活動への貢献 |
| 7. 情報収集 | <ul style="list-style-type: none"> ◇自己責任で行動するために必要な情報の収集に努める（主にマスコミ経由） ◇携帯ラジオ（コミュニティFM等） ◇ホームページ（川崎市緊急災害情報、横浜市防災情報、東京都防災HP災害情報、Yahoo!・Google災害情報） | <ul style="list-style-type: none"> ◇近隣住民との情報交換 | <ul style="list-style-type: none"> ◆メールニュースかわさき、防災行政無線等による広報 ◇通信回線の復旧 ◇住民や自主防災組織等への情報の提供 | |
| 8. その他 | <ul style="list-style-type: none"> ◇安否確認後は、むやみに動かない（帰宅しない、迎えに行かない） ◇行政からの連絡（避難勧告等）やマスコミ情報だけに頼ることなく、各自の判断で行動する（自分の命は自分で守るが基本） | <ul style="list-style-type: none"> ◇帰宅困難時の助け合い（乳幼児・障害者・ペットのお世話など。小学校・幼稚園などからの引き取り） ◇コンビニエンスストア、地域のスーパーなどを食料や情報交換の場として活用 | | |

2. モデル事業の工事実施計画書のサンプル

| 設置場所 | 家具名 | 大きさ(mm)※ | 危険度 | 選定した施工方法・器具 | 備考 |
|---------------------|-------------------|---------------------------------------|-----|---|--|
| 1階 リビング ダイニング | 食器棚 | L = 1,200 D = 440 W = 1,960 | 大 | ・L字型金具を2箇所 (右から30cm、左端) ・滑り止めシート | 現況、突っ張り棒2本を取り付けてあったが、効果不十分。 |
| | ラック | L = 570 D = 450 W = 1,200 | 中 | ・L字型金具を2箇所 (うち1箇所は食器棚と結合) ・滑り止めシート | 電子レンジ、トースターが置かれており、それぞれ滑り止めシートを提供。 |
| | 冷蔵庫 | L = 600 D = 700 W = 1,650 | 大 | ・背後の壁に板を打ち付け、アイプレート+結束バンドを2箇所 ・両サイドにくさび止め (左は壁、右はラック) ・滑り止めシート | |
| | アップライトピアノ | L = 1,530 D = 700(鍵盤) W = 1,320 | 大 | ・上部を水平にナイロンベルトで縛り、両サイドを壁に取り付けた大型アイプレートに結合 ・滑り止めの下に滑り止めシート | |
| | CDラック | L = 900 D = 300(足元) W = 1,570 | 中 | ・L字型金具を2箇所 (左右両端) ・滑り止めシート | |
| 1階 リビング ダイニング | 液晶テレビ | L = D = W = | 中 | ・ラップ芯で壁に固定 (マジックテープ) | |
| | プリンター台 | L = 810 D = 600 W = 760 | 小 | ・キャスター止め | |
| 2階 和室 | 本棚 | L = 740 D = 300 W = 1,805 | 大 | ・鴨居にL字型金具で2箇所止め ・既存の踏ん張り棒の下に滑り止めシート | 本棚の上に天井まで横積みの本を挟んであるが、効果無し。 |
| | カラーボックス (本棚の前) | L = 420 D = 300 W = 890 | 小 | ・柱に1箇所(上端)、L字型金具で固定 ・滑り止めシート | |
| | TV (カラーボックスの上) | L = 460 D = 240(足) W = 330 | 小 | ・足の後ろをカラーボックスとクランプで挟み止め ・滑り止めシート | |
| | 本棚2つ | L = 750 D = 200×2 W = 900 | 大 | ・上下に重ね(固定されなければ固定措置)、鴨居に2箇所、L字型金具止め ・滑り止めシート | 現在、入口近くに置かれているが、一番南に位置を変更。 |
| | カラーボックス (横に2つ) | L = 420 D = 300 W = 880 | 小 | ・計3つの家具を合わせて一体化し、両端の柱に一箇所ずつL字型金具止め ・滑り止めシート | |
| | 扉付き本棚 | L = 900 D = 350 W = 930 | | | 扉にも本が収納可能で、その重さで扉が傾いている。 |
| 2階洋室 | 洋服ダンス | L = 1,200 D = 560 W = 1,800 | 大 | ・L字型金具2箇所止め ・滑り止めシート | 突っ張り止め棒を使用中。ダンス上の段ボール箱の落下防止用に引き続き使用(ひもで連結) |

※大きさ (mm) : D=Depth (奥行き)、W=width (幅)、L=Length (高さ)

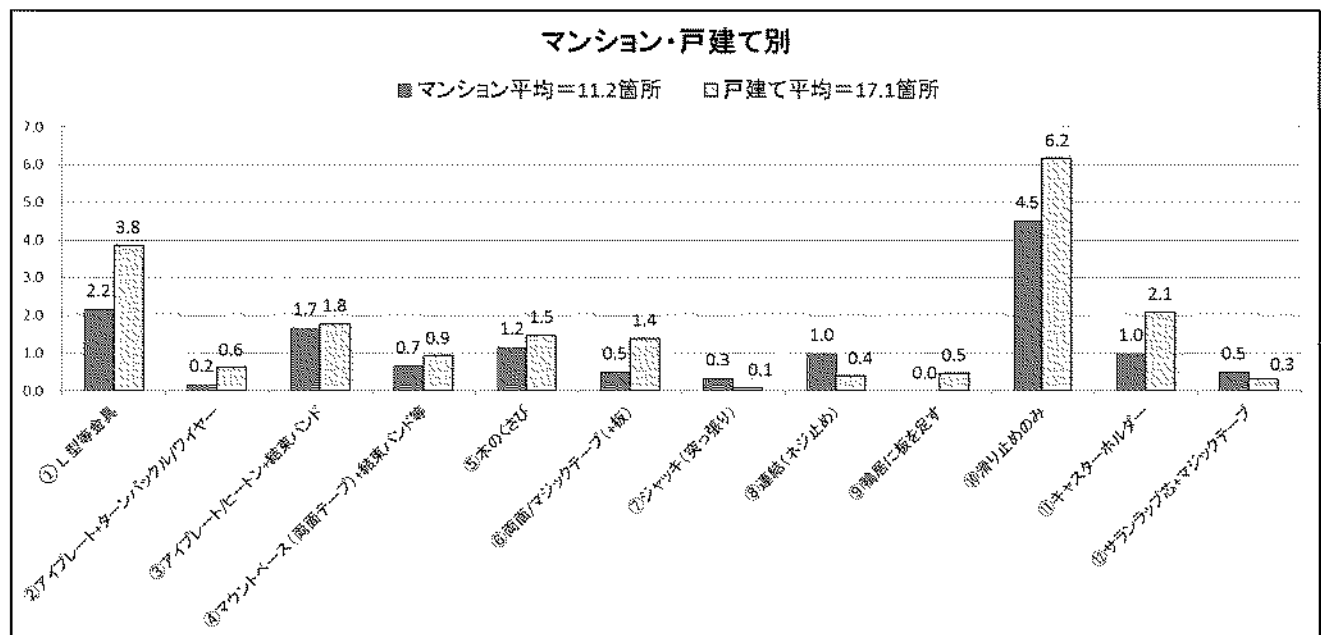
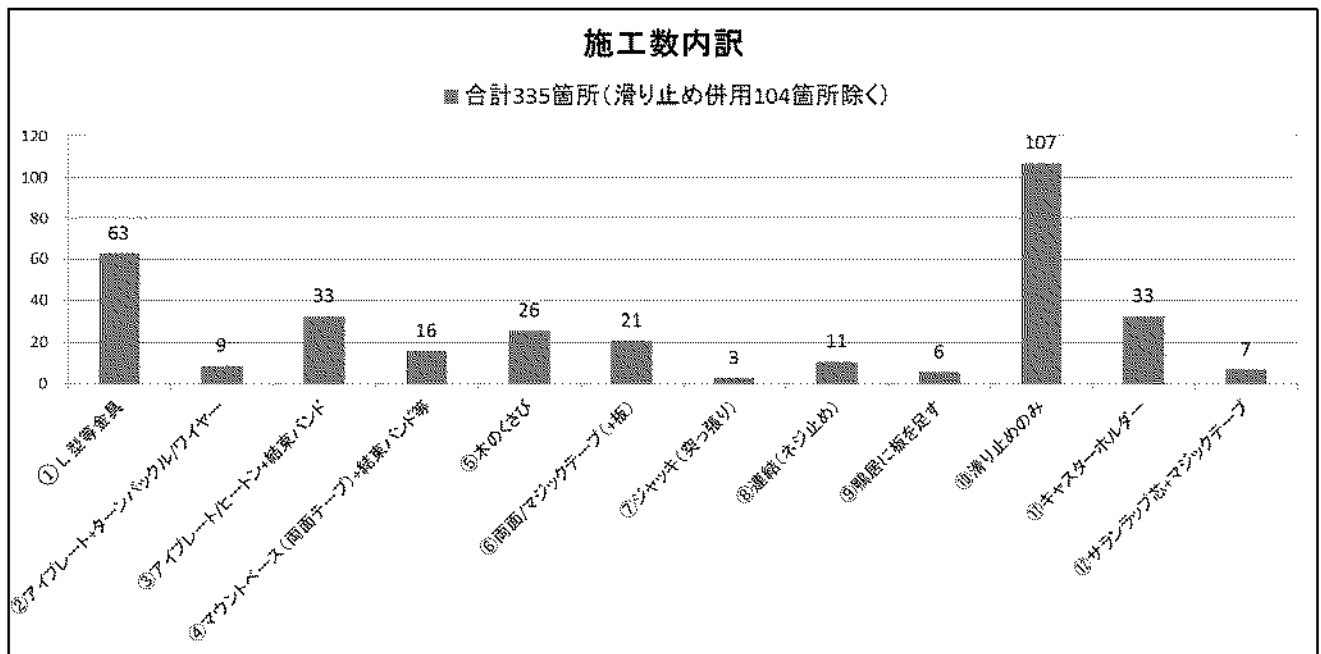
3. 工事実施結果の取りまとめ、工事施工写真

モデル事業実施結果

- 1 実施戸数 19戸（マンション6戸、戸建て13戸）
- 2 実施期間 平成25年10月11日～12月21日（プレ実施含む）
- 3 所用時間 1戸あたり2日、3～4時間（事前調査1～1.5時間、工事2～2.5時間）
- 4 参加者 11名（専門技術者3名、明治大学園田教授、明治大学学生1名、区民会議委員6名等）
- 5 施工家具合計 222個
- 6 施工数合計 439箇所（滑り止めの併用104箇所を除いた場合335箇所）

※222個の家具のうち、滑り止めと他の施工を併用したものが104個、滑り止めのみが107個

- 7 施工数平均 マンション11.2箇所、戸建て17.1箇所（滑り止めの併用除く）



家具別施工結果

【家具等の種類】

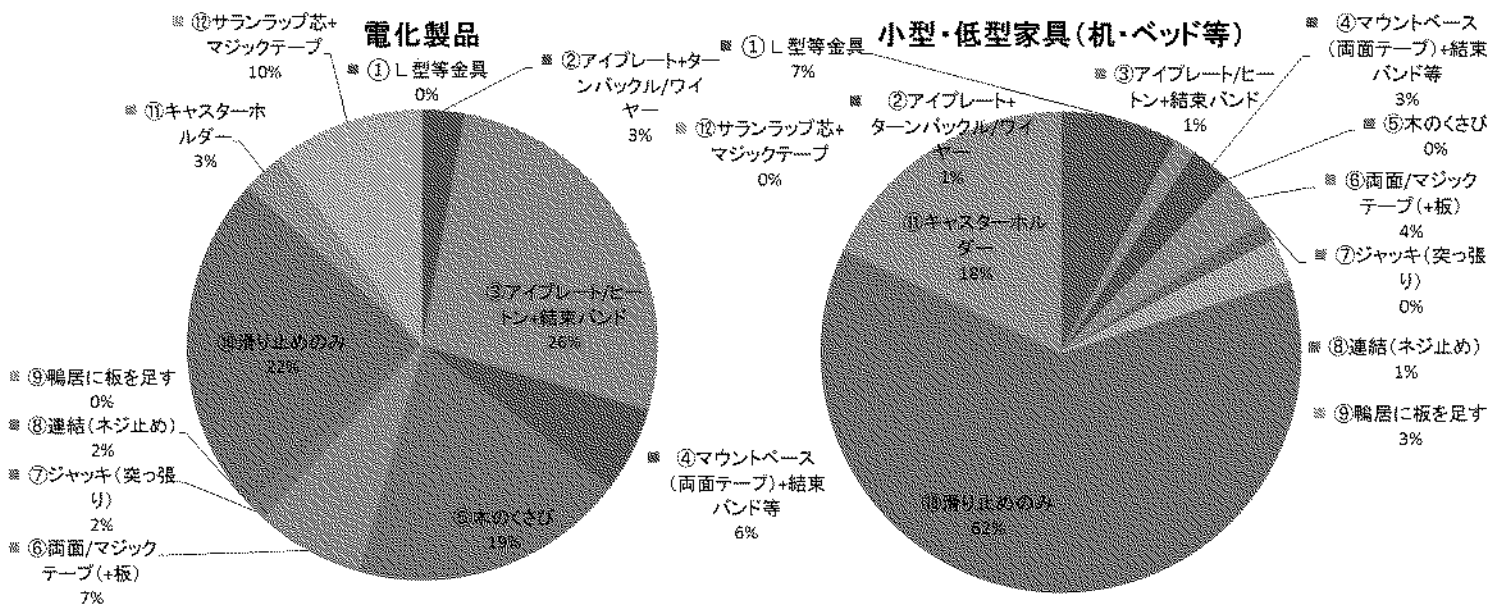
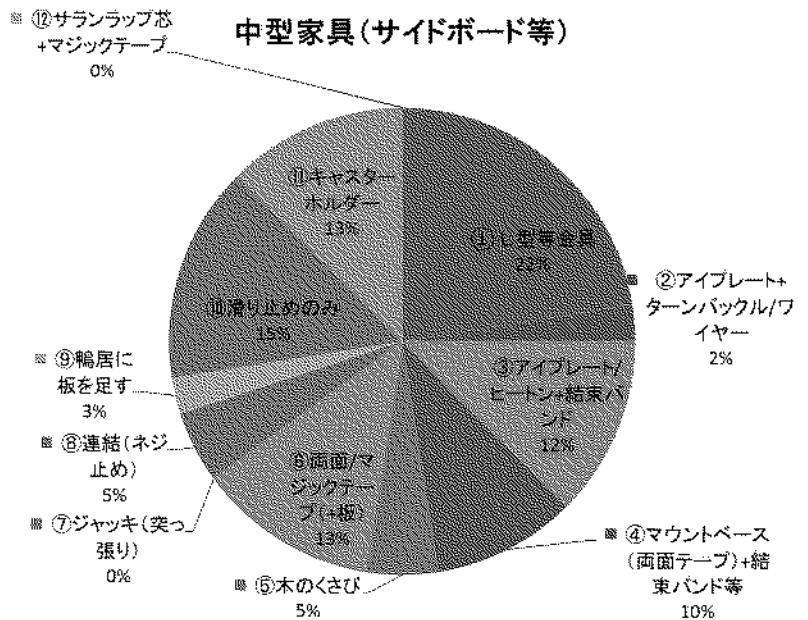
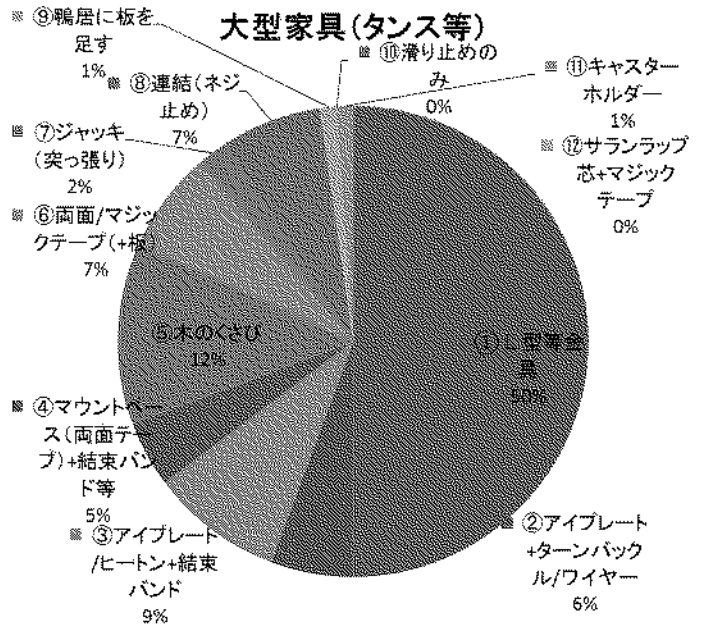
家具等の大きさ・高さにより、大・中・小に分類。高さの目安として

- ・ 150cm以上は大型
- ・ 100～150cmは中型
- ・ 100未満は小型

ベッドは幅、奥行きはあるが小型に分類した。電化製品には、冷蔵庫、テレビ、ピアノなどを含んだ。

【傾向】

1. 大型家具で施工割合が一番大きいのは① L型等金具で50%、②③のアイブレードの使用は15%、①②③合計で65%を占めている。①②③の合計は、中型家具では36%、小型家具では9%と、下がる傾向にあり、家具が大きいほど、①②③のように家屋に金具をネジ止めして固定化する方法をとっている。
2. ⑩滑り止めのみ⑪キャスターホルダーの合計は、大型家具では1%、中型家具では28%、小型家具では80%を占めており、家具が大きい場合は、⑩⑪の簡易な方法での施工はしていない。



危険度別施工結果

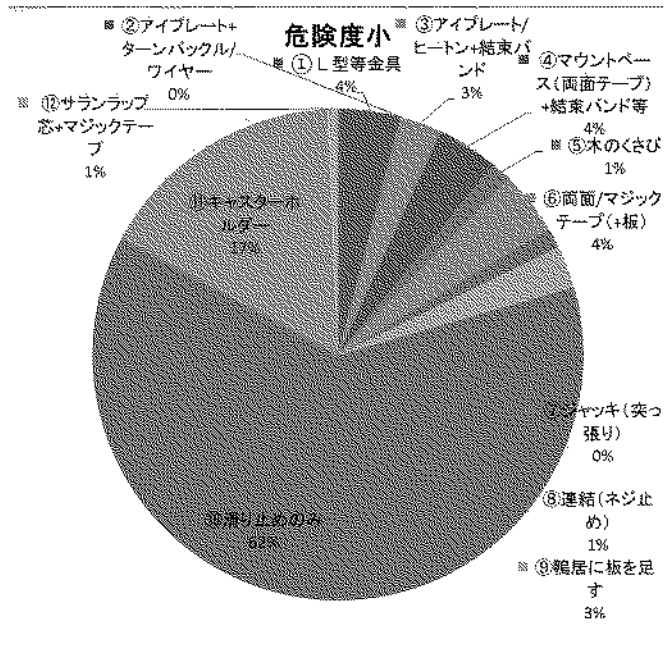
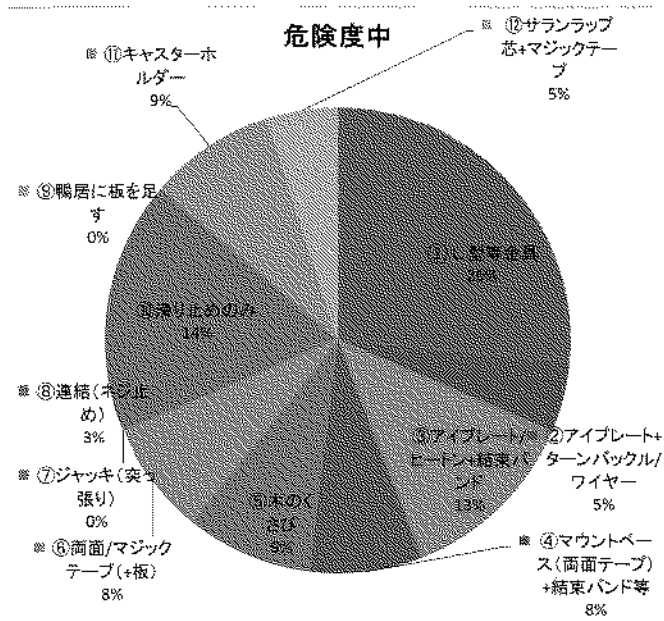
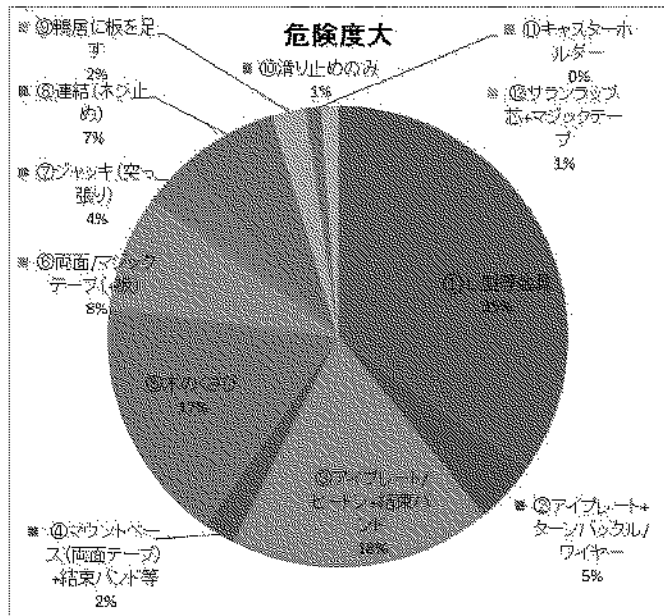
【危険度】

区民会議委員が、個別の家具を以下の観点から評価し、転倒の危険度を「大」「中」「小」に分類した。

1. 家具の大きさ・高さ
2. 部屋の種類（居間、寝室等）
3. 部屋の使用頻度（毎日、子どもが帰省してきたときのみ等）
4. 部屋の中の配置位置（転倒により出入りを塞ぐ可能性等）

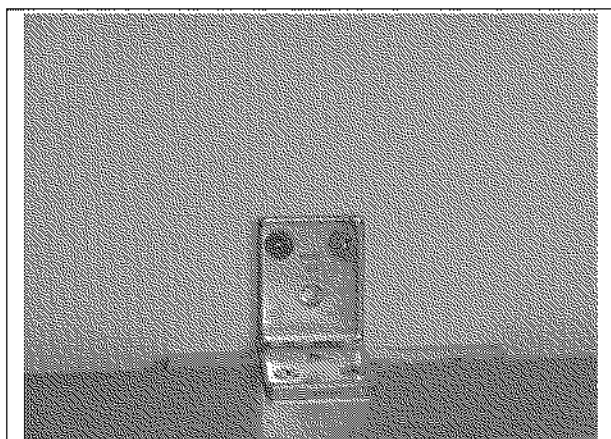
【傾向】

1. 危険度大で施工割合が一番大きいのは①L型等金具で35%、②③のアイプレートの使用は23%、①②③合計で58%を占めている。①②③の合計は、危険度中では44%、危険度小では7%と、下がる傾向にあり、危険度が大きいほど、①②③のように家屋に金具をネジ止めして固定化する方法をとっている。
2. ⑩滑り止めのみ⑪キャスターホルダーの合計は、危険度大では1%、危険度中では23%、危険度小では79%を占めており、危険度が大きい場合は、⑩⑪の簡易な方法での施工はしていない。

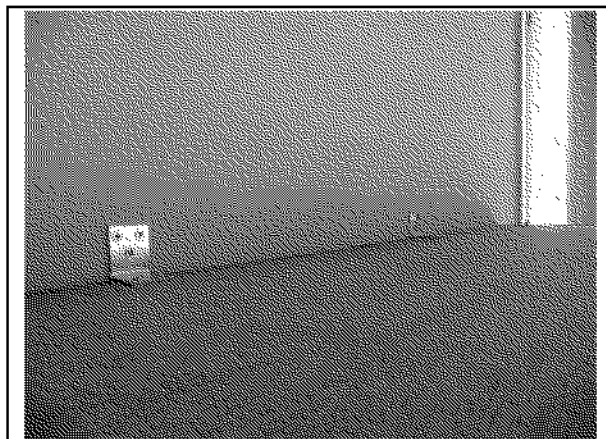


主な施工方法

① L型等金具



L型金具（壁と家具を固定）



L型金具の施工例

② アイプレート+ターンバックル又はワイヤー



アイプレート（壁と家具それぞれに取り付け）



アイプレート+ターンバックルの施工例

③ アイプレート又はヒートン+結束バンド

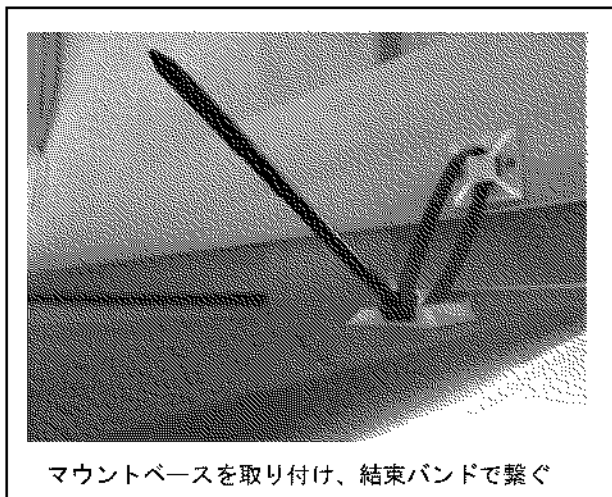


壁と家具にアイプレートを取り付け、結束バンドで繋ぐ

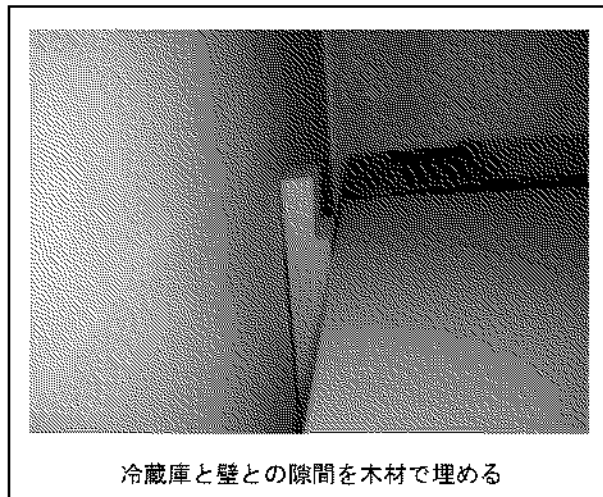


壁に取り付けたアイプレートと金属棚を結束バンドで繋ぐ

④マウントベース（両面テープ）＋結束バンド等 ⑤木のくさび

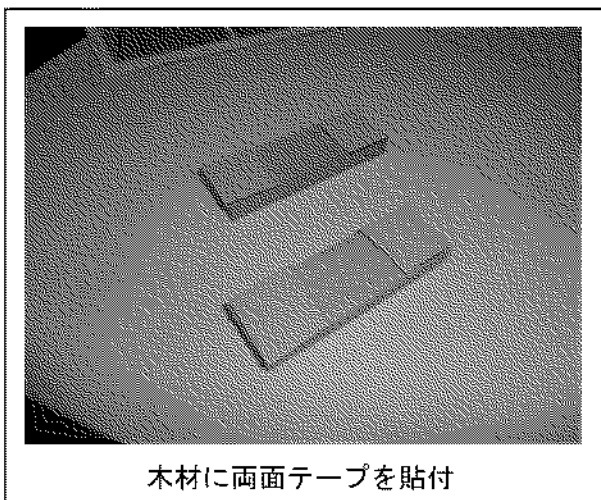


マウントベースを取り付け、結束バンドで繋ぐ

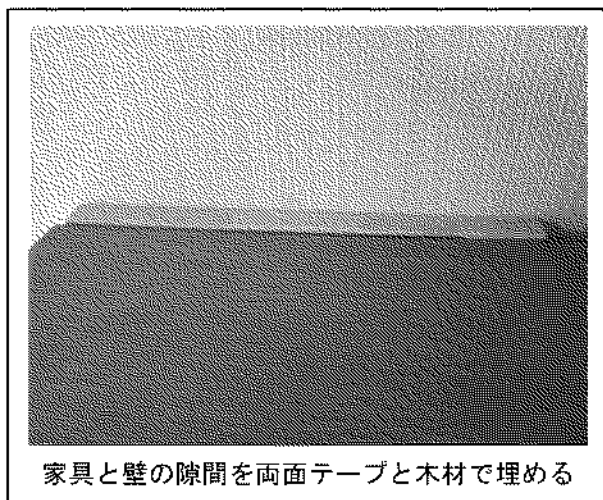


冷蔵庫と壁との隙間を木材で埋める

⑥両面テープ又はマジックテープ＋板

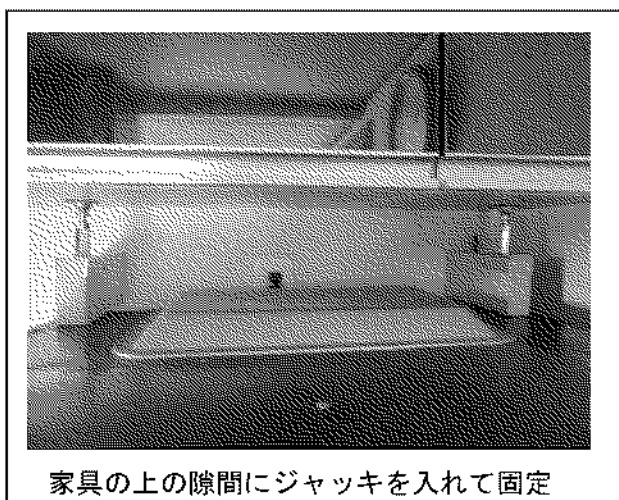


木材に両面テープを貼付



家具と壁の隙間を両面テープと木材で埋める

⑦ジャッキ（突っ張り）



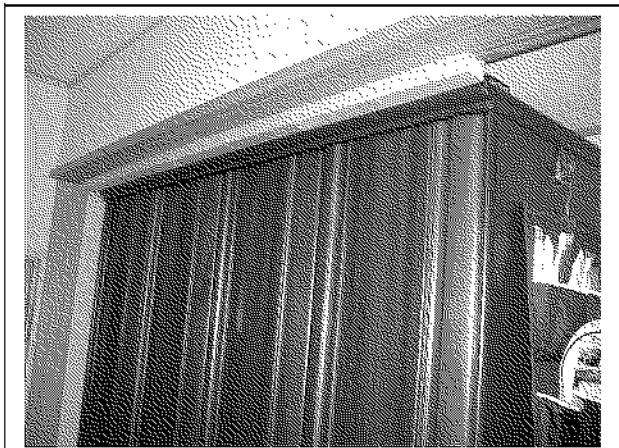
家具の上の隙間にジャッキを入れて固定

⑧連結（ネジ止め）



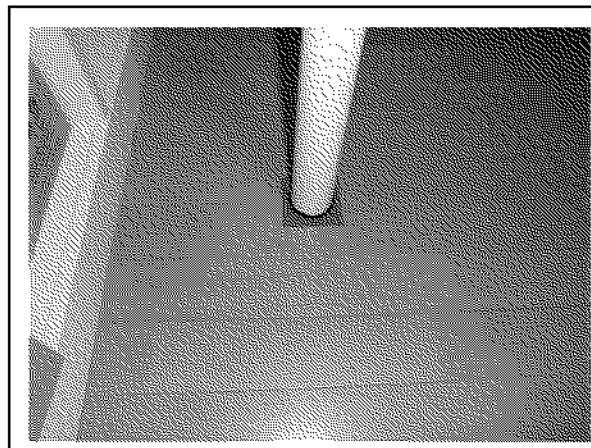
上下の家具をネジ止め

⑨鴨居に板を足す



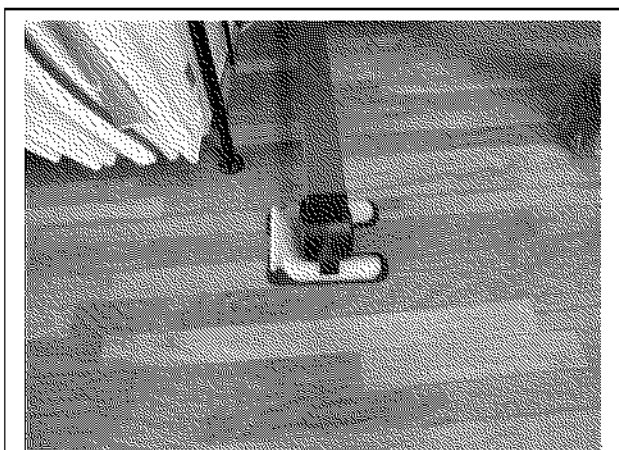
鴨居に板を足し、家具が前に転倒しないよう固定

⑩滑り止め



家具下に滑り止めを敷く

⑪キャスターホルダー



キャスターの脚に滑り止め付きのホルダーを設置

⑫サランラップ芯+マジックテープ

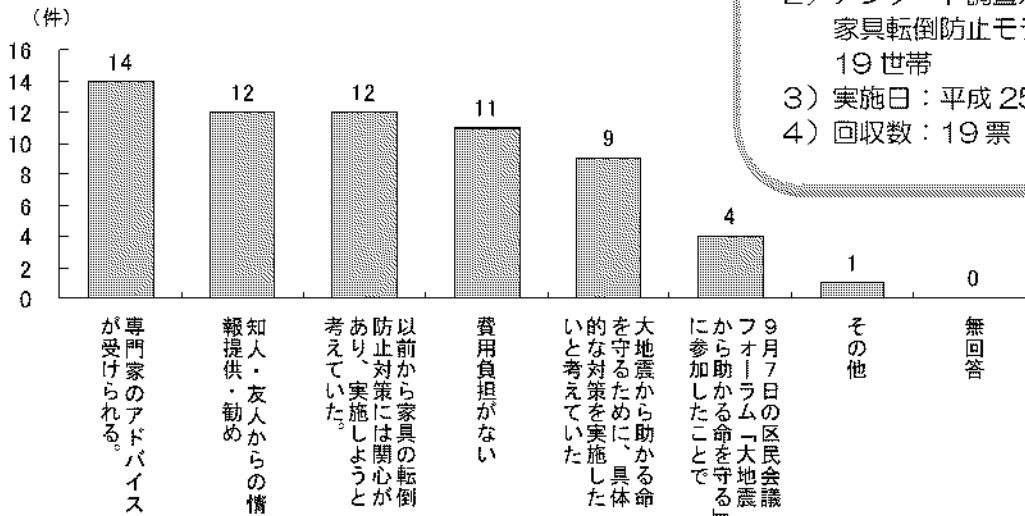


テレビのディスプレイをマジックテープと使用済みラップの芯で壁と固定

4. モデル事業対象世帯へのアンケート結果

1. モデル事業について

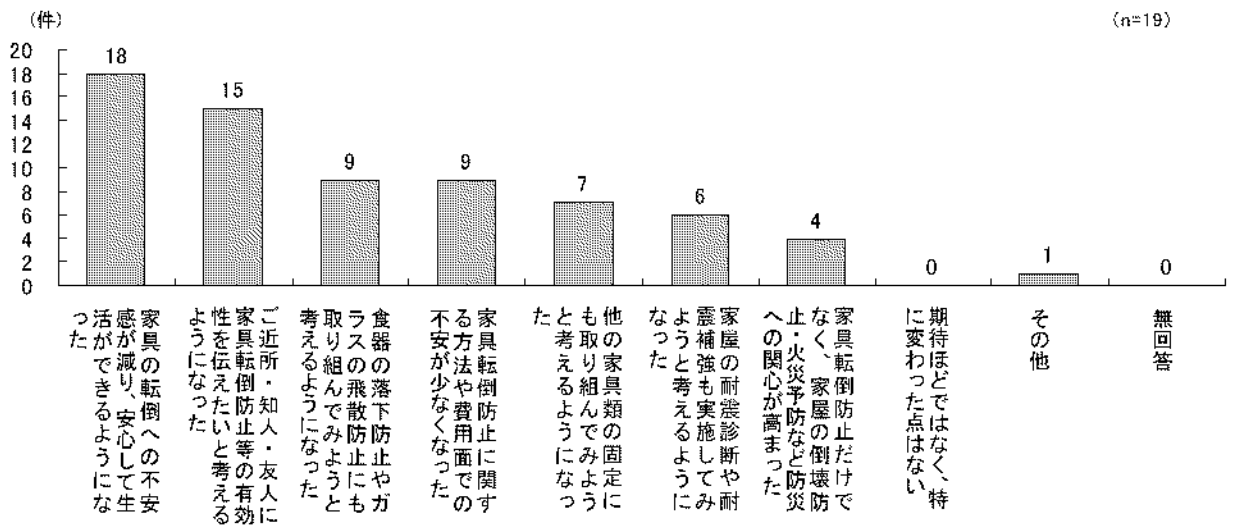
1) モデル事業への応募動機・理由 (問1)



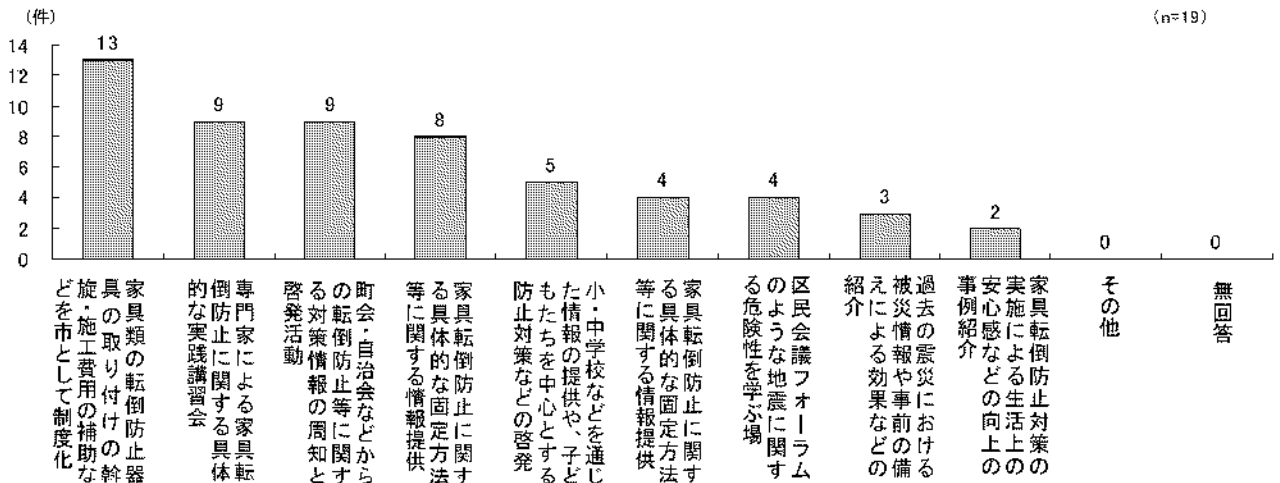
◆調査概要

- モデル事業参加戸数：
戸建て11戸（2世帯住宅2戸）
マンション6戸
- アンケート調査対象世帯：
家具転倒防止モデル事業参加世帯
19世帯
- 実施日：平成25年12月
- 回収数：19票（回収率：100%）

2. モデル事業後の日常生活における変化 (問2)



3. 家具転倒防止対策促進に有効な対応策 (問3)

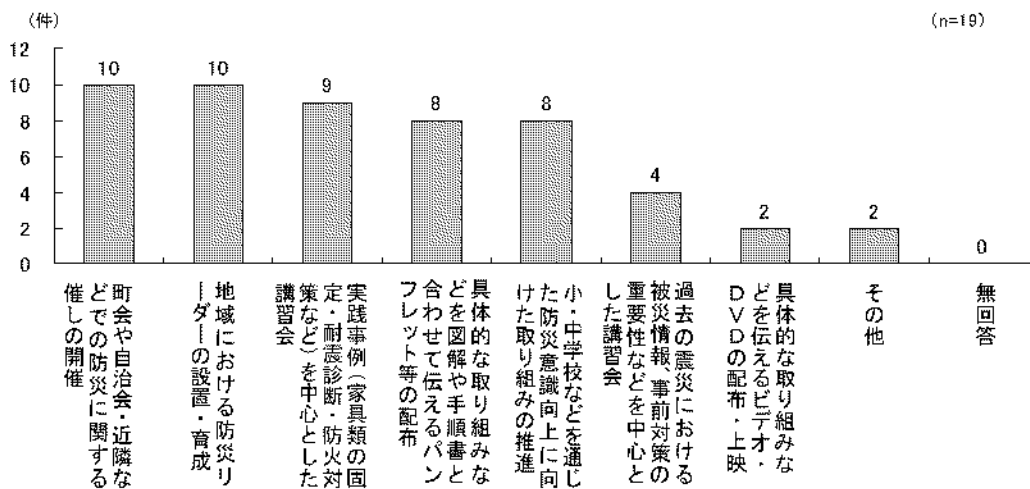


2) 火災予防・火災による人的被害を無くすために良いと思うこと (問 12)

- ・ 消化機材の設置と使用方法の講習
- ・ 火を使わない設備 (IH クッキングヒーターなど)
- ・ 地域のコミュニケーションと防災意識の共有化
- ・ 電気の漏電防止設備
- ・ 火の確認 など

4. 防災対策について

1) 各家庭及び地域における防災対応策推進に必要と思われること (問 13)



2) 防災対策推進のための提案 (問 14)

- ・ 繰り返しの訓練
- ・ 実践或いは体験できるような取り組み
- ・ 紙媒体での情報提供
- ・ 自治会などで火災などへの備えをシミュレーションする
- ・ 自治会の各班での話し合いと簡単な確認
- ・ 防災委員会の解散と実践的な委員会の設置
- ・ 防災訓練などに炊き出しを取り入れ人と人のつながりを作る
- ・ 小中高生大学生が防災リーダーとして地域を守るボランティア活動者となれるような仕組みづくり

5. モデル事業・大地震対策について

- ・ 自由記述の質問に対して 17 件の回答。
- ・ モデル事業に関し、ほとんどの世帯から工事担当者や行政への感謝の言葉が寄せられた。当事業をきっかけに「自主的な備えをやりこようという意識向上につながった」「災害対策の啓蒙活動に協力していきたい」などの前向きな意見も見られた。
- ・ また、「普段の心構え・訓練が大事」との基本となる考えや、「学ぶことの大きな機会」の提供、「一定の補助」「モデル事業のさらなる展開への期待」「今回の取り組みの広報・周知」などの意見をたくさんいただいた。

5. モデル事業参加者の意見（モデル事業を振り返って）

◆ 活動計画・実施体制について

- ・ 「協力家庭の満足を得ること」|家具転倒防止のための器具、施工方法等のノウハウ習得」については、活動計画・実施体制が適切だったために大変良くできた
- ・ 事業計画については適切な計画が立てられて計画どおりに進み、実施体制についても優秀な人材を得たことが良い結果につながった
- ・ 事前調査と工事実施の2段階で構成される活動計画は軽い負担ではなかったが、無駄あるいは非効率な面は特になく適切なものであった
- ・ 「施工」を受け持っていただいた協力支援者の方々が極めて協力的、積極的な姿勢で主体的に取り組んでいただいたことでモデル事業の成功につながった
- ・ 事務局のサポートが充実しており、参加した委員もしっかりと役割を果たしたことを含め、実施体制が非常に充実していた

◆ 事前調査・工事で感じたこと

（モデル事業応募世帯について）

- ・ モデル事業に応募いただいた家庭は、耐震について何らかの準備をしている方、考えている方が多く、ご主人・奥様または双方が耐震に関心があった
- ・ モデル事業対象世帯には共通点がある
- ・ チラシの効果、事前説明会の実施などで、対象世帯はモデル事業に対する理解度が高い
- ・ 家具転倒防止の実施率は、本格的な地震に対応できているかという点から見ると低い
- ・ 「何とかしなければと思うがどうしていいかわからない」「家具自体が重いからちょっとやそっとでは動かないだろう」と無理と思い、実施していない
- ・ モデル事業応募世帯は家具転倒防止を中心とする地震対策に関心が高く、すでに何らかの行動を起こしている（対策を講じている）世帯である

（モデル事業実施体制について）

- ・ 調査・工事を担当した協力支援者の人柄も良く、応募いただいた方々の相談に乗り、工夫を凝らし真剣に耐震に取り組んだ

（モデル事業でのノウハウについて）

- ・ 家具や電気製品の固定は思っていた以上にノウハウを必要とするものであった
- ・ 専用バールなどの有用な資機材を知ることができ、工事に使用する道具には我々の知らなかった便利なものが結構多い
- ・ 大型の置時計・ショーケースなど、L字金具で固定したくない物は突っ張り棒や突っ張りジャッキで固定し、見栄えが悪くならないよう壁紙を貼った目隠し板で隠すなど、居住者の方の満足を得るための工夫と努力は素晴らしいものがあった
- ・ 下地探しや軽量鉄骨の建物への対応、対策実施上で不可避な工事など、プロでなければ判断できないこともある
- ・ 下地探し、家具の持ち上げ、滑り止めシート、コンベックスペース、アイプレート等を上手く使いこなすことも家具転倒防止対策普及のカギである
- ・ 日常生活の使い勝手と家具転倒防止との折り合いのつけ方は、居住者本人と話し合いながら様々な固定方法を組み合わせることで、ほぼどんな場合にも対応できる

- ・単純に「家具等の固定」と言っても、家具や電化製品はご家庭ごとに様々なものがあること、固定先の家屋の（壁、柱、間柱、鴨居等の）構造・材質も個々に異なること、居住者の希望や価値観及びライフステージも個々に異なることなどを踏まえ、丁寧で綿密な「事前調査」は重要かつ必須である
- ・綿密に事前調査を実施して工事計画書を作成しても、工事本番では変更や追加が発生した
- ・居住者側も（ご主人、奥様等）人によって意見や価値観が違い、同じ人でも状況に応じて判断が変化する（揺らぐ）こともあり、最大限尊重しなければならない
- ・事前調査を十分かつ適切に実施する（適切な固定方法の発案、居住者とコミュニケーション、最適な固定方法の決定を誘導）、能力(技術、ノウハウ)の有用性、価値は非常に高い
- ・個々の家屋、個々の家具に関して実施協力者（卓越した技術者、専門家）が提案してくれた固定方法はいずれも力学的・工学的・経済的に妥当で適切なものだが、専門家でない者が同じ判断ができるかは難しい

（他の防災対策との関連について）

- ・家具の固定方法を定めるための判断、使用する固定用具、作業方法などノウハウにのみ参加者の関心が払われていた
- ・小地域コミュニティの親密さやその推進ノウハウ、家具の転倒防止以外の大地震対策（投てき型消火用品の配備など）も重要

◆ 課題

（家具転倒防止対策の効果について）

- ・実施した家具転倒防止対策がどれだけの震度に耐えられるのかが重要

（家具転倒防止対策のPR・広報について）

- ・これから「家具の固定」をいかにPRして定着させるかが重要であり、文書・映像両面で広報することでどれだけ効果があるのかを検証する必要もある
- ・モデル事業の実施効果の整理、結果のPRが大切

（家具転倒防止の促進対策について）

- ・誰のために家具の固定をするのか、明確にすることで効果がある
- ・やろうと思っても踏み切れない一番の理由は家の中を見せる決心がつかないため、そのままいいとして転倒防止対策の実施を呼びかける

（家具転倒防止対策の普及・啓発について）

- ・モデル事業の成果を普及・展開していくためには、「実施体制（技術やノウハウを習得・理解しそれを実践できる人物）」が重要
- ・普及啓発の対象として念頭に置く区民像は、モデル事業応募世帯より地震対策に関心が低い世帯である
- ・特殊なケースを除き、よく使われる家具のオーソドックスな固定方法については「平易な一般的方法」を見極めることができ、普及啓発資料で取り上げていくことが必要
- ・啓発段階では広く一般区民を対象とすることから、そのための資料（パンフレット、映像）や普及啓発方法（説明会、セミナー、出前講座、資料配付等）には工夫が必要
- ・①意識を向ける②関心を持つ③やってみようという姿勢・意識を持つ④わが家ではどうすればよいか考える⑤住まい方や家具の置き場所を見直す⑥具体的な固定方法を選ぶ⑦材料や道具を揃える⑧実際に固定工事を行う⑨安全性を確認する⑩状況の変化に応じて対策を追加実施するといった、何段階ものステップを踏む形での誘導・働き掛けが必要

- ・対象とする段階にふさわしい普及啓発手法を見出さなければならず、意識の醸成と対策実施とは明確に区別して捉えることが重要
- ・区民の自助努力に期待するだけではおそらく十分な普及・実施は期待できないと思われ、普及啓発・実践のための本格的で継続的な活動や体制を整備していくことが望ましい
- ・自主防災組織や町会自治会組織は、家具転倒防止対策の普及・啓発の受け皿になることを期待しており、意識や活動を変えていただくことが必要

(学識経験者との連携について)

- ・園田研究室ともしっかりと係わりが持てれば、別な展開が期待できる
- ・今後の事業評価・見直し・取り組み提案等において、園田教授にどのように関わっていただくかが重要

(提言内容の取りまとめについて)

- ・提言にどのように盛り込むかの議論が重要であり、今期の部会のやり残し部分を含めて、第5期区民会議での審議を含めた活動にどのようにつなげるかも検討する必要がある
- ・自主防災組織（町内会）にモデル事業結果を如何に見てもらおうか、家具転倒防止対策に如何に取り組んでもらおうかが重要
- ・確かで親切的な相談窓口が望まれており、窓口の設置を検討することも必要
- ・危険度の大きな工事は業者に依頼し、費用面の概算、中小の工事は自分達でもできる指導・アドバイス、工事計画を提案するアドバイザーの派遣は無償という制度の整備が必要

◆ その他（提案など）

(家具転倒防止対策の促進への取組)

- ・子どもがいる場合は否応なしであり、すぐできたという実例を示せば動く
- ・3段ベッドの固定では子どもにも手伝ってもらい、滑り止めを敷き、緩んだネジをしめてもらい、ベッドの使い方を考えて楽しく施工ができ、工事の本来の姿と思われた
- ・母と子のワークショップなどで模型ではなく、今回採用した危険度の小さい家具転倒・移動防止具を作ってもらおうなど、楽しんで広めることも必要

(家具転倒防止対策のPR促進)

- ・家具の固定のノウハウを習得できたので、これを如何に普及していくかが課題であり、具体的には戸建て編、マンション編、基本操作・単位操作編の3本のビデオ撮りを進め、映像として提供していくことだと思う
- ・区民の行動につながる有効な働きかけの方策を具体的に提示することが重要
- ・モデル事業の協力家庭の方々の「安心して暮らせるようになった」といった感想と、小地域コミュニティにおける推進リーダーへの働きかけなどをビデオにして見ていただくことが、動機づけの有効な働きかけになる

(総合的な防災対策の促進について)

- ・モデル事業の家具の固定は使い方の知識を得たことに相当し、その知識・ノウハウを広め、他の防災対策と合わせて戦略的に対策を進めることが不可欠
- ・区民の助かる命を守るのが目標であり、保身的な考え方はせず、役立ちそうな情報・知識をすべて盛り込んで、戦略的思考で命を守るための提言をまとめるべき

6.モデル事業のまとめ

1 活動計画について

【評価できる点】

- ①計 19 戸のお宅において、1 戸あたり延べ 3～4 時間で実施し、合計 439 箇所、家具の固定を行った。各戸で共通した固定方法もあれば、家具や配置により特別の配慮をした固定方法もあり、様々な方法のサンプルを集めることができた。
- ②事前調査により作成した工事計画書を工事前に対象世帯が確認する時間ができたため、事前調査に立ち会えなかったご家族の希望を取り入れた計画に変更することができた。また、専門技術者の柔軟な対応により、事前に確認した計画書からの工事実施時の変更・追加が可能となり、対象世帯の満足度の高い工事を実施することができた。
- ③事前調査時に 1 つずつ家具を確認する作業により、対象世帯のご家族自身が個々の家具転倒の危険性を知ることができた。また、掃除のしやすさ、家具を移動させる頻度など、使い勝手（住み易さ）も確認した上で、危険性との折り合いをつけた方法を提案することができた。
- ④普段は使用しない部屋（子どもが独立した後の子ども部屋）の家具の処分や配置変更、対象世帯のご家族に安全な住まい方を考えるきっかけを提供することができた。

【反省点】

- ①当初の予定より実施時期が遅くなったため、事前調査・工事日程が短期間に集中し、協力していた専門技術者に負担をかけた。

各世帯の住まい方に合わせた満足度の高い家具転倒防止工事を実施するためには、事前調査をしっかりと行い、工事日程にゆとりを持たせた計画を立てる必要がある。

2 実施体制について

【評価できる点】

- ①金具・材料の実物を見せ、家具の状況によっては複数の固定方法を提案したことで、対象世帯が家具固定を主体的に考えることができた。
- ②専門技術者により、対象世帯への丁寧な説明ができた。
- ③今回の固定方法には、一般に知られていない方法や、専門的知識・技術が必要な方法が含まれており、専門技術者の分担により、適切な施工方法が選択できた。

各世帯の住まい方に合わせた満足度の高い家具転倒防止工事を実施するためには、家具固定の知識や技術だけでなく、対象世帯への説明や対話ができる施工者が必要である。

3 固定方法について

【評価できる点】

- ①木製家具以外を固定する方法、金具やアイデア商品以外を使った固定方法、専用バールや下地探し器、家具固定に有用な材料など、一般的に知られていない知識を得ることができた。
- ②ホームセンターなどで簡単に安価に手に入る材料で、簡単に実施できる固定方法がある一方で、マンションの躯体壁へのビス打ちなど専門的な器具や技術が必要な方法もあり、工事の難易度に幅があることがわかった。
- ③マンションなど区分所有建物の場合には、工事箇所が専有部分か共有部分かによる取り扱いの違い、管理組合への届出や許可申請など、管理規約等に基づく手続きや制約があることがわかった。

- ④対象世帯に固定方法を提案する際に、丁寧な説明をすることで、どんな震度でも絶対に転倒しないという保証はないことを前提に、納得のいく方法を選択してもらうことができた。

固定方法は、実施しやすいもの・施工の難しいものがあり、多様な方法の中から適当なものを、できれば複数選択することが望ましい。

4 対象世帯について

【評価できる点】

- ①事前調査の中で、子どもや孫と同居している、孫が泊まりに来るなど、自分以外の誰かの安全を確保したいと考えることが防災対策への関心を高めることがわかった。
- ②水・食料の備蓄をしたり耐震基準に関する知識があったり、防災対策への関心が高い世帯が多かったが、関心が家具固定の行動に結びついていない状況にあったことがわかった。
- ③アンケートのモデル事業への応募動機の回答のうち「専門家のアドバイスを受けられること」が最も多く、もともと関心が高い場合は、具体的な施工方法を知らせることで行動に結びつく場合が多いことがわかった。

誰かのためと考えることが防災への関心を高め、具体策を提示することで関心が行動に結びつく。

5 防災対策推進のための提案(対象世帯アンケートから)について

【評価できる点】

- ①家屋の倒壊防止(耐震診断・耐震補強)について、昭和56年以降の新耐震基準についての知識がある世帯が多く、地震体験シミュレーションの活用など対策推進のための具体的提案をあげられる世帯もあるほど、関心・知識が高かった。
- ②火災予防について、消火器・火災警報器の設置等個人宅での対策は進んでいた。
- ③防災対策について、「町会や自治会・近隣などでの防災に関する催しの開催」「地域における防災リーダーの設置・育成」が必要だとの回答が最も多く、次いで「実践事例を中心とした講習会」や「パンフレット等の配布」「小・中学校での取り組み」があげられた。

火災予防については個人宅での自助的対策が進んでいる。総合的な防災対策では、地域における互助の取り組みが求められている。(ただし、もともと防災への関心が高い対象世帯へのアンケート結果であることを考慮する必要あり)

7. 子育てしやすい環境づくりに関するアンケート調査結果

「こどもと一緒にコンサート」でのアンケート結果（平成 25 年 2 月） 回答数 72 件

問 1 麻生区の居住理由

- 自然・緑が多い、地域の治安が良い、交通機関が便利、実家が近い、以前から住んでいたが上位 5 位。
- 買物の利便性、子どもの遊び場、芸術・文化のまち、文化施設、教育への関心等は下位。

【上位 5 位】

- 第 1 位：自然・緑が多い（43.1%）
- 第 2 位：地域の治安が良い（34.7%）
- 第 3 位：交通機関（バス・鉄道）などが便利（33.3%）
- 第 4 位：実家が近い（27.8%）
- 第 5 位：以前から住んでいた（18.1%）

【下位項目】

- 第 6 位：買物に便利（18.1%）
- 第 7 位：子どもの遊び場が充実・安心である（11.1%）
- 第 8 位：芸術・文化のまちだから（8.3%）
- 第 9 位：文化施設が充実している（6.9%）
- 第 10 位：教育に関心が高いまちだから（2.8%）
- 第 11 位：医療機関が充実している（1.4%）
- 第 12 位：スポーツ・娯楽施設が利用しやすい（0.0%）

問 2 麻生区の満足度

- 約 8 割が「満足」と回答
- 約 2 割が「満足していない」と回答

- ・「満足」が 18.1%、「どちらかと言えば満足」が 58.3%で、計約 76.4%が「満足」と回答。
- ・一方、「どちらかと言えば満足していない」「満足していない」がともに 9.7%で、計約 19.4%が「満足していない」と回答。

問 3 子育てで困っていること

- 【上位 3 位】第 1 位：保育園がいっぱいで入所できない（33.3%）
- 第 2 位：いざというときに子供を預かってくれる人がいない（27.6%）
- 同 2 位：保育料や教育費の経済的負担が大きい（27.6%）



問 4-1) 行政に期待すること



【上位 5 位】

- 第 1 位：近くで遊べる公園や広場の充実（43.1%）
- 第 2 位：子どもと遊べるスポーツ・芸術・文化の各施設や活動の充実（41.7%）
- 第 3 位：保育園の受入定数の拡大（38.9%）
- 第 4 位：児童手当などの経済的支援の強化（37.5%）
- 第 5 位：子どもを連れて安全に歩けるよう、交通安全とバリアフリー強化（34.7%）

問 4-2) 地域に期待すること



【上位 5 位】

- 第 1 位：地域で参加できることも関連イベントや行事の充実（50.0%）
- 第 2 位：休日に親子で過ごせる場所・活動（44.4%）
子どもたちが集まれる場所（44.4%）
- 第 4 位：気軽に参加できる子育て支援グループ活動（27.8%）
- 第 5 位：身近な買物環境の充実（25.0%）

【属性】

- 性別：(女性) 70.8% (男性) 26.4%
- 年代：①30 歳～39 歳：63.9% ②40 歳以上：30.6% ③23～29 歳：2.8%
- 職業：①専業主婦（主夫）：51.4% ②勤め人（フルタイム）：38.9% ③パートアルバイト：2.8%
- 居住地：①麻生区：97.2% ②麻生区外：0.0%
- 居住年数：①2～5 年未満：37.5% ②5～10 年未満：31.9% ③11～20 年未満：9.7%

8. 子育て支援グループへのヒアリング結果（子育てしやすい環境づくり）

| | みなみゆりがおか | にこにこクラブ | このっこ | 市民子育てフリ | |
|-------------------|--|--|---|--|--|
| 種別 | 地域子育て支援センター | 自主保育サークル | 自主保育サークル | 保育園・支援セン | |
| 担当 | 菅野、金光、山田 | 山田、高橋(庸) | 菅野、金光 | 保育園・支援セン | |
| 実施日 | 2013年5月16日 | 2013年5月24日 | 2013年5月27日 | 21 | |
| | スタッフ | 利用者 | 参加者 | スタッフ | |
| 1. 組織・沿革 | <p>●区内唯一の公立の地域子育て支援センター 保育園に併設していない独立型。白山保育園の所属。</p> <p>●4人体制 ・スタッフは常勤1、非常勤2、臨時職員2、の4人体制。 ・0歳から小学校入学前までの子供と保護者が利用できる「屋根のある公園のようなところ」として、利用者同士が子供の成長を喜び合えるよう人との出会いや子育てのヒントを見つけられるような場を提供。</p> | <p>【参加の動機】</p> <p>●いろいろな子どもと触れ合う機会 ・いろいろな子供たちと触れ合う機会がほしかった</p> <p>●母親の友達づくり ・母親の友達作り</p> <p>●子どもの生活リズムを作る ・子供の生活リズムを作るための広い場所で子供を遊ばせたい</p> <p>●何で知ったか ・区役所の保健師の紹介（赤ちゃん訪問） ・ホームページを見て</p> | <p>●親子の学び、遊び、交流、情報交換 ・子育て親子や時にはボランティアの方の参加を得ての親子の学び、遊び、交流、情報交換の会。</p> <p>●黒川、はるひ野、栗木台周辺の親子を中心に15年前よりスタート ・黒川、はるひ野、栗木台周辺の1歳から未就学児の親子が中心となって、15年前から活動を始めた。</p> <p>●役員 ・役員は、会長、副会長、会計、と3つある庭の各班の代表3名の計6名体制で運営。</p> | <p>●自主保育 ・公園を拠点として親達が交代で保育し、小さい子ども大きい子ども一緒になって自由に遊ばせる自主保育のスタイルをとっている。</p> <p>・大会条件：将来保育園・幼稚園へ入園させないこと。 ・設立：7年前の平成18年 ・活動日時：週4日（月、火、水、金） 10時～4時 ・おいくれん（地域で子育てを考えよう連絡会）の定例会に出席し、川崎市内の自主保育会同士との情報交換を行う。</p> <p>●6名体制 ・世話人：親3人、OB3人</p> | <p>●障がい児を含めた子育てベース 2001年4月に市の事業として「よちよちっ子」「わくわくっ子」がスタートし、ジャンケン有志の会がボランティア力で関わる。翌2002年に障害を持つ子供を対象に「のびのびっ子」がスタート。その施設形態を少しずつ変えつつは川崎市家庭教育推進事業で支援啓蒙事業として子フリースペース「よちわくび」を開催している。運営ボランティアはメリゴーラン（主にジャンケンボンのメンバーが主体）</p> |
| 2. 活動内容 | <p>●遊びの場の提供 安全に遊べるように子供の年代別の部屋を設け、衛生面に配慮など</p> <p>●学びあいの場の提供 母親同士の情報交換や遊びの手助け</p> <p>●相談や話し合いの場の提供 母親の悩み相談など</p> <p>●情報の提供 各子育て支援センター・保育園の園庭開放・子育て支援講座の情報など</p> | <p>【保育状況】 自宅保育3人 認可保育に来月から通園1人 週2～3回保育園に通園中1人</p> | <p>●川崎市黒川青年野外活動センターにて(月3回) ・活動の場は、川崎市黒川青年野外活動センターの室内またはグラウンドの野外 ・毎週金曜、月3回以内 10:30-11:30</p> | <p>●子どもの自主性を尊重したあそび・そだち ・子ども達が遊びたいように遊び、親たちはそれを見守るのみ。しかし、公園内で自由にやりたいように遊ばせるには必ず危険が伴うので、生命に危険が及ばないように環境の整備が大切である。</p> <p>●親育て・親子のつながり ・親同士が日々の小さな喜びや感動を共有し、子どものけがや失敗をハラハラ、ドキドキしながら、実は親自身がしっかりと育てられていく。自主保育を通じて「安心」を育む親子の繋がりが出来る。</p> | <p>●よちよちっ子:0～1歳の子保護者 第1・2水曜</p> <p>●わくわくっ子:1～3歳の子保護者 第3水曜</p> <p>●のびのびっ子:0～3歳の/ディキップのある子供と保護者 第4水曜、いずれも10時～</p> |
| 3. 参加規模 | <p>●多い日で50組、少ない日で20組程度 ・参加者は多い日で50組、少ない日で20組程度。毎日来る固定メンバーもいるが、新規参加者も多い。 ・0～1歳児と母親が多い。地域性から幼稚園待ちの専業主婦が多い。（多摩区では育児休業中の人が多いとの話し）</p> | <p>【日頃感じていること】</p> <p>●夫の協力に感謝 夫が協力してくれるので感謝している。</p> <p>●預ける場所などが少なく不安 ・自分の具合が悪くなった時に不安。2人目を作りたいが近くに親戚がいないので不安。 ・1～2時間だけ子供を預けたい時がある（自分の通院など）</p> <p>●子どもへの向き合い方 子供の成長に応じた向き合い方に悩む。</p> | <p>●全体で24組＝親子48名 全体で24組＝親子48名を規模として（登録）活動しているが、常時参加メンバーは、12～15組（24～30名程度）。</p> <p>●比較的時間にゆとりのある専業主婦が多い</p> | <p>●現在は3組 ・スタート時は5組だった現在は3組。 ・原則自由参加で、子連れで公園に来て参加される親子もいる。</p> | <p>●通常20組程度 ・通常20組ぐらいの参加がある。 ・幼稚園までの自宅保育者（産休中の方も） ・ボランティアメンバーはの登録があり、1回4～5人応じている。 ・将来子育てを終えた母親今後はボランティアスタッフとして参加してもらえること待っている。</p> |
| 4. 力点(取り組みの特徴・効果) | <p>●保育園に入っていない利用者へのイベント検討 保育園に入っていない（入らない、入れない）利用者に何が提供できるか一定例イベント以外にも新たなイベント等を企画・実施していく</p> <p>●保育士・母親同士の交流で、不安が払拭され、安心できる ⇒今はインターネットなど情報が簡単に手に入ることで、逆に母親は「育児とはこうでなければいけないのになぜ自分だけできないのか」と自分や子供を責める人が多い。保育士や保育園の母親との交流をもち、他人の意見、育児の仕方を知ること、安心できる、肩の力がぬける。</p> <p>●子育て力支援＝子どもの健やかな成長 気持ちよく子育てできるように「子育て力」（知識、自信）を培えるよう支援することで、それが子供の健やかな成長につながる。</p> | | <p>●友達をつくること・集団行動ができるようになること・遊びをすること ・子どもの年齢やセンターの自然環境などを考慮して、子どもの成長に応じた活動をしている。例えば「お友達をつくること」「集団行動ができるようになること」 ・絵本読み聞かせ、絵の具遊び、リトミック体験、ゲーム遊び等</p> | <p>●情報交換・子どもの遊びにより安心する 保育の不安のある方も、ここで子を遊ばせ、情報交換することで安心して帰られる。</p> <p>●自主性・行動力・想像力を育んでいる 「園舎もない、カリキュラムもない、先生のいない」ないないつくして、子どもたちが好きなように遊ぶ姿を見守ることで、子どもたちの自主性、行動力、想像力を育む事が出来る。</p> <p>●色々な子どもと接することで、わが子への気負いがなくなる 親が色々な子と直接信頼関係を築く事が出来、わが子育てに對する余計な気負いがなくなり、親子関係も健康な距離がとれるようになる。</p> <p>●親同士が真の仲間となりストレスも発散 一人ひとりが責任を持って考え、話し合い、行動していくので、腹を割った会話が出来る、真の意味での仲間になっていく事が出来、それがまたストレス発散にもなっている。</p> | <p>●基本的に見守るのみ ●母親同士の情報交換 束縛せず、自由に話してもらい、母親同士がお互いに情報交換する。</p> <p>●子育ての悩み解決 また、経験者やボランティアスタッフの助言を得て子育ての悩みを解決し自分を取り戻すかけとなれるような場になよう。</p> <p>●市民館という場所が集まりやすい 市民館という場所柄、図書館区役所に来たついでに買い出し等に寄りやすく人が集まりやすい。また、保健所等の公園と連携し、衛の病院情報的知識を得やすく、口コミ拠点にもなっている。</p> |

| | みなみゆりがおか | にこにこクラブ | こめっこ | 市民子育てフリ | |
|----------|---|---|--|---|---|
| 種別 | 地域子育て支援センター | 自主保育サークル | 自主保育サークル | 保育園・支援セン | |
| 担当 | 菅野、金光、山田 | 山田、高橋(康) | 菅原、金光 | | |
| 実施日 | 2013年5月16日 | 2013年5月24日 | 2013年5月27日 | | |
| | スタッフ | 利用者 | 参加者 | スタッフ | |
| 5. 課題・展望 | <p>●人手不足 地域の人や通っている人のボランティア協力も得られているけれども、利用者にとって関わるには人手が不足している</p> <p>●踏み込んだ支援 備を備供するだけでなく、もう一歩入り込んで、子育て中の親と子を支援したい</p> | <p>【地域・施設・行政などへの意見】</p> <p>●施設には大変お世話になっている) ・この施設には本当にお世話になっている。子供が行きたいとよく言う ・地域子育て支援センターが充実していると助かる</p> <p>●場所が遠いので、駅前設置やバス送迎を 子供を預ける場所が少ないし遠いので駅前であったり、バスの送迎がほしい</p> <p>●気軽に子育て相談できる場所が必要 この施設のように気軽に子育ての相談できる場所は必要</p> <p>●室内で土日祝も空いている施設があれば この施設のように室内で遊べて土日祝も開いている施設がもっとあれば…</p> | <p>●運営困難 ・班長(リーダー)になると責任が重く、保育専門者を呼ぶと聚 ・活動の負担で諦める母親もいる ・自主保育サークルは場所が定まらず疲れる ・施設が狭いので気が休まらない ・常時ボランティアスタッフいで欲しい</p> <p>●子育てと仕事の両立 ・仕事をしたいが、子どもを預ける人・場所がない ・子どもを出産しても仕事をやめなくてもよい社会の仕組みづくり</p> <p>●子育てにおける地域差 ・鹿野・教育内容から近隣市の幼稚園に入れている親もいる(はるひ野) ・新百合ヶ丘から離れると子育て条件厳しくなる ・麻生図書館は遠く、近隣市図書館は貸し出し冊数少ない</p> | <p>●プレーパーク作りのための法整備 プレーパークを作りたい。それをするには法整備が必要である。</p> <p>●人材(プレーリーダー)の確保 子供の思いを発信でき、場の環境整備が出来て、地域の住民とコミュニケーションのとれる人材(プレーリーダー)が欲しい。</p> <p>●行政との協働 自主保育する上でもっと行政と協働できればいい。</p> <p>●情報誌作成時の親の参加 麻生区には育児・医療に関する情報が網羅された小冊子の編集には若い親を入れて欲しい。</p> <p>●公園があまり利用されていない⇒活性化 公園があまり利用されていない。多くの親が来る公園にするにはどうすれば良いか。公園の活性化を。</p> | <p>●運営主体がコロコロ代わらめ、事業の継続性が不安 スタートしてから事業が什案事業、川崎市家庭教育支援委員会主催事業、子育て支援委員会主催事業、川崎市教育委員会推進事業と主催がコロコロ変わってきた。運営スタッフからすれば事業が今後も継続していくのか不安がある。</p> <p>●ボランティアスタッフのつづきが心配 また、ボランティアスタッフに参加してもらえる人がも驚がっていくのか心配する。</p> |
| 6. 拒否ケース | なし(誰でも受け入れる) | | | | |
| 7. その他 | | <p>【他地域での子育ての経験】</p> <p>●駐車場のある支援センター ・(長野県)車が停められる支援センターが川崎にもあるといい</p> <p>●公園・児童館充実 ・(埼玉県所沢市)子供が遊べる公園や児童館、図書館が充実している</p> <p>●麻生区は安心して散歩でき、緑も多く子育てしやすい ・(東京都港区)車通りが多かったので麻生区は比較的安心して散歩できる。緑も多く子育てしやすい</p> | <p>●みなみゆりがおかが羨ましい ・みなみゆりがおかは、案内で教材を管理できたり、遊ばせてくれるスタッフがいたので羨ましい。サークルでは、都度片付け・掃除をして返却するための負担が大きい。</p> <p>●子育てサロン、子育て交流広場、遊びの会がひとつになった子育てサークルが欲しい</p> <p>●広い施設が欲しい</p> <p>●公園に遊具が少ない/母子だけで過ごす適当な場所が少ない ・公園に遊具が少ない、幼児と母親だけで過ごす適当な場所が少ない。ぶらぶらと歩くしかない。</p> <p>●子育て支援の情報が少ない ・ネットで調べているが、幼児を抱えていると制約があり、気軽に早く情報がもらえる仕組みはないか。</p> | | |

9. 芸術・文化関連団体に対するヒアリング結果（芸術・文化のまちづくり）

| 団体名 種別 担当 実施日 | 芸術団体 | | | 芸術教育機関 | | |
|--|--|--|--|--|---|--|
| | 日本オペラ振興会 音楽(歌劇) | 劇団民藝 演劇 | 日本映画大学 映画 | 昭和音楽大学 音楽 | 玉川大学 芸術 | |
| | 菅原、山田、石井 2013年5月22日 | 菅原、菅野 2013年5月8日 | 東川、金光、武濤 2013年5月20日 | 菅原、石井 2013年5月29日 | 山田、矢野、武濤 2013年5月17日 | |
| 1. しんゆり・芸術のまち推進の ためのアイデア(第3期提言 への意見) | 全体 | ●新百合ヶ丘は素晴らしい文化環境 ・この地域の人々は文化に理解が深い人が多く、今のところ問題を感じていない | ●アートセンターが中核機能としての役割を果たす ・アートセンターが活性化すると地域の芸術文化の活性化につながる | | ●麻生区は新しいまちで「行くところより、帰るところ」というイメージ ●芸術・文化のまちは広間でイメージがとらえにくい。 ・テーマを絞ったブランディング、小田急等を活用した広報展開 | |
| | ①文化担当官の設置 | ●文化芸術専門コンシェルジュ機能 ・文化・芸術などのPRを専門的にやってもらえる人が必要 | ●情報を取りまとめて広く発信する機能が必要 | ●麻生市民館の社会教育主事の機能が復活が近道ではないか | ●行政ではなくボランティアが文化担当官を担ったほうがよい ・例えば21ホールのあるNPOカワサキアーツを活用し、練習場の情報管理などを行う | ●支える人達の組織化、ネーミング、巻きこみが大切 ・「見える化」のために必要だが、それを支える人達の組織化、ネーミング、巻きこみが大切 |
| | ②麻生文化会議の設置 | ●音楽団体同士が集まって協力関係ができると良い ・文化団体にとっては芸術団体のレベルの高い公演やワークショップ、指導を受ければレベルアップになる。団体してみれば集客につながる。 | ●分野別に団体間のつながりから始めてみてはどうか | ●既存組織の活用で実現できるのでは 相互協力：しんゆり・芸術のまちづくりフォーラム 情報発信：NPO法人しんゆり・芸術のまちづくり | | |
| ③情報発信・活性化(景観条例見直し) | ●規制に基づいた綺麗なポスター、のぼりであればもう少し広報できれば | ●「芸術・文化」の雰囲気を感じられるよう、新百合ヶ丘駅からアートセンターまでを結ぶ ・道標にのぼり旗を立てるなど、アートセンターに足を運ぶ道すじをつくる必要がある。 | | ●公共性や芸術的観点から広報イベントを選定し、広報物を掲示できるように ・何でも掲示してよいというわけではない。 ●駅からアートセンターまでの道際にのぼり旗を立てて公演の広報を | ●大胆な「まちづくり」の発想が必要 市や区による大胆な発想に基づく「まちづくり」の視点が重要(例：相模原市「ユニコムプラザ」) | |
| 2. 若者や子供など多くの市民が楽しめる芸術・文化のまちづくり | ●夏休みの子ども向け鑑賞教室、ワークショップが可能 ●音楽家、芸術家の住みやすいまちが出来る 例：アメリカテネシー州は、3,000のレコーディングスタジオのお店があり、音楽家が数多く集まっている。 | ●稽古場の開放 ・地域の人達が日常的に足を運ぶて来やすい場をつくれないう検討中 ●若者は忙しく資金的にも余裕がない。 ・音痴のあった人達をもう一度ファンにする。 ●会員制にして、観客を育てる ・会員制にすることで興味のないものも見えてもらえるように ●若者が「いつか戻ってきたいと思えるまち」づくりが必要 ・若者が外に出ていくのはやむを得ない。いつか戻ってきたいと思うまちに | ●若者が自主的に参加する仕掛けが必要 ・新百合映画祭は、①ジュニア映画ワークショップ、②パリアフリー上映、③野外上映会の3本柱が認知され、市民映画祭として20年近くの歴史を築いてきた。 ・アルテリッカ(しんゆり芸術祭)は、若者が参加し楽しめる企画が少ない。企画に若者の発進を取り入れる必要。 ・NPOしんゆり・芸術のまちづくりが行ってきた大学生インターンシップや、新都心まちづくり財団とNPOしんゆり・芸術のまちづくりが協働でスタートさせたTMOなどの大学生を巻き込んだ活動は参考となる | ●子ども版アルテリッカやワークショップの開催 ・夏休みにアルテリッカ子ども版を開催したい ・麻生文化協会が実施する子ども向けワークショップに協力する | ●多様な人々の力を結集 ・さまざまな立場の人々、世代を超えた人々が集まることで生まれるパワーを活かす ●住みたいまちのイメージ ・小学生等を対象に「住みたいまち」のイメージを形成して貰いたい ●小中高生を巻き込み「しんゆりアートマップづくり」 例：町田市町民会プラザアートづくり ●ボランティアや協力者のネーミングも重要 例：富良野演劇工場 A.の会 ●長期的視点による計画をもとに、若い人達主導の組みを見つけて後押しする | |
| | ●ワンランク上の文化事業をしていくには文化事業の予算化が必要 ・文化、芸術活動は基本的に黒字を出すことが難しい。 | ●ふれあいカードシステムの利便性の向上 | ●ひとつの駅を拠点として、音楽大学と映画大学が存在することの素晴らしさや可能性をもっと認識する必要がある ・大学を活用した芸術のまちづくりについて行政のグランドビジョンをつくるため、区民は職員とも連携し働きかけるべき ●区内、市内の枠で考えると広がらない。国際化、グローバル化がキーワードとなる ・戦略的思考を持ったプロデューサーが必要 | ●市・区役所と力を合わせて芸術のまちづくりに協力したい | ●単発イベントは非効率 ・イベントを単発で実施するのはエネルギーの無駄。住民が運営に関与するだけでは「高価化」「エネルギー、資金、協力者などの」減少という問題ばかりで通れない。 ●オリジナルティある戦略 ・市や区がより積極的に、国の政策や方向性の流れに合致しつつ、オリジナルティを持った戦略を立てて、活動を支援していくことが大切。 | |
| 3. 活動上の問題点、川崎市や麻生区への要望など | | | | | | |

10. 行政へのヒアリング結果（芸術・文化のまちづくり）

| 担当 実施日 | 区役所地域振興課 | 麻生市民館 | | |
|---|---|--|--|---|
| | 武蔵、石井 2013年7月3日 | 菅原、武蔵、菅野、高橋(庸) 2013年7月5日 | | |
| 1. しんゆり・芸術の まち推進のためのアイ ディア (第3期提言への意 見) | ①文化担当官の 設置 | <ul style="list-style-type: none"> ●過去一時的に（平成20～22年度）「しんゆり・芸術のまち担当」が置かれていたが、NPOの法人しんゆり芸術のまちづくりが発足したことにより現在は区役所に担当は置かれていない ●担当部署を再度設置することは難しいが、別の形で役割を担える方法を検討したい | <ul style="list-style-type: none"> ●芸術文化施設・団体が多数活動しており、市民館だけでは把握しきれないので、文化担当官の役割は必要 ●行政におくよりも柔軟に動ける民間のほうが良いのではないか ●柔らかなネーミングに変えた方がよいのではないかと | <ul style="list-style-type: none"> ●過 のあ 検討 ●民 大使 |
| | ②麻生文化会 議の設置 | <ul style="list-style-type: none"> ●NPO法人しんゆり芸術のまちづくり、しんゆり芸術のまちづくりフォーラム等が役割を担えないか検討中 ●アートセンター、市民館、NPOを含め、ネットワークの窓口は一つにこだわらず、各団体にメリットがある形で議論を進めたい | <ul style="list-style-type: none"> ●ネットワーク作りについては地域振興課の協議を見守りたい ●多くの施設・機関のネットワーク作りは必要 | <ul style="list-style-type: none"> ●ア 上 が ●フ ネッ ク ●情 ワ ー |
| | ③情報発信・活 性化(景観条例 見直し) | <ul style="list-style-type: none"> ●所管局（まちづくり局）の動向を見ながら、地域振興課としてできることを行っていく | <ul style="list-style-type: none"> ●景観条例によるきれいな街並みは大切にしていきたい ●にぎわいと線の引きが難しいところである | <ul style="list-style-type: none"> ●規 設 置 |
| 2. 「しんゆり・芸術のまち」の今後の展 開、施策の方向性について | <ul style="list-style-type: none"> ●「しんゆり・芸術のまちづくり」推進組織のあり方と今後の連携体制を検討中 ●しんゆり芸術のまちづくりフォーラムや、アルテリッカ、アートセンター等の今後の展開について市民文化室とも協議する | <ul style="list-style-type: none"> ●芸術文化を愛する区民を醸成・育成していくことが大切 ●音楽祭、文化祭、サークル祭など既存の事業・活動を継続していく ●成果の発表の機会が少ない団体にも機会を提供できる事業を展開していく | <ul style="list-style-type: none"> ●新 加 寸 ●区 の 蒸 | |
| 3. 若者が住みたくなる魅力ある芸術・ 文化のまちづくりについて | <ul style="list-style-type: none"> ●麻生区は環境が良いというイメージを若い人は持っているため、更に芸術・文化が盛んなイメージを持って頂くことが大事 ●NPOのインターンシップに学生が参加し、子ども支援室のワークショップやマタニティコンサートなどを行っている ●今後はソーシャルメディアなども活用し、地元の学生などの参加を促す | <ul style="list-style-type: none"> ●小学生、中学生、40代の男性など幅広い年代の区民を育てていくことが大切 ●アニメ・漫画など10～20代の新鮮な芸術文化も必要 | <ul style="list-style-type: none"> ●区 で 参 ●ア 高 校 | |
| 4. 芸術・文化関連団体へのヒアリング 結果に関する意見 | <ul style="list-style-type: none"> ●市民館の建て替え、練習場所の確保はすぐの対応は難しい ●アートセンターを拠点に、練習場の情報を含めた芸術・文化関連情報集約及び発信を行いたい | <ul style="list-style-type: none"> ●市民館の建て替えについては、市全体として施設を60年間使用していくという長寿命化の方針がある。改修については2年先まで予約がはいっている状況もあり、長期的計画をたてて実施していく | <ul style="list-style-type: none"> ●市 場 所 ●ア 掲 載 ●市 | |

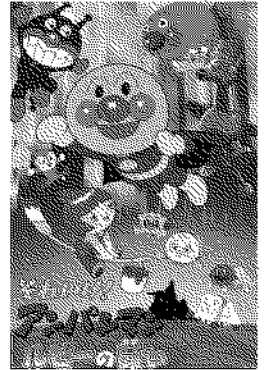
第1回

テーマは「子育てするなら麻生区で」

あさお

安心 楽しい 助かる

子育てフェスタ



(C)やなせたかし/アンパンマン製作委員会 2003

もっと楽しく子育てを、子どもも大人も笑顔になって！就学前のお子さんが
楽しめて、子育てにがんばる親御さんが心安らげるひとときを♪

4 / 13 (日)

10:30~15:00

会場 麻生区役所 小田急線新百合ヶ丘駅北口より徒歩2分

- ◆和光大学が「みんなで歌うパネルシアター」や「フラックライトシアター」を開催
- ◆「それいけ！アンパンマン ルビーの願い」上映会
- ◆昭和音楽大学ミニコンサートで本格派に触れる
- ◆子ども用品フリーマーケット（雨天中止）
- ◆子育て情報コーナー

レストランあさおではお子様向けのフェスタ特別メニューを提供します

※区役所駐車場は、台数に限りがあります。
ご来庁の際は、公共交通機関をご利用ください。

他にも催しがいっぱい！
裏面をご覧ください

主催 麻生区区民会議

お問合せ 麻生区役所企画課 TEL 044-965-5112/FAX 044-965-5200

あさお子育てフェスタ催し案内

《保健所予防接種ホール》

- ・昭和音楽大学のミニコンサート 第1回 10:40~11:10、第2回 12:00~12:30
本格的な音楽に触れて、子どもも大人も楽しく心安らくひとときを
- ・みんなで楽しくうたっておどってゴーゴー！ 第1回 11:20~11:50、第2回 14:20~14:50
動物のぬいぐるみたちと一緒に、うたっておどってみんなで盛り上がりよう！
- ・人形劇「虫たちのファンタジー」 13:30~14:00
音楽に合わせて人形たちが楽しく動きます

《区役所前広場》 10:30~15:00

- ・子ども用品フリーマーケット(雨天中止)
- ・自然素材を使った工作

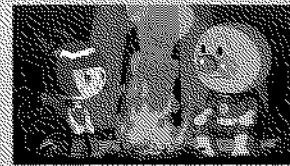
《第1会議室》

- ・和光大学の「みんなで歌うパネルシアター & フラックライトシアター」 12:40~13:30
みんなで一緒に歌いながら参加するパネルシアターと部屋を暗くして光る幻想的なフラックライトシアターをお楽しみください
- ・親子でバルーン遊び 11:30~11:50
部屋いっぱいの巨大バルーンを使ってみんなで楽しく動き回ります
- ・親子で歌おう(英語の歌やわらべうたなど) 10:30~11:20
- ・リトミック 14:00~14:20
- ・手遊びうた 音楽に合わせて遊ぼう！ 14:30~15:00

《第3会議室》

- 【第1部】 10:30~13:00
 - ・グルグル動き回るおもちゃ工作
 - ・よろよろヘビを作ろう！
 - ・でんでんだいこ作り
 - ・簡単手づくり工作ワークショップ
- 【第2部】 13:30~15:00
 - ・走る車づくり・紙粘土の家づくり

《第2会議室》



(C)やなせたかし
アンパンマン製作
委員会 2003

映画「それいけ！アンパンマン
ルビーの願い」

第1回 11:10~12:00、第2回 13:40~14:30

各回当日先着70人

《第4会議室》

フリースペース& 10:30~
子育て相談コーナー 15:00
おもちゃとしょかんの珍しい楽しいおも
ちゃに触って自由に遊べます。また、子
育ての悩みなどについて簡単なアドバイ
スや相談のコーナーもあります。

《第5会議室》

絵本コーナー&おはなし会
10:30~15:00

どんな本を読んであげようかな~。
先輩ママが、絵本を揃えて待っています。
ほっとするひとときをマットの上で絵本
とともにどうぞ。

レストランあさお

お子さま向けメニューなど子育てフェスタ特別メニ
ューを提供します

会場でアンケートにお答えいただいた方先着300人に
アンパンマンシールをプレゼント！！

※催し内容・時間は変更する場合があります。
区ホームページに最新情報を随時掲載します。

12. あさお子育てフェスタ当日配布パンフレット

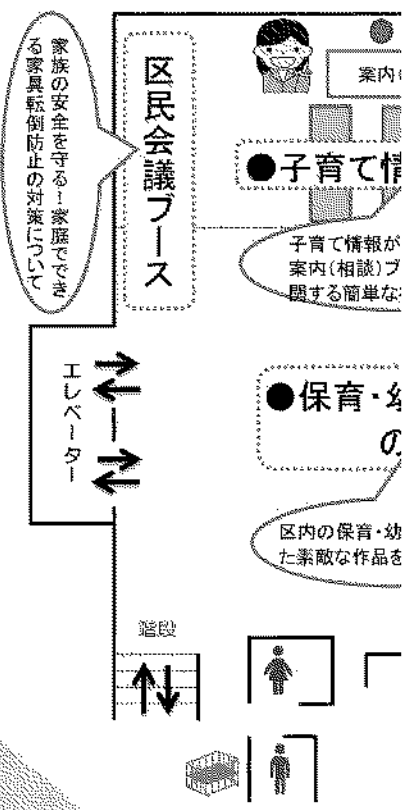
あさお子育てフェスタ 催しタイムスケジュール

| 会場 | 内容 ※()は実施団体 | 10:30 | 11:00 | 12:00 | 13:00 | 14:00 | 15:00 | |
|-------------|---|-------------------|-------------------|-------------------------------------|-------------|-------------------|-------------|--|
| 第1会議室 | 親子で歌おう(英語の歌やわらべうたなど) 【エデュケアルームベリーキッズ】 | 10:30~11:20 | | | | | | |
| | 親子でバルーン遊び 【白鳥保育園】 | | 11:30~11:50 | | | | | |
| | みんなで歌うパネルシアター & フラックライトシアター 【和光大学】 | | | | 12:40~13:30 | | | |
| | リトミック 【はるひ野保育園】 | | | | | 14:00~14:20 | | |
| 第2会議室 | 手遊びうた 音楽に合わせて遊ぼう! 【風の谷幼稚園】 | | | | | | 14:30~15:00 | |
| | アンパンマン映画上映会 『それいけ! アンパンマン ルビーの願い』 | | [1回目] 11:10~12:00 | (C) やなせたかし/アンパンマン 製作委員会 2003 | | [2回目] 13:40~14:30 | | |
| 第3会議室 | グルグル動き回るおもちゃ 工作 【健康いきがいづくり教室】 | 10:30~13:00 | | | | | | |
| | よるよるヘビをつくらう! 【地域子育て支援センターおかがみ】 | 10:30~13:00 | | | | | | |
| | 簡単手づくり工作 【エデュケアルームベリーキッズ】 | 10:30~13:00 | | | | | | |
| | 手作り玩具作り 【五月台ルミナス保育園】 | 10:30~13:00 | | | | | | |
| 第4会議室 | 走る車づくり・紙粘土の家 づくり 【風の谷幼稚園】 | | | | | 13:30~15:00 | | |
| | リーススペース&情報相談 コーナー 【にこりんおもちゃ図書館、はるひ野保育園、あさおオモチャ図書館、知ろう小児医療守ろう子ども達の会、じゃんげんぼん】 | 10:30~15:00 | | | | | | |
| 第5会議室 | 絵本コーナー & おはなし会 【おはなしたまはこ】 | 10:30~15:00 | | | | | | |
| 予防接種 ホール | 昭和音楽大学ミニコンサート 【昭和音楽大学】 | [1回目] 10:40~11:10 | | [2回目] 12:00~12:30 | | | | |
| | みんなで楽しくうたっておどってゴーゴー! 【アルデリッカボランティア】 | | [1回目] 11:20~11:50 | | | [2回目] 14:20~14:50 | | |
| | 人形劇「虫たちのファンタジー」 【はるひ野保育園】 | | | | 13:30~14:00 | | | |
| 区役所前 広場 | 子ども用品フリーマーケット | 10:30~15:00 | | | | | | |
| | 自然素材を使った工作 【麻生プレーパークを創る会】 | 10:30~15:00 | | | | | | |
| レストランあさお | | 11:00~15:00 | | | | | | |

オープニング
挨拶(館内放送)
区民会議委員長・麻生区長

終了

子育てに



4階

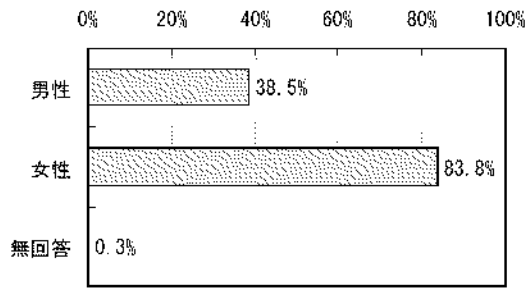
「遊び・交流の広場」楽しい遊びのコーナーがたくさんあるよ

| | | | | | | | |
|------|--|---------------------|---|---|---|----|----|
| ステージ | 第1会議室 10:30~11:20 ・親子で歌おう(英語の歌やわらべうたなど) 11:30~11:50 ・親子でバルーン遊び 12:40~13:30 ・みんなで歌うパネルシアター&ブラックライトシアター 14:00~14:20 ・リトミック 14:30~15:00 ・手遊びうた 音楽に合わせて遊ぼう! | | 第2会議室 アンパンマン映画 上映会 『それいけ!アンパンマン ルビーの願い』 全2回上映 ①11:10~12:00 ②13:40~14:30 | | 第3会議室 第1部10:30~13:00 ①グルグル動き回るおもちゃ工作 ②によるによるハビをつくらう! ③でんでんだいご作り ④手作り玩具作り 第2部13:30~15:00 走る車づくり・紙粘土の家づくり | | 売機 |
| | 階段 | 階段 | 階段 | 階段 | 階段 | 階段 | |
| 階段 | 第7会議室 本部 | 第6会議室 控え室 | 第5会議室 絵本コーナー& おはなし会 10:30~15:00 | 第4会議室 フリースペース &情報相談コーナー 10:30~13:00 | | 階段 | |

1.3. あさお子育てフェスタ来場者アンケート調査結果

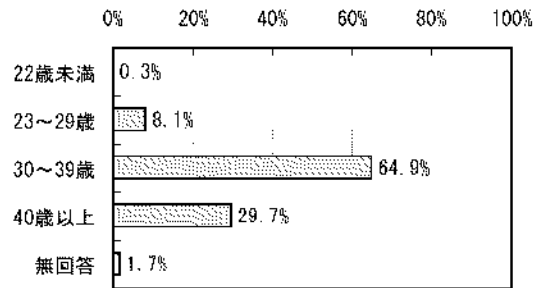
回答者数:296人

問1-1 性別(大人)(複数回答)



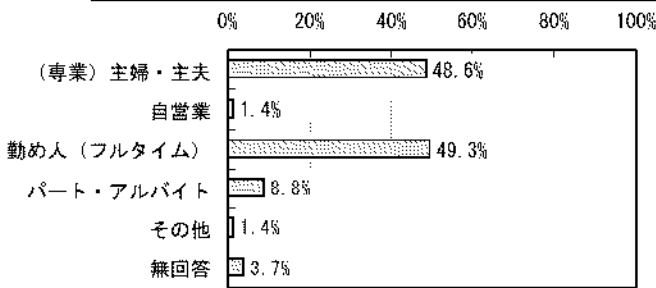
(N=296)

問1-2 年齢(大人)(複数回答)



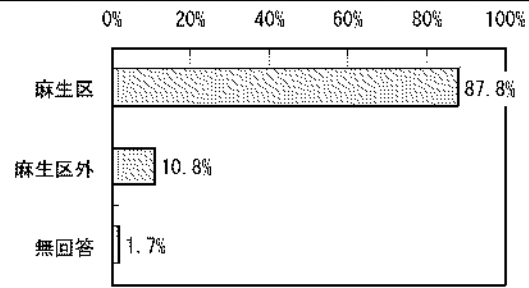
(N=296)

問1-3 職業(複数回答)



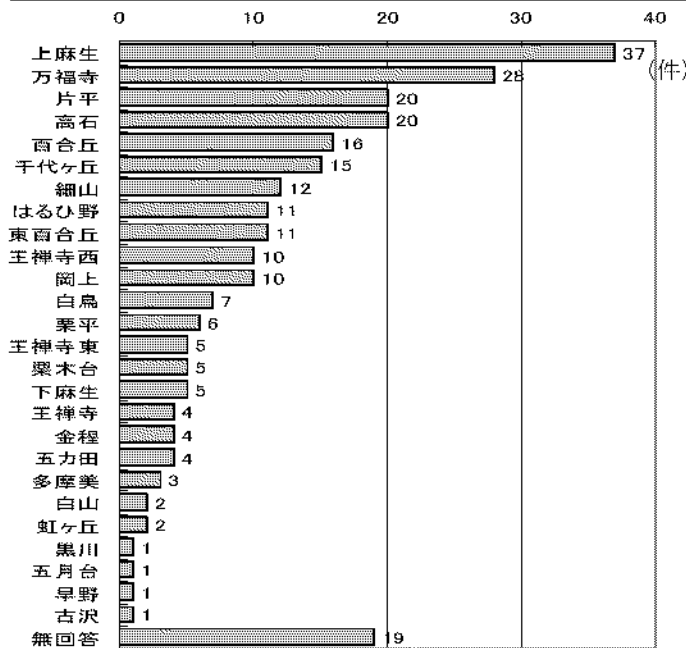
(N=296)

問1-4 居住地(複数回答)

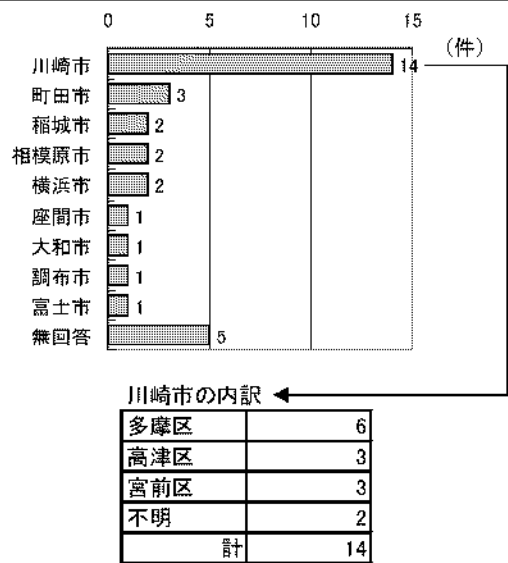


(N=296)

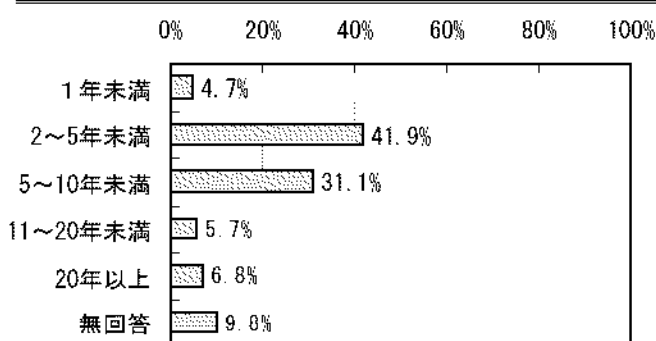
問1-4 居住地(麻生区内訳)



問1-4 居住地(麻生区外内訳)

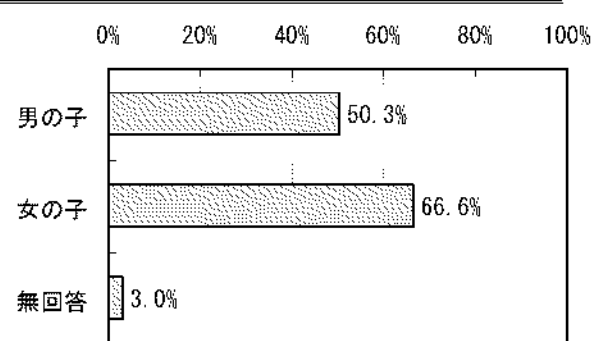


問1-5 居住年数(複数回答)



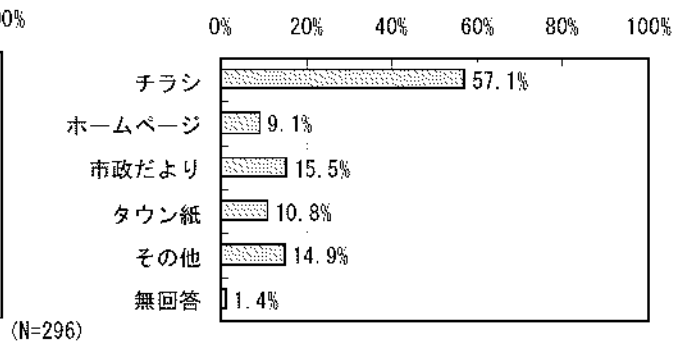
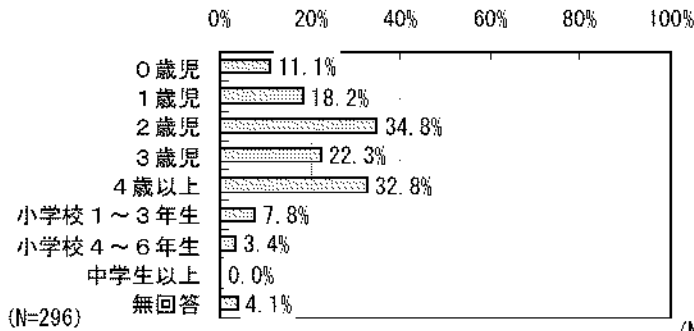
(N=296)

問2-1 性別(子ども)(複数回答)

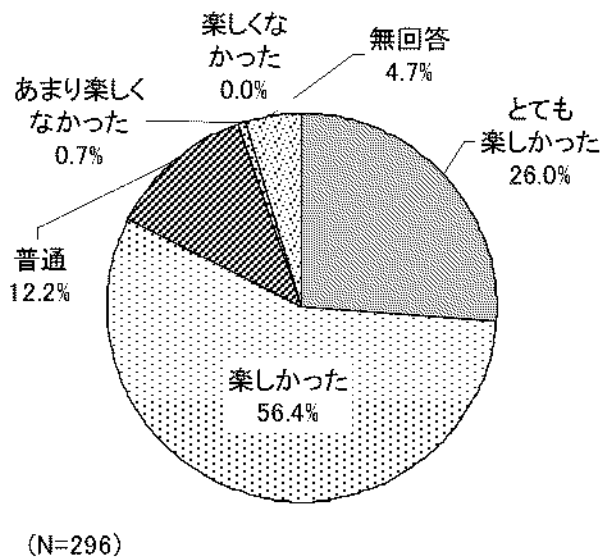


(N=296)

問2-2 年齢(子ども)(複数回答) 問3 「あさ子育てフェスタ」を何で知ったか(複数回答)



問4 「あさ子育てフェスタ」の感想をご記入ください。(単数回答)



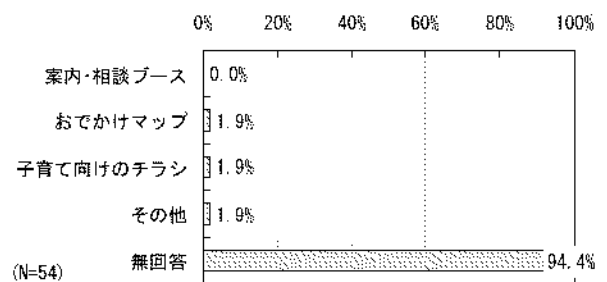
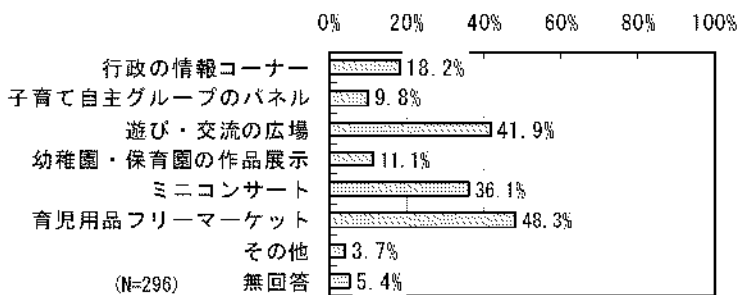
【良かった点】(主な意見)

- 子育ての情報を知ることができる良い場を提供している。
- 今までこのようなイベントはなかったので子連れで楽しめた。
- 子どもが楽しめるものがたくさんで1日遊ぶことができた。
- パパの参加ができてよかった。

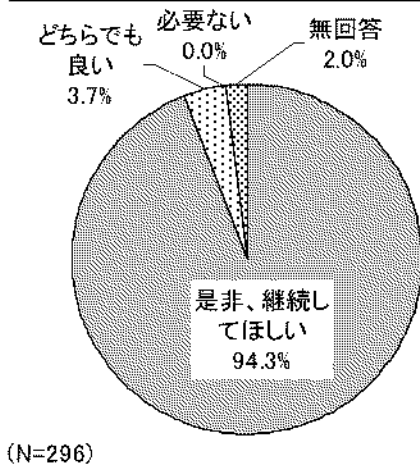
【改善点】(主な意見)

- 0歳児用の催しが少なかった。
- 会場が狭い(4Fが混んでいて行けなかった。市民ホールなど大きなところでやって欲しい。)
- トランポリンなど外で遊べるもの、体を使って思いっきり遊べる催しがあると良い。
- 16時までやって欲しかった。

問5 どの企画が良かったですか?(複数回答) 問5-1 行政情報コーナーでよかったもの



問6 今後、子育てフェスタの継続実施を望みますか?(単数回答)

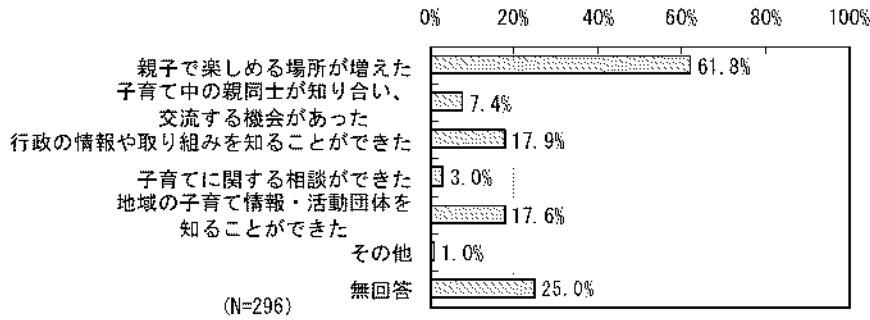


【理由】(主な意見)

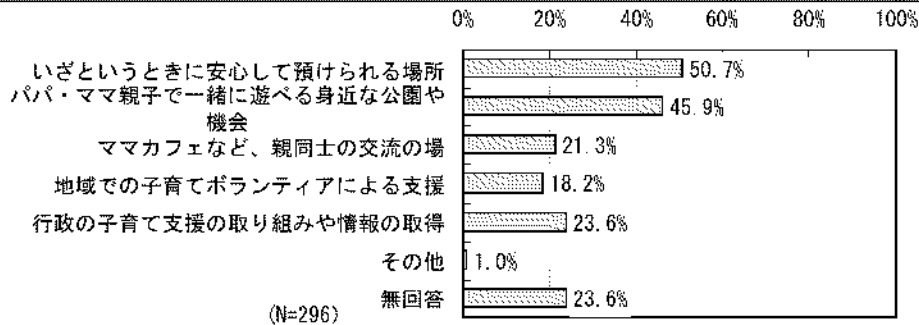
(情報収集・交流ができる)

- 楽しく有益な情報が得られる。
 - なかなか来ない区役所で色々な情報を得られて親子の触れ合いができるため。
 - 子育て世代の生の意見を集約する場として良い。 など
- (小学生以下の子が主役で楽しめる)
- 小学生以下の子が主役になれる。来年はお友達を誘って来たい。
 - 土日開催される子ども向けイベントが少ないから。 など
- (親子で出かけて楽しめる)
- 親子で楽しめ、子育て情報が集まっている。
 - 親子で出かけるチャンスとなる。 など
 - 子ども服はすぐに着られなくなるのでフリマはありがたい。 など

問7 あなたは、「あさお子育てフェスタ」でどのようなことができたと感じましたか。(複数回答)



問8 子育てにおいて、今もっとも必要なもの・ことは何ですか？(複数回答)



【理由-】(主な意見)

(子どもを預ける場所が欲しい)

- ・子どもが病気等預けられる場所がほしい。
- ・一時的に預けられるところ(息抜き)があると良い。

(安心して遊べる場所が欲しい)

- ・室内ばかりでなく外で遊べる場所が欲しい。
- ・公園以外で休日でも利用できる場所が多くなると良い。

(ママの友達づくり)

- ・一緒に子育てできる友達。
- ・ママの友達づくり。
- ・ママ同士の相談・交流の場

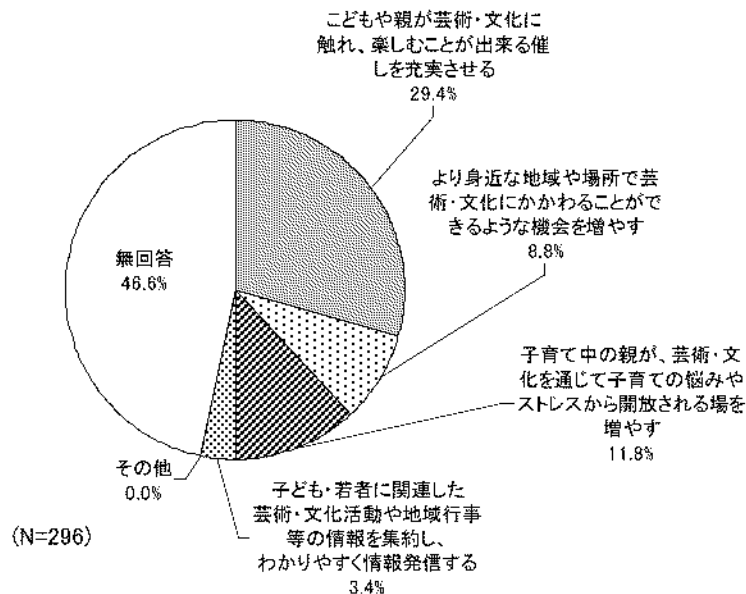
(子育て施設)

- ・支援センターが少し遠いので、徒歩圏内に増えると助かります。
- ・一時的に預けられるところ(息抜き)があると良い。

(保育園)

- ・保育園に入りやすくして欲しい。兄弟枠がないため、育休を早く切り上げる必要がある。
- ・保育園の充実(認可・無認可問わず)

問9 「芸術・文化活動や地域の行事に若者・子どもが参加し楽しめる」豊かな環境づくりに必要なこと



1.4. あさお子育てフェスタ協力団体アンケート調査結果

子育てフェスタの運営に協力のあった 18 団体に対し、開催後アンケートを実施した
回答数：13 件

1. あさお子育てフェスタに参加しての感想を教えてください。(複数回答1件あり)

| | | | | | |
|---------|---|------|---|----|---|
| とても良かった | 8 | 良かった | 5 | 普通 | 0 |
| とても悪かった | 0 | 悪かった | 1 | | |

- ・子育て支援に関われたことはもとより、地域の子育て支援団体との交流も図れ、今後の連携に期待できる
- ・企画・運営の段階から参加できたことが勉強になった。また、当日参加された親子関係を見ることで、「今の親子関係の実態」を把握することができた
- ・初めての試みであったが、集客率も高く、市民の関心の高さが実感できた。父親の参加の多いのも時代の変化を反映させていて今後の活動が期待できる
- ・第1回とは思えない多くの来場者があり、親子で楽しんでいただけた。団体の宣伝にもなった
- ・たくさんの来場者があり、みな目を輝かせて各部屋に参加している様子が伺えた。パネルシアターもとてもやりやすかった
- ・地域全体での子育てはとても大切であり、その中の一つとして、働けたことを嬉しく思う
- ・区役所、市民館、保健所でうまく連携がとれていないところがあった。

2. フェスタ全体を見て、内容、日時、参加団体等で改善すべき点、お気づきの点等がありますか

- ・子育てを応援する姿勢が見られ「区」の考え方に共感することが多々ありました。
- ・4月は新年度で忙しく施設は協力しにくいので9月頃の開催が望ましい。公立保育園の参加がなかったのは残念
- ・コンサートはもう少し広い場所があれば助かる
- ・会場が少し狭く感じた

3. もしも2回目の子育てフェスタを開催することとなった場合に参加を希望しますか

| | | | | | |
|------|----|-----|---|-------|---|
| 参加する | 10 | 無記入 | 3 | 参加しない | 0 |
|------|----|-----|---|-------|---|

- ・積極的に地域支援を行っていきたいので、参加したい
- ・区民会議が主催で、麻生区での種まきをしてもらえて非常に良かった。今後は、子育て関連ネットワークや子ども会等も巻き込んで開催できればよいのでは
- ・学生と一緒に活動ができ、学生たちもたくさん学ぶことができた
- ・開催時期の問題がクリアされれば参加したい

4. その他、ご意見ご感想等をご自由にご記入ください

- ・こんなに多くの人がいらして下さるとは思ってなく、とても驚いた。どこかもう少し広い会場があったらいいと思う
- ・子どもや子育て中の方々に優しい街づくりにしましょう
- ・遊ぶところや楽しい催しが多くて、小さい子どもも楽しめる作りであったと思う
- ・多くの方と接することができてとても楽しかった。参加した保護者から会場が狭くて危なかったという感想があった

15. あさお子育てフェスタ 掲示・配付 未就学児向け催事・事業一覧

【平成26年度】未就学児とその保護者が参加できる催事・事業一覧（その1）

(平成26年4月13日現在、森生区民会編制後)

| 団体名 | 催事・事業名 | 概 要 | 平成26年度の予定 | 申込時期 の告知方法 ③問い合わせ窓口(電話番号、HP等) |
|-------------------------|-----------------------------|--|--|---|
| 市民館 | 子育て支援啓発事業 (よち・わく・のび) | 0才から3才までのあさおさんと保護者が自由に駆る出入り自由なプレイスペース。 | 毎月3回～4回 水曜日 11月18日(休)拡大版イベント | ②あさお市民館 044-965-5210 |
| | 家庭・地域教育学級 (ハイパーマライフ) | 2才から4才の子を持つ親を対象に子供とのコミュニケーションなど、専門家に学び、同じような立場にいる親同士の交流を図る。 | 5～7月火曜日、10回程度の連続講座 | |
| | 家庭・地域教育学級 (あさがみで楽しくともぞで) | 2才から4才の子を持つ親を対象に子供とのコミュニケーションなど、専門家に学び、同じような立場にいる親同士の交流を図る、同上の地域性を内容に盛り込む。 | 9～11月金曜日、10回程度の連続講座 | ③同上分館 044-968-0288 |
| 森生区民会 子育て支援・企画事業 | 地域子育て相談事業 | ①区内在住未就学児親子向けあそびの会。 (平成25年度：トミック) ②区内在住未就学児親子向け公演会。 (平成25年度：/w/ゲームロディ(リルーンアート)、 ふわふわ山の音楽会) | ①(実施内容未定、6月7日予定) ②(実施内容および実施予定日未定) | |
| | 麻生区マタニティコンサート事業 | 昭和音楽大学との連携事業 ・区内在住の妊婦と家族を対象に夏と冬の年2回、麻生市民館大会議室で実施。 | 2014年夏(7月頃)と冬(12月頃)を予定 | ③麻生区役所子ども支援室 044-965-5303 |
| | 麻生区子どもと一緒のコンサート事業 | 昭和音楽大学との連携事業 ・区内在住の未就学児と家族を対象に昭和音楽大学リハビルで実施。 | 2015年2月頃を予定 | |
| | あそぼうけるける田園チャイルド事業 | 田園調布学園大学との連携事業 ・区内在住の未就学児親子を対象に年2回・田園調布学園大学表現スタジオで実施。公立保育園保育士と保育士志望の学生が共同でトミック等の子育て支援事業を行う。 | 2014年9月頃と2015年2月頃を予定 | |
| | あおさくななれあさおっこ | 和光大学との連携事業 ・未就学児と保護者対象のムーブメントを活用した遊びの会。森生スポーツセンターで実施。 | 2014年11月15日を予定 | |
| あはなし なまてはこ | 2歳児向けあはなしひろば | 2歳のお子さんと保護者対象の絵本の読み聞かせ。 (麻生図書館集客室) | 毎月第2・4水曜日 10:30～10:55 | ①一年中 ②(市政広場)麻生区民 ③麻生図書館044-961-1305 |
| | 3歳児以上向けあはなしひろば | 3歳以上のお子さん対象の絵本の読み聞かせと読話。 (麻生図書館集客室) | 毎月第1～4水曜日 14:30～14:55 | |
| | 5歳児以上向けあはなしひろば | 5歳以上のお子さん対象の絵本の読み聞かせと読話。 (麻生図書館集客室) | 毎月第1～4水曜日 15:00～15:30 | |
| スポーツ センター | 親子びんぎ体験 | お子様は手足を使って運動能力を高めたり、他のお子様と触れ合うことで社会性も身に付きます。ママもスリム美肌! 対象：満10か月～24か月未満のお子様 | 4月11,12,5月2,16,22,30,6月6,13,27の 金曜日、全9回。 途中からでも参加できます。定員50組 10:50～11:35 受講料5,910円 | 麻生スポーツセンター 麻生区上麻生3-5-1 044-951-1234(教室係) |
| | ボールで遊ぼう | 腕力や発力を養うため、「なげる・とる・つく・ける」などボールを使った様々な動きを身につけてみませんか? 対象：年々・年長(4～5歳児) | 4月17,24,5月1,8,15,22,29,6月 5,12,19,26,7月3,10,17の木曜 全14回。途中からでも参加できます。 15:25～16:10 受講料1,800円 | |
| | 親子音楽つんどろひろば | 親子で歌遊びや楽器を使って楽しい遊びます。季節の曲に合わせてお子さまのリズムや音感を育てましょう。 対象：1・2歳児(平成23年4月2日～平成23年4月1日生まれ) | 月曜～土曜5月12,19,6月2,9,16,30,7月 7,14の全6回 9:30～10:15または10:30～11:15(いずれも10組程度、8,210円) 木曜コース5月8,15,22,6月5,12,19,7月 3,10,17の全9回9:30～10:15、00程度 9,240円 | |
| 川崎川崎青 少年野外活動 センター | あそびくらぶ | 「森のようちえん」の保育スタイルで、2～4歳児を対象とした外遊び。 | 隔週水曜日 12～12時 | ①一年中 ②HPとチラシ ③川崎川崎少年野外活動センター (044-985-2522 http://www.kurakawayagai.com/) |
| | あそびくらぶ | 「森のようちえん」の保育スタイルで、4～6歳児を対象とした外遊び。 | 毎週水曜日 14～16時 | |
| 麻生地区 社会福祉協議会 | 食育講演会 | 未就学児の親を対象に、栄養についての講演会です。 | 7月頃(予定) | ①8月頃 ②HP等 ③麻生区社会福祉協議会 044-952-5500 |
| | 親子で遊ぼう | 未就学児親子を対象に、歌遊びとパネルシアターを行います。 | 12月頃(予定) | ①10月頃 ②HP等 ③麻生区社会福祉協議会 044-952-5500 |
| | 子育てに絵本を | 未就学児親子を対象に、絵本の読み聞かせの仕方を学びます。 | 10月頃・2月頃(2回)予定 | ①8月頃・12月頃 ②HP等 ③麻生区社会福祉協議会 044-952-5501 |
| | 乳幼児の家庭内事故を防ぐ | 未就学児の親を対象に、家庭内事故に関する講演会を行います。 | 11月頃(予定) | ①9月頃 ②HP等 ③麻生区社会福祉協議会 044-952-5501 |
| 麻生東地区 社会福祉協議会 | 親子でほつまいも・落花生掘り | 2～5歳までのお子さんと保護者が一緒に楽しくほつまいも・落花生掘りします。 | 10月頃 | ①9月頃 ②母親クラブ・社福HP ③麻生区社会福祉協議会 044-952-5500 |
| | お父さんと遊ぼう(予定) | 1～3歳までのお子さんとお父さんが一緒に楽しく遊ぶ企画です。 | 12月頃(予定) | ①②未定 ③麻生区社会福祉協議会 044-952-5500 |
| | 親子で楽しく遊ぼう(予定) | 1～3歳までのお子さんとお父さんお母さん親子で体験ひとして楽しく遊びます。 | 2月頃(予定) | |

【平成26年度】未就学児とその保護者が参加できる催事・事業一覧（その2）

（平成26年4月13日現在、麻生区民会誌調べ）

| 団体名 | 催事・事業名 | 趣 意 | 平成26年度の予定 | ①告知時期 ②告知方法 ③問い合わせ窓口（電話番号、HP等） |
|-------------------------|---|--|----------------------------------|---|
| 麻生区 社会福祉 協議会 | 子育て関連グループ交流会 | 子育て関連グループの交流会。 | 6月頃（予定） | ①8月頃 ②該当団体へ通知 ③麻生区社会福祉協議会 044-952-5500 |
| | ベアメントレーニング | 未就学児のお子さんがいる方を対象。 子育ての悩みを軽減するよう、親子のコミュニケーションを学ぶ講座。 | 7月～全4回（週末開催） | ①8月頃 ②各団体郵送・ホームページ等 ③麻生区社会福祉協議会 044-952-5500 |
| 地域子育て 支援センター あかがみ | ムーブメント | 和光大学～遊び種かんぽっく～のみなさんと楽しく遊びましょう。 | 不定期 | ②网上こども文化センター 地域子育て支援センターあかがみ 麻生区岡上277 044-281-3378 |
| | リズムっこクラブ | 声楽家の皆川先生をお迎えして親子で楽しくリズムで遊びます。 | 月曜 | |
| | パパとママのためのベビーマッサージ | 両親の参加大歓迎、赤ちゃんとスキンシップを深めましょう。 | 月曜（偶数月） | |
| | おはなし会とお誕生会 | 新ゆり園遊の会の皆さんによるおはなし会です、お誕生児をみんなでお祝いします。 | 第1月曜日 | |
| | ベビーヨガ&ママヨガ | 楽しいフレーズに合わせて赤ちゃんの体を動かして心と身体、脳の発達を促します。 | 第3月曜日 | |
| アルテリッカ しんゆり2094 | スーパリアンプラスがやって来たら ボリアンと遊ぼう！ | 0歳からのコンサート。（麻生市民館ホール） | 5月1日（木）①11:00～②14:30～ | ①11月～4月 ②各様 ③アルテリッカ事務局 952-5024 http://www.artericashinyuri.com/ （予約コン） http://www.artericashinyuri.com/my/ （連絡） |
| | アルテリッカ演奏団 子ども寄席 | 小学校低学年でも楽しめる落語、物まね、腹巻唄（新百合21ホール） | 5月3日（土祝）13:30～ | |
| | 劇団がけ出し 影絵劇 魔法つかいのおとぎばなし | 子どもたちに想像することの楽しさ、おもしろさを届けます。 （川崎市アートセンター アルテリッカ小劇場） | 5月4日（日祝）14:00～ | |
| | 劇団飛行船70きこのやぎと狼 ～ボリアンと遊ぼう！～ | 3歳からのマスクプレイ・ミュージカル。（多摩市民館ホール） | 5月5日（月祝） ①11:00～②14:00～ | |
| | 人形劇おひとみ座 ひとみ座のようたん島 ～泣い泣いおひとみ座の巻～ | 井上ひさし舞台用に書き下した作品を放送当時の出演者の声で再演 （川崎市アートセンター アルテリッカ小劇場） | 5月6日（火祝） ①11:00～②14:00～ | |
| | スターダンス・バレエ団 白鳥の湖&くるみ割り人形 | 大人気のバレエの「白鳥の湖」と「くるみ割り人形」を一度に楽しめる豪華 2本立てプログラム。（昭和音楽大学テオ・ロ・ジョーリス・シヨウワ） | 5月3日（土祝） ①12:30～②17:00～ | |
| 昭和音楽大学 | 音楽の贈り物 | 0歳から参加できる無料のクリスマスコンサート。 昭和音楽大生による演奏と楽譜体験などを実施。 | 2014年12月中旬を予定 | ①11月はじめころ ②チラシとホームページ http://www.tosei-showamusic.ac.jp/arts/ ③昭和音楽大学コミュニケーションセンター 044-953-9867 |
| ゆりがおか 児童合唱団 | ゆりがおか児童合唱団 第38回定期演奏会 | 小学校から高校生の児童合唱団の演奏会です。 小さいお子さんも楽しめる歌も歌います。 チケット（有料）が必要です。（麻生市民館ホール） | 8月9日（土） | ①ゆりがおか児童合唱団事務局 09042477281 |
| エデュケアルム ベリキッズ | クリスマスコンサート | 親子で楽しめるコンサート。 | 12月20日（土）開催予定 | ①エデュケアルムベリキッズ 麻生区柴木台5-1-5 0449860474 |
| | おはなし会 | はるひ野の松本館のリースペースでの読み聞かせ会。 | 毎週月曜と水曜 11:00～14:00 | |
| 春献美会 くるみ野のぞみ 保育園 | 夏まつり | おみこしや盆踊り・模擬店などがあり、自由に参加できます。 | H26. 7. 18（水）18時 | ①春献美会 くるみ野のぞみ保育園 麻生区はるひ野4-7-1 044-819-7481 |
| | 運動会 | 地域の万のプログラムあり、自由に参加できます。 | H26. 10. 11（土）9時 | |
| | もちつき | おすもうさんと餅つきや相撲取りをして遊びます。（要予約） | H26. 12月下旬 | |
| | コンサート | 自由に参加できます。 | H26. 2. 20（木）18時 （H26年度も実施予定） | |
| 春献美会 はるひ野保育園 | 夏まつり | おみこしや盆踊り・模擬店などがあり、自由に参加できます。 | H26. 7. 25（金）18時 | ①春献美会 はるひ野保育園 麻生区はるひ野2-7-1 044-281-5785 |
| | 運動会 | 地域の万のプログラムあり、自由に参加できます。 | H26. 10. 4（土）9時 | |
| | もちつき | おすもうさんと餅つきや相撲取りをして遊びます。（要予約） | H26. 1月中旬 | |
| | コンサート | 子育て中の万、自由に参加できます。（平成25年度は3月に実施） | （H26年度も実施予定） | |



昭和音楽大学
音楽の贈り物



ゆりがおか児童合唱団
第38回定期演奏会

1.6. あさお子育てフェスタ 芸術文化イベントに関するヒアリング調査結果

「未就学児が参加できる催事・事業一覧」(●&●ページ参照)を示し、ヒアリングを実施

回答(ヒアリング)数:31件

実施日:平成26年4月13日(あさお子育てフェスタ当日)

実施場所:区役所2階「子育て情報コーナー」

担当:武濤委員及び昭和音楽大学学生

*数字の入っていない回答はすべて(1件)

1) ご覧いただいている麻生区の未就学児を対象とした催しの中でご存知のものはありますか?

- ・音楽のおくりもの(昭和音楽大学) ・リトミック ・子育て支援関係(子育て支援哲発事業)
- ・スポーツセンターで開催しているもの ・夏まつり ・市民館で行われるイベント
- ・おさんぽくらぶ(川崎市黒川青少年野外活動センター) ・市民館まつり

2) その中で参加したことがある催しはありますか?

- ・音楽のおくりもの(昭和音楽大学) ・リトミック ・子育て支援関係(子育て支援哲発事業)
- ・スポーツセンターで開催しているもの ・夏まつり ・市民館で行われるイベント
- ・おさんぽくらぶ(川崎市黒川青少年野外活動センター) ・市民館まつり
- ・ムーブメント(地域子育て支援センターおかがみ、和光大学)

3) 行ってみたいと思う催しはありますか? それはなぜですか?

- ・コンサート系:幼い頃から音楽を聞かせたい。昭和音大の演奏活動に興味がある。…(8)
- ・リトミック ・てあそびうた ・読み聞かせ ・スポーツセンターの事業
- ・情操養育の一環になるもの

4) どんな催しがあったらいいと思いますか?

- ・お母さんが息抜きできる習い事(子供は保育) …(2)
- ・普段子供と2人で家にいることが多いから、外でやったことが家でもできるあそびうた。
- ・工作 ・体を動かすもの ・一時保育 ・参加型音楽イベント
- ・子どもの参加しやすい、「無料」のコンサート(音楽、芸術のまちなので)
- ・土日のイベント(平日は保育園に預け仕事をしているので参加できない)

5) ふだんはどこで(どうやって)未就学児対象の催事情報を得ていますか?

《チラシ、回覧板、フリーペーパー等・・・21件》

- ・チラシ …(8) ・広報誌(区、市) …(5) ・回覧板 …(4)
- ・フリーペーパー(自宅に投函されていたもの) …(2) ・タウン誌 ・タウンニュース

《掲示板等・・・11件》

- ・生活範囲にある掲示板(駅、保育園、イオンなど) …(5)
- ・支援センター …(5) ・市民館

《ホームページ・・・7件》

- ・区のホームページ …(4) ・子育て支援のホームページ …(3)

《口コミ・・・2件》

- ・子育てサロン ・友人から

《近くで行われていない(わからない)・・・2件》

6) もし未就学児の催しの情報が集約されているもの(紙面、ネット)があれば利用したいと思いませんか？

- ・今回のフェスタでイベント情報がまとめてあるものがあり、とても見やすいと思った。定期的にこういったまとまったものが紙面であるといい。 … (7)
- ・ホームページをさらに見やすく改善してほしい。(更新率を上げてほしい) … (5)
- ・市民館などで情報を得るのは行く機会がないとなかなか難しいので、街中(散歩ルート)や駅、スーパーなど普段の生活範囲に掲示してほしい。
- ・紙面で一覧にまとまっていると子育てサークル等でも共有しやすいのでうれしい。
- ・「O才向け」、「O曜日」が一目でわかるまとめ方をしてほしい。
- ・入園可能な保育園、幼稚園もリストアップしてほしい。

7) その他コメント

《子育てフェスタの感想》

- ・今回の子育てフェスタは初めての開催とのことだが、内容が充実していて楽しかった。
- ・今回のイベントは内容が詰めこまれすぎていて、まわりづらかった
- ・フリーマーケットが良かった。洋服がすぐに小さくなってしまい、洋服代も高額なので非常に助かる。

《情報集約について》

- ・(自分も)子育てイベントを行っているので、情報を載せてくれる窓口があるといい。
- ・たくさんのイベントを実施していることを初めて知った。今回のようにまとめてあると探しやすい。(対象年齢や開催日が特に気になる)
- ・今日のようなイベントに来ないと今後の予定が見えない。冊子としてまとまっているとわかりやすい。

《要望、その他》

- ・日曜日なので、家族全員で参加することができた。また土日こういったイベントを行ってほしい。
- ・子供と参加できるものが平日に多く、仕事をしているとなかなか参加できない。
- ・麻生区に引っ越す予定なのでどのようなイベントをやっているのか知りたかった。たくさんあり参加したいと思った。引っ越しが楽しみ。
- ・0~1歳の子がいると落ち着いてイベントに参加できない
- ・0歳(11か月)の子にはまだどのイベントも参加するには早い。(静かにしてられない)ので、大きくなったらいろいろ参加してみたい
- ・親子二人だと、遊ぶパターンがマンネリ化し限界があるため、イベントは助かる。
- ・遠くへ出かけるのが難しいときに近くでイベントをやっているのは嬉しい
- ・昭和音楽大学が演奏しているコンサート活動は子供と一緒に聞けるものもあり、とても興味がある。また、そういった活動をもっと知りたい。

麻生区区民会議ニュース
第4期 Vol.1

発行/麻生区民会議 編集/企画部会
事務局/麻生区役所まちづくり推進部企画課
電話：965-5112 FAX:965-5200 E-mail:73kikaku@city.kawasaki.jp

区民会議って...、ご存知ですか？

川崎市では、区民の参加と協働により、暮らしやすい地域社会を目指して、地域社会の課題を調査審議するため、各区に区民により構成する区民会議を設置しています。麻生区では平成18年7月にスタートし、今年で第4期目を迎えます。

第4期では、第3期から引き続き「人と人と心をつなぐ地域づくり」を全体テーマに掲げ、市民アンケートで要望の多かった地域の課題から下記の2つの審議テーマを選定しました。

今後、20人の委員は、テーマごとの2つの部会に分かれ、区民の皆さまからのご意見・ご提案もいただきながら、調査・審議・試行に取り組み、区民への提言などをを行います。

審議テーマ①

安全・安心のまちづくり

10月9日に第1回部会が開催され、最初の審議テーマを「大地震から助かる命を守る」とすることに決定しました。



審議テーマ②

若者が住みたくなくなる魅力あるまちづくり

10月22日に第1回部会が開催され、審議テーマを「子育てしやすい環境づくり」と「芸術・文化のまちづくり」とすることに決定しました。



■第4期麻生区区民会議委員（所属部会別）

| 「安全・安心のまちづくりの部会」 | 「若者が住みたくなくなる魅力あるまちづくりの部会」 |
|---------------------|----------------------------|
| 加賀美長夫（麻生区商店連合会） | 飯塚賢（麻生区町会連合会） |
| 梶久夫（区長推薦） | ○石井郁朗（区長推薦） 部長 副委員長 |
| 久保倉良三（安全安心のまちづくり協会） | ○金光秀尚（区長推薦） 企画部長 |
| ○村主英明（公署委員） 部長 | 菅野明（麻生区文化協会） |
| 高倉秀敏（公署委員） 副部長 | ○菅原敬子（区長推薦） 委員 |
| 高瀬隆雄（区長推薦） | 高橋庸之（公署委員） |
| ○田中元介（公署委員） | 武澤京子（区長推薦） |
| 長谷川真理子（公署委員） | ○東川健男（公署委員） 副委員長 |
| 横山章（市美化運動実施麻生支部） | 矢野美千代（麻生区社会福祉協議会） |
| 古田謙司（区長推薦） | 山田安之（地域教育会議） 副部長 |
| ○二企画部会所属委員 | （五十音順） |

FAX送信：
044-965-5200

審議テーマや、区民会議の運営についてのご意見・ご提案・ご要望をお寄せいただけますよう、お願いたします。この用紙をFAX、郵送又は直接区役所へご持参いただくか、Eメール（様式は問いません）でお願いします。

第4期区民会議事務局（麻生区役所企画課）にて

（FAX 044-965-5200、Eメール：73kikaku@city.kawasaki.jp）

※この用紙は、下記、区役所HP（区民会議）からダウンロードすることもできます。

URL: <http://www.city.kawasaki.jp/asao/page/0000041065.html>

1. テーマ「子育てしやすい環境づくり」「芸術・文化のまちづくり」について

2. テーマ「子育てしやすい環境づくり」「芸術・文化のまちづくり」について

3. 区民会議の運営について

4. その他

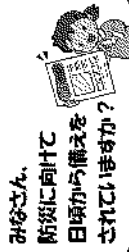
～ご自身についてお答え下さい（それぞれに○をお願いします）～

- ①住所 麻生区内（ 町） ・ 麻生区外（ 市 区）
 ②年齢 20歳未満 ・ 20～29歳 ・ 30～39歳 ・ 40～49歳 ・ 50～59歳
 60～69歳 ・ 70～79歳 ・ 80歳以上

麻生区区民会議ニュース

第4期 Vol.2

平成25年3月19日発行



発行/麻生区区民会議 編集/企画部
事務局/麻生区役所まちづくり推進部企画課
電話：044-965-5112 FAX:044-965-5200 E-mail:73kikaku@city.kawasaki.jp

第4期区民会議「安全・安心のまちづくり部会」では、審議テーマを

「大地震から助かる命を守る」として、

想定される（阪神・淡路大震災と同等の）マグニチュード7.3の川崎市直下地震（麻生区では最大震度6強が想定されます）での麻生区の死者数を0人にすることを目標に、私たち区民にできることを検討します。

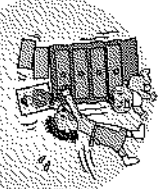
そのため、まず次の3つの最優先テーマに取り組みます。

1. 家屋の倒壊防止



- ・耐震補強が必要な建物の把握とその解消
- ・耐震診断・耐震工事の実施の促進 など

2. 家具の転倒防止



- ・家具・電化製品の固定化の推進、置き場所の見直し など

3. 火災予防・火事発生への対応



- ・火災予防対策、消火活動に備える近隣での設備共有
- ・町内会・マンション等での共有消火器の設置 など

具体的には、モデル事業などの方法により、実践的な活動を展開し、課題解決に取り組みます。また、これらの活動はマスコミなどを通じて区民の皆さんにも広く知っていただくようにいたしますし、区民会議フォーラムなどの機会に発表し、皆さんと一緒に議論したいと考えています。

また、次の段階で

4. 災害時要援護者等への対応

5. 負傷者、生き埋め者の救助

にも取り組みたいですと考えています。

- ・災害時に援護を必要とする方々への対応
- ・負傷者や生き埋め者に対する一人ひとりの早期救助、手当、収容 など

注：平成24年度川崎市地震被害想定調査結果（川崎市直下の地震 冬の18時の場合）では43人

実際に大地震が発生したら、家屋の倒壊、家具の転倒、そして火災が同時多発的に発生する可能性が高いので、公的な援助（救助、治療、消火など）が立ち上がるまでは、自助努力や近隣住民との共助により、区民が主体的に行動しなればなりません。また、普段（大地震が発生する前）から、各自が十分な準備・対策をしておくことで被害を小さくしたり防いだりすることができ、区民の皆さんには、テーマに沿った具体的な対策やアイデアを、積極的にご提案いただきたいと思います。皆さんのご協力をお願いいたします。



もう一つの「若者が住みたくなくなる魅力あるまちづくり部会」では、審議テーマを『子育てしやすい環境づくり』『芸術・文化のまちづくり』の2つ

とし、現状と課題の把握を進めています。

審議の参考とさせていただきます。皆さんの声をお寄せ下さい。



～皆さまのご意見をお寄せください～

審議テーマや区民会議の運営についてのご意見・ご提案を、FAX、郵送、Eメールで区民会議事務局 [麻生区役所企画課] までお送りください。

区民会議事務局 [麻生区役所企画課] 〒215-8570 川崎市麻生区万福寺1-5-1
電話:044-965-5112 FAX:044-965-5200 Eメール:73kikaku@city.kawasaki.jp
URL:http://www.city.kawasaki.jp/asao/category/112-10-1-0-0-0-0-0-0.html

1. 「安全・安心のまちづくり部会」の活動について
2. 「若者が住みたくなくなる魅力あるまちづくり部会」の活動について
3. 区民会議の運営について など

～ご自身についてお答え下さい（それぞれに○をお願いします）～

- ① 住所 麻生区内（ 町） ・ 麻生区外（ 市 区）
- ② 年齢 20歳未満 ・ 20～29歳 ・ 30～39歳 ・ 40～49歳 ・ 50～59歳
60～69歳 ・ 70～79歳 ・ 80歳以上

平成25年7月18日発行

麻生区区民会議ニュース 第4期 Vol.3

発行/麻生区区民会議 編集/企画研究会
事務局/麻生区役所まちづくり推進部企画課
電話：965-5112 FAX:965-5200 E-mail:73kikaku@city.kawasaki.jp

大地震がいつ来ても、何が
あっても、助かる命を守る！
そのための実践的な対策を
一緒に考えましょう。

区民会議7フォーラム開催

第4期区民会議「安全・安心のまちづくり部会」では、審議テーマを

『大地震から助かる命を守る』

として、想定されるマグニチュード7、3の川崎市藍下地震での麻生区の死者数※を0人にするこ
を目標に、私たち区民ができることは何か、鋭意、検討しています。
このフォーラムでは、川崎市を含め多方面で活躍されている専門家のお話を聞き、わが家の安全に
ついて、皆様と一緒に考えたいと思います。

当日先着150名
事前申し込み不要
参加無料

25年9月7日(土) 13:30~16:30
[開場 13:00]

麻生区役所4階 第1・2会議室

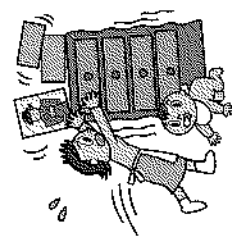
講演

目黒公郎氏 (東京大学教授、川崎市防災対策検討委員会委員長)

災害損失の最小化のためのハード・ソフト両面からの戦略研究を進める。
「現場を見る」「実践的な研究」「重要課題からタックル」がモットー。
大震災に備えて、私たちはどのように取り組むべきでしょうか？

園田眞理子氏 (明治大学教授、川崎市住宅政策審議会会長)

地元川崎市で少子高齢化社会に対応した住宅政策を推進、今期区民会議モデル事業の
アドバイザー、いざという時の備えは、日ごろの安心から
一その知恵と心構え について伺います。



★講演の他、第4期区民会議の中間発表あり

※川崎市地震被害想定調査結果 (平成25年3月) では、
冬の18日に直下型地震が発生した場合、麻生区内死者
数は4-3人と想定されています。

第4期区民会議では「安全・安心のまちづくり部会」と「若者が住みだくなる魅力あるまちづくり部会」
の2部会に分かれて調査審議を進めています。
5月20日に第4回全体会議が開催され、各部会より経過報告がありました。

安全・安心のまちづくり部会ではモデル事業を実施します

おもてページでご紹介したとおり、『大地震から助かる命を守る』をテーマに検討を進めています。
その一環として、区内の実際のお住まいを訪問してモデル事業を実施します。(麻生区ホームページ
・ちらし等で公募)明治大学建築学科の園田教授及び専門技術者に協力いただき、
①必要な家具の固定化工事を無料で実施します。
②実践的な地震安全性向上のためのアドバイズを行います。
モデル事業を実施した成果は広く区民の皆さまにPRして、わが家の地震安全対策をリアルに考え
実践していく行動が、区民のあいだに広がっていくことを目指します。

若者が住みだくなる魅力あるまちづくり部会の進捗状況

麻生区将来推計人口調査によれば2050年には65歳以上の人口が35%になると予想されています。
少子高齢化が進み、このままでは近い将来に街の活力が衰退しがちな状況が心配されます。そこで、区民
会議では「若者がすすみだくなる魅力あるまちづくり」が必要と考え、次の課題を調査審議しています。

『子育てしやすい環境づくり』

【基礎調査】
・子育て世代へアンケートを
データを分析
実施(2月)
調査結果の上位項目

- 子どもが遊ぶ場所、親と一緒に遊ぶ場所が不足
- 保育園の受け入れ定数が不十分
- 気軽に遊べるカフェや交流イベントが欲しい

子育て自主グループ、サロン、ボラン
ティア団体などへヒアリング調査も
実施しました。

同課題とともに幾多の問題点、改善点が浮き彫りになってまいりましたので、それらを更に精
査・熟議して「若者や子供たちも楽しめる芸術文化のまちづくり」と「子育て世代が子育てし
やすい環境づくり」の実現に向けた提言をしたいと考えております。

『芸術・文化のまちづくり』

第3期区民会議の提言内容である、①文化担当
の設置、②麻生文化会議(仮称)の設置、③異視
成事例の見直し、について行取の取り組みを確認
し、同時に、麻生区内で活動している芸術団体、大
学、市民演劇団体等10団体のヒアリングを行い、
若者や子供など多くの市民が楽しめる芸術・文化の
まちづくりに関しての意見・要望をまとめました。

次に、市に対するヒアリングを実施し
芸術文化行政の考え・進め方や、
芸術団体の抱える課題や意見に関し
考えを聞きます。

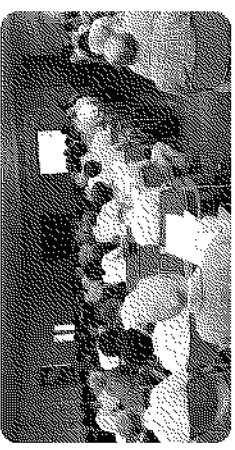


◎区民会議第5回全体会議 8月26日(月)15時から 麻生区役所4階第1会議室で開催

区民会議事務局[麻生区役所企画課] 〒215-8570 川崎市麻生区万福寺1-5-1
電話:044-965-5112 FAX:044-965-5200 Eメール:73kikaku@city.kawasaki.jp
URL: http://www.city.kawasaki.jp/asao/category/112-10-1-0-0-0-0-0.html

区民会議フォーラム、大盛況にて開催！

さる9月7日、「大地震から助かる命を守る」をテーマに、区民会議フォーラムを開催しました。このテーマは第4期区民会議「安全・安心のまちづくり部会」での意識テーマです。フォーラムには153人の方にご来場いただき、会場はほぼ満席となりました。3時間を越える内容にも関わらず、参加者からはもって聴きたいとの声があがり、終了の時間を急遽延長するなど、盛況の内に幕を閉じました。

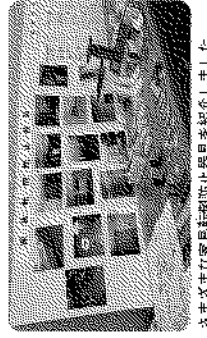


参加者153名。皆さん講師の語に熱心に耳を傾けていました

フォーラムでははじめに、第4期区民会議の3つの部会における具体的な取組について報告しました。

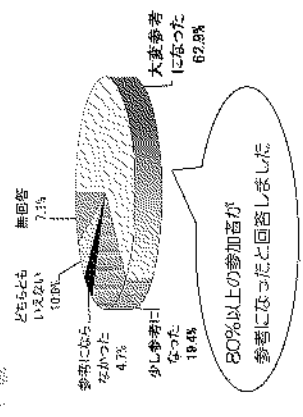
続いて、講師2名の講演が行われました。明治大学の園田眞理子教授からは「いざという時の備えは、日ごろの安心から一そ知恵と必携え」をテーマに、単身世帯の災害時における孤立状況と地域のコミュニケーションづくりに関するお話を伺いました。

東京大学の黒川公郎教授からは「大地震に備えて、私たちがどのように取り組むべきか」をテーマに、家具の転倒、家屋の倒壊などの大地震の被災シミュレーションや命を守るための防災対策のお話を伺いました。また、会場内には展示ブースが設けられ、区民会議のパンフレットや家具転倒防止器具などを紹介しました。多くの方々にご来場いただきありがとうございました。



さまざまな家具転倒防止器具を紹介しました

アンケート「講演はいかがでしたか？」



参加者からの声

- ・園田先生が取り組まれているコミュニケーションの視点となるカフェ「みた・まちもろカフェ」について興味を持ちました。(園田教授の講演)
- ・聞きかたかったのは、これ！人からの情報に惑わされず、自分で判断するという書き方や牛乳パックなど身近なものを活用して家具の転倒を防止する話
- ・区民会議のデジタル事業等の動画内容は全体(区民)へフィードバックする仕組みづくりが重要だと感じた。

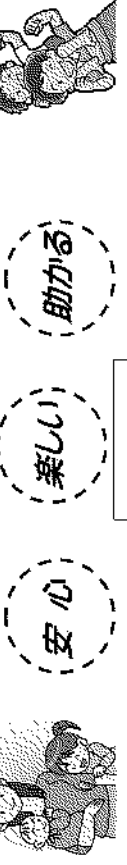
今後の区民会議フォーラムの報告や各部会の活動状況などは、麻生区区民会議のホームページで公開する予定です。



若者が住みたくなくなる魅力あるまちづくり部会の進捗状況

子供で支援グループや芸術文化団体など様々な団体へのヒアリングを行い、議論を重ねた結果、1つのスローガンと3つのキーワードが浮かび上がりました。これらの言葉形にするための方法として、来年の春に、親子間・世代間の交流等を目的とした「あさお子育てフェスタ」の開催を企画しています。

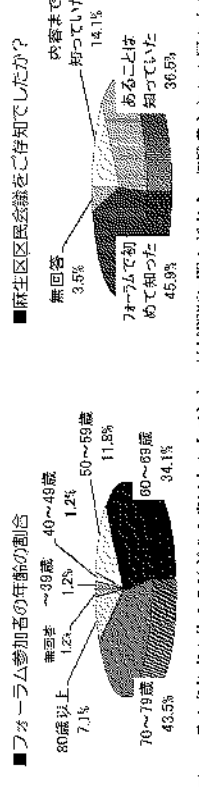
「子育てするなら麻生区で」



あさお子育てフェスタ 開催予定

日時 平成26年4月13日(日)10時半～15時
 会場 麻生区役所内会議室、ロビー等
 ※内容は、子育て情報提供、相談、その他魅力的な企画を検討中です。

区民会議フォーラムのアンケート結果から見えてきた区民会議の現状と課題



フォーラム参加者の約85%が60歳以上の方でした。地域問題に関心が高く、経験豊かなこの層の方々の力をいかに取り込んでいくかが、今後の区民会議の課題と考えます。一方、若い世代は、参加率が低く残念でしたが、秋の「(仮称)子育てフェスタ」への参加を促り、若い世代の関心を高めたいと考えています。認知度調査では、半数近くの方が区民会議を「フォーラムで初めて知った」との回答でした。今回の機会を通じて、多くの方々に区民会議の存在を知って頂くことができました。区民会議がもっと地域の身近な存在になるよう、今後も活動してまいりますので、みなさまの温かいご協力をよりしくお願いします。

- 第4期区民会議では「安全・安心のまちづくり部会」と「若者が住みたくなくなる魅力あるまちづくり部会」の2部会に分かれて調査報告を進めています
- 8月26日に第5回全体会議が開催され、各部会より経過報告がありました
- 第6回の全体会議は11月25日(月)15時から麻生区役所4階第1会議室で開催します。区民会議の取組の進捗に関する内容は、ぜひ関係にお越し下さい。(部会も開催できます)

区民会議事務局(麻生区役所企画課) 〒215-8570 川崎市麻生区万福寺1-5-1
 電話:044-965-5112 FAX:044-965-5200 Eメール:73kikaku@city.kawasaki.jp
 URL:http://www.city.kawasaki.jp/area/category/112-10-1-0-0-0-0-0-0-0-0.html

麻生区区民会議ニュース

第4期 Vol.5

発行：麻生区区民会議・編集：企画部会
事務局／麻生区役所まちづくり推進部企画課
電話：965-5112 / FAX:965-5200 E-mail:73kikaku@city.kawasaki.jp

平成26年2月18日発行

もっと楽しく子育てを、子ども
大人も笑顔になれるように、
麻生区で初めての子育てフェスタ
を開催します！

あさお 子育てフェスタ

テーマは「子育てするなら麻生区で」

第4期区民会議「若者が住みたくなくなる魅力あるまちづくり部会」では、①「子育てしやすい環境づくり」と②「芸術・文化のまちづくり」の2つのテーマについて調査しています。地域の子育て支援グループへのヒアリング調査等から子育て現場の様々な課題を抽出しました。これらの課題解決の糸口とするため、この想、あさお子育てフェスタを開催します。

4月13日(日)10:30~15:00

会場 麻生区役所 小田急線新百合ヶ丘駅北口より徒歩2分

- ◆和光大学が「みんなで歌うパネルシアター」を開催
や「フラックライトシアター」を開催
- ◆「それいけ！アンパンマン ルビィの願い」上映会
- ◆昭和音楽大学ミニコンサートで本格派の音楽に触れる
- ◆子ども用品フリーマーケット(雨天中止)
- ◆子育て情報コーナー

レスポンスあさおではお子様向けにフェスタ特別メニューを提供します

他にもたくさんのご催しを企画しています。詳細は区ホームページで随時情報更新します。
※区役所駐車場は、台数に限りがあります。お越しの際は、公共交通機関をご利用ください。

主催 麻生区区民会議
お問合せ 麻生区役所企画課 TEL 044-965-5112/FAX 044-965-5200



(C)やなせたけい/アンパンマン製作委員会 0003

安全・安心のまちづくり部会からのご報告

区内19戸のお宅にご協力いただき、 家具の転倒防止モデル事業を実施しました。

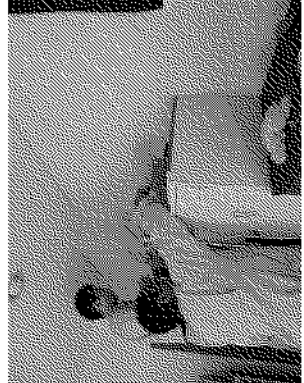
「大地震から助かる命を守る」という審議テーマに基づく最優先テーマの一つ、「家具の転倒防止」に重点を置き、昨年11月~12月にモデル事業を実施しました。モデル事業では、応募いただいた区民のお宅19戸(マンション6戸、戸建て13戸)に専門技術者とともにお邪魔し、計3~4時間ずつかけて、ほぼすべての家具や電化製品を対象に固定工事を施しました(総数439箇所、各戸平均では13個の家具で20箇所を固定)。

家屋の構造や家具の状況に合わせた最適な方法で固定するため、丁寧な事前調査を行ったのちに固定工事を実施しました。住まい方とも関係するため、実施世帯のご家族に確認、納得していただきながら行いました。また、自分でもできることのアドバイスも行いました。

実施世帯へのアンケートでは、不安感が減り安心して生活できるようになったとの感想や感謝のお言葉をいただくとともに、前向きなご意見、ご提案もたくさんいただきました。



前置説明会の様子



家具固定工事中の様子

このモデル事業を通じて、木製家具以外の固定方法など貴重な知識やノウハウを習得することができましたし、成果の普及に向けたアイデアも浮かんできました。今後、この成果を広く区民の皆さまに知っていただき、実際に家具転倒防止を実施していただけるよう、また、総合的に地震安全対策に取り組んでいただけるよう、分かりやすい資料を作成し、普及に努めていきます。

区民会議事務局「麻生区役所企画課」 〒215-8570 川崎市麻生区万福寺 1-5-1
電話：044-965-5112 FAX:044-965-5200 Eメール:73kikaku@city.kawasaki.jp
URL: <http://www.city.kawasaki.jp/asao/category/112-10-1-0-0-0-0-0-0.html>

メディ・あさお No.134

2013（平成25）年2月

こんにちは！ 区民会議です

区民会議をご存じですか。区民の参加と協働によって地域社会の課題を解決し、暮らしやすい社会を築こうと、川崎市内の各区ごとに設置されているもので、麻生区では2006年から始まりました。このコーナーでは、区民会議での協議の模様や、お知らせなどを不定期で紹介していきます。

区民会議の委員は現在20人。昨年6月から第4期の委員が活動しています。現在は市民アンケートで要望が多かった地域の課題から、「安全・安心のまちづくり部会」が「大地震から助かる命を守る」、「若者が住みたくなる魅力あるまちづくり部会」が「子育てしやすい環境づくり」、「芸術・文化のまちづくり」をテーマに決定し、区民からの意見・提案も受け付けながら、調査・審議・試行に取り組んでいます。

ただし目下の悩みは、知名度が低いこと。まずは区民のみなさんに、その存在を覚えてもらわなくちゃ始まらない！

2月25日には午後3時から麻生区役所で第3回全体会が行われ、各部会の経過報告や意見交換が行われます。興味のある人は傍聴してみても。

問い合わせは☎044-965-5112区役所企画課。

メディ・あさお No.141 2013（平成25）年9月

こんにちは！ 区民会議です

このコーナーでは、区民会議での協議の模様や、お知らせなどを不定期で紹介していきます。

昨年3月に川崎市がまとめた地震被害想定調査では、「マグニチュード7.3の川崎市直下型地震」が「冬の午後6時」に発生した場合、麻生区内での死者は43人に及ぶと想定されています。

死者0人を目標に活動している区民会議の「安全・安心まちづくり部会」では、9月7日午後1時30分から麻生区役所で、フォーラム「大地震から助かる命を守る」を開催します。

明治大学教授で市住宅政策審議会会長の園田眞理子さんによる講演「いざという時の備えは、日ごろの安心から—その知識と心構え」、東京大学教授で市防災対策検討委員会委員長の目黒公郎さんによる講演「大地震に備えて、私たちはどのように取り組むべきか？」など。

事前申し込み不要で、参加無料。問い合わせは☎044-965-5112企画課。

マイタウン（ホームページ） 2013（平成25）年9月11日

麻生区の地域情報紙掲載記事 はこちら麻生区 マイタウン掲載部 > 注目の街ネタ TOWN TOPICS > 麻生区区民会議がフォーラム「大地震から

注目の街ネタ TOWN TOPICS

麻生区区民会議がフォーラム「大地震から助かる命を守る」を開催

update : 2013/09/11

9月7日、麻生区役所会議室で、第4期麻生区区民会議が主催するフォーラム「大地震から助かる命を守る」が開催された。フォーラムは、①区民会議委員の紹介と審議状況の報告 ②「いざという時の備えは、日ごろの安心から—その知恵と心構え」をテーマに園田眞理子教授（明治大学）の講演 ③「大地震に備えて、私たちはどのように取り組むべきか？」をテーマに目黒公郎教授（東京大学）の講演、の3部構成。当日は、153名という多くの人が来場し、熱心に講師の話の聞き入っていた。3時間を超えるフォーラムにもかかわらず、参加者からはもっと聴きたいとの声があがり、終了時間を急遽延長するなど、大盛況の内に幕を閉じた。

主催した麻生区区民会議は、地域課題に対して区民自らが主体的に行政と協働して取り組みを行うために設置された機関。テーマごとに2つの専門部会で構成され、それぞれの部会で毎月審議が行われている。今期は「安全・安心のまちづくり」と、「若者が住みたくなる魅力あるまちづくり」の2つがテーマ。

来年の春には子育て世代を対象にした企画を検討しているとのことであるが、どのような形になるのか今から楽しみである。

麻生区
区民会議

一般宅の震災対策に一手

建築専門家らと協力

【モデル住戸の応募条件】

戸建て住宅10戸程度のグループ
マンション・アパートの10戸程度のグループ

※グループ単位で応募
※戸建てグループは同一町内会・自治会に所属しているもの
※マンション・アパートは一棟全戸ではなく、その一部でも構わない
※応募前に地区に説明に来てほしいなどの希望がある場合は
8月9日までに区民会議事務局(区企画課)
☎044-965-5112へ

川崎中直下の地震(マグニチュード7.3)が発生すると、麻生区では最大で死者43人、負傷者1148人の被害が想定されている。「建物の倒壊」と「家具の転倒」「火事」がその要因の9割を占める。阪神

川崎中直下の地震(マグニチュード7.3)が発生すると、麻生区では最大で死者43人、負傷者1148人の被害が想定されている。「建物の倒壊」と「家具の転倒」「火事」がその要因の9割を占める。阪神

地域の課題解決に向け、具体的な取組みなどを協議する麻生区民会議は、一般宅の地震安全性のチェック・改善を実施することを決定した。明大教授ら建築専門家グループと協力し行う。これを受け、区民会議では家具の転倒防止などのアドバイスを受け、一般宅グループを公募し、実施した事例をモデル事業として地域に広めていく方針だ。

8月19日まで公募
区民会議は、同事業の対象となる住戸グループ(10戸程度)を募集している。8月19日締切、8月下旬に実

川崎中直下の地震(マグニチュード7.3)が発生すると、麻生区では最大で死者43人、負傷者1148人の被害が想定されている。「建物の倒壊」と「家具の転倒」「火事」がその要因の9割を占める。阪神

に関する安全性、安全性が十分でない場合は、プロの職人など技術者が実際に家具の固定化や置き場所の改善を無料で行う。どんな助成制度が利用できるかなど、専門家がアドバイスする。改善後にはアンケートや写真撮影などを行い、パンフレットなど広報に使用していく。区民会議の事務局である区企画課鈴木猛課長は「モデル事業を区内全域に広げて、大地震でも無事にいられるようにそなえていきたい」と話している。

実施グループを決定し事前説明会後、9月から10月頃に各住戸の調査を開始する予定。申し込み・問い合わせは区企画課☎044-965-5112まで。

メディ・あさお No.140 2013(平成25)年8月

こんにちは! 区民会議です

このコーナーでは、区民会議での協議の様や、お知らせなどを不定期で紹介していきます。

「大地震から助かる命を守る」をテーマに活動している、区民会議の「安全・安心まちづくり部会」。同部会では現在、地震安全性点検や家具の転倒防止対策といった、安全対策のモデル住宅を区内から募集しています。

募集しているのは同一の町会・自治会・自主防災組織などに加盟している「戸建て住宅10戸程度のグループ」「マンション・アパートの10戸程度のグループ」。明治大学建築学科と建築技術者のグループが、家屋の地震に対する安全性をチェックし、プロの技術者が実

際に家具の置き場所や固定化の方法を改善します。また、助成制度の活用方法などについて、専門家がアドバイスを行います。原則として費用負担はありません。

募集締切りは8月19日まで。同下旬には実施グループを決定し、年内までにモデル事業の実施や実施後のアンケート、ヒアリングなどを行います。詳しい応募方法などの問い合わせや応募前に説明会を開催してほしい、という要望(8月9日まで)などは☎044-965-5112区役所企画課。

麻生区
区民会議

「子育てフェス」協力団体募る

来年4月初開催に向け

「あさお子育てフェスタ」 協力団体募集要項

【開催日時】2014年4月13日(日)
午前10時～午後3時(予定)
【対象】日頃子育て支援を行う市民団体、ボランティア団体、自主グループ、保育園、折紙遊び・人形劇・絵本読み聞かせなどの活動をする団体
【申込締切】12月20日(金)
【問い合わせ】
麻生区企画課(☎044-965-5112)

「あさお子育てフェスタ」は、来年4月に開催されることを決定し、区内の子育て支援の場を提供しようとする。区内の子育てフェスタを来年4月に開催することを決定し、区内の子育て支援の場を提供しようとする。区内の子育てフェスタを来年4月に開催することを決定し、区内の子育て支援の場を提供しようとする。

区民会議の「若者が住みたくある魅力あるまちづくり部会」では、「子育てしやすい環境づくり」と「芸術・文化のまちづくり」が必要素と議論された。そのうち「子育てしやすい環境づくり」については、昨年11月ごろから子育て支援グループへのヒアリングや審議を重ねた結果、「子育て情報の錯綜や気軽に相談できる場所の不足など」課題が抽出された。そこで子育て中の保護者と未就学児を対象に、親子同士・世代間で交流し、楽しみながら集約した情報を発信・収集できる場を提供しようとする。区内の子育てフェスタを来年4月に開催することを決定し、区内の子育て支援の場を提供しようとする。

地域の課題解決に向け、区民が新たな取り組みを審議し、区に提言する麻生区民会議はこのほど、若者が住みたくあるまちづくりを進めるため、来年4月に「あさお子育てフェスタ」を開催することを決定した。それに伴い、日頃子育て支援を行う協力団体を募集している。

「情報得られる機会に」区民会議では12月20日(金)まで、日頃子育て支援を行う市民団体、ボランティア団体、自主グループ、保育園などを募集しており、「子育てフェスタ」でブースを設け、活動の紹介をしてもらう予定だ。会場で行う折紙遊び、人形劇、絵本読み聞かせを企画、開催する団体なども可。

区民会議は区内初となるイベントを盛り上げようと、「麻生区・6大学、公学協働ネットワーク」を締結している昭和音楽大学、玉川大学、田園調布学園大学、日本映画大学、明治大学、和光大学にも協力を依頼。子ども用品限定のフリーマーケットも開催される予定(雨天中止)で、出店者を募集している。区民会議の菅原敬子委員長は「子育て

に関するさまざまな情報が得られる一つの機会を提供できれば」と話す。

「子育てフェスタ」は来年4月13日(日)、麻生区役所内会議室(ロビィ)区役所前広場などで午前10時から午後3時までの開催を予定し、役員企画課(☎044-965-5112)まで、

子育ての情報収集、交流を

13日 区役所でフェスタ

麻生区民会議が主催する「あさお子育てフェスタ」が13日、麻生区役所などで開催される。午前10時30分から午後3時まで。

「子育てするなら麻生区で」安心・楽しい・助かる」をテーマに区内で子育て支援の取り組みを行う団体や大学が集いイベントを実施。昭和音楽大学のミニコンサートや和光大学によるブラックライトシアターが楽しめる催し、巨大ボール

ンを使つての親子遊び、子ども用品フリーマーケットが13日、麻生区役所などで開催される。午前10時30分から午後3時まで。

「子育てするなら麻生区で」安心・楽しい・助かる」をテーマに区内で子育て支援の取り組みを行う団体や大学が集いイベントを実施。昭和音楽大学のミニコンサートや和光大学によるブラックライトシアターが楽しめる催し、巨大ボール

麻生区民会議の事務局となる麻生区役所企画課の担当者は「子どもも大人も笑顔になるイベントです。就学前のお子さんも楽しめる内容で、保護者の方もぜひこの機会に、子育ての色々な情報収集の機会にしてほしい」と来場を呼び掛けている。

子育てフェスに2500人

初開催で賑わい



子ども用品のフリーマーケットに多くの人が

「第1回あさひ子育てフェスタ」主催/麻生区居民会議)が4月13日、麻生区役所で行われた。初開催となった同イベントには地域住民ら約2500人が訪れ、賑わいを見せた。和光大学による「みんなで歌うハネルシアター」

「ブラックライトシアター」(それいけ!アンパンマン)ルビィの願い」上映会、和音楽大学によるミニコンサート、子ども用品のフリーマーケットなどが行われたほか、子育て情報コーナーが設けられ、親子で楽しみながら、子育て情報の取

集や交換などが行われていた。

同区民会議の菅原敏子委員長は「参加団体の皆さまにも熱意をもってご協力していただいた。また、2500人という多くの方に来場していただき、感謝を申し上げます。来場者からは「親子で楽しめた」「子育て情報を得られた」という声も多かったため、子育てに関するイベントは地域のニーズが高いと思う。こ

ういつたイベントを今後継続して実施していきたい」と話した。

地震から命を守る まず、やるべきこと

あなたはいつから
始めますか？

我が家の防災対策はできていますか？

川崎市地震被害想定調査結果（平成 25 年 3 月）によれば、マグニチュード 7.3 の川崎市直下型地震が冬の夕方 6 時に発生した場合、麻生区内の死者数は 43 人、負傷者数は 1,148 人と想定されています。そして、その原因の大部分が「建物の倒壊」と「家具の転倒」と「火事」です。

地震の直撃で死傷しないことが大事

大地震への備えと言えば、水や食料、防災グッズの確保に関心が向きがちですが、それらが役に立つのも、大地震が起きたときの「身の安全」が確保された上でのこと。

起きる前の十分な対策、そして起きてからの適切な行動で、「地震が起きても死傷しないこと」が大事です。

「大地震への備え」で本当に大切なこと

- ・家がつぶれないこと
- ・家具や家電製品の下敷きにならないこと
- ・火災が発生したとき、火が大きくならないうちに消すこと

我が家の中で命を落とさないために！

助かる命を守る

大地震が発生しても、命を落とさないためには、事前に取り組み易く、効果の高い「家具の転倒防止」対策を実施しておくことが不可欠です。

これが「助かる命を守る」につながる大切な第一歩です。

幼いお子さんのために！



地震が起きる前にできること

このパンフレットは、誰でもすぐ簡単にできる「家具や家電製品の転倒、落下防止対策」について分かりやすく解説しています。

麻生区民の皆様、このパンフレットを読んで、命を守るための対策を今から始めましょう！

あなたと大事な人の命を守るために！

高齢の方の安全確保のために！



家具の転倒防止こそが命を救う！！

○家具転倒防止対策でまず考えること

・今の「住まい方」は安全か

夜、寝ているところに家具が倒れてこないか。

→家具の位置を移動しよう、寝る場所を変えてみよう

・ライフステージ、ライフスタイルが変わるかも

将来も家具の配置は、現状のままか…子供の独立、高齢化等家具、家電製品の買い替えはしないか

→変わらないなら、金具などで家具をがっちり固定（3ページ参照）

→家具を動かす（買い替える）可能性があるなら、アイプレートと結束バンドで固定（3・4ページ参照）

・家の構造を確認する

家具、家電製品が壁、柱で固定できるところにあるか
木造家屋の天井は構造上、固定対象にならない場合が多い

・家具転倒防止対策で不便にならないように

金具で固定できない家具・家電にもできることがある
掃除で普段動かすことも考えて

ピタッと止めて、寝もぐっすり！



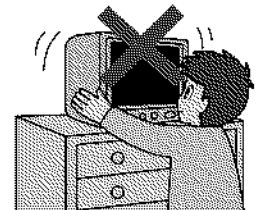
→家具を止める間柱を探す
（3・6ページ参照）

→滑り止めだけでも効果あり
（4・5ページ参照）

★今回ご紹介する転倒防止対策は、固定方法、家具、家の構造などにより効果が異なります。

○モデル事業*から学ぶこと

- ・意外と簡単 ⇒ コツさえつかめば素人でもできることが多い
- ・プロ（大工さん、工務店等）にお願いした方がよいこともある
⇒ 困ったときには大工さん、工務店に気軽に相談する。



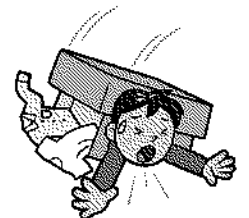
※モデル事業…平成25年11～12月に、麻生区区民会議主催で、麻生区内の19戸の協力家庭で家具転倒防止工事を実施しました。

○モデル事業実施世帯へのアンケートから

- ・95%の世帯が「家具の転倒への不安感が減り、安心して生活できるようになった」、79%の世帯が「ご近所、知人、友人にも家具転倒防止の有効性を伝えようと思った」と回答
- ・家具転倒防止だけでなく自主的な「備え」をやっていこうという意識が向上したとの意見も

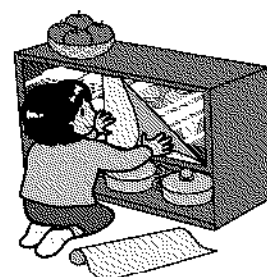
○モデル事業に参加したプロの声（専門技術者からのひとこと）

- ・日常生活の使い勝手と家具転倒防止との折り合いは、様々な固定方法を組み合わせることで、ほぼどんな場合にも対応できます。
- ・施工をプロに頼む場合には、皆さんが心から安心できるよう、十分に相談しましょう。

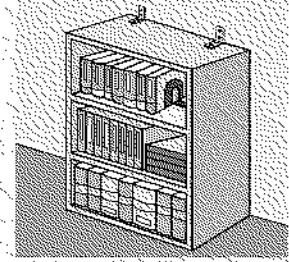
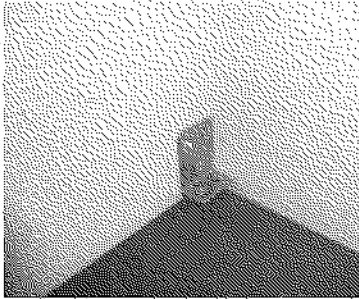


○ガラス飛散防止や落下物への対応も必要

- ・避難路を確保するためにも食器棚等にガラス飛散防止フィルムを張ることや、壁掛け、置物、本などを固定することも大切です。



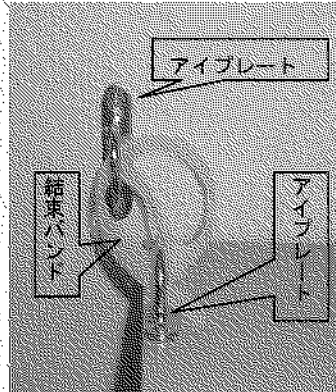
◆L字型金具による固定



・金具の大きさ、ネジ穴の位置、形状等、種類がたくさんあります。

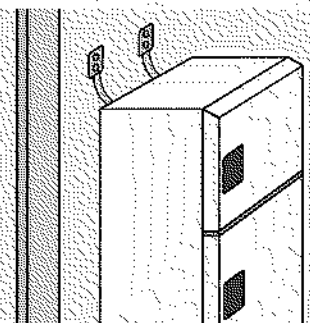
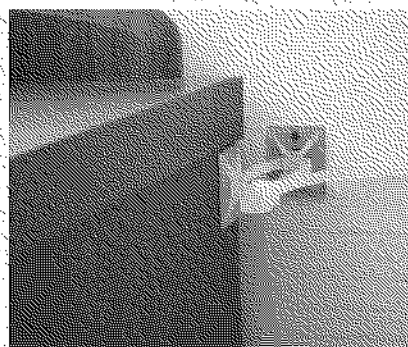
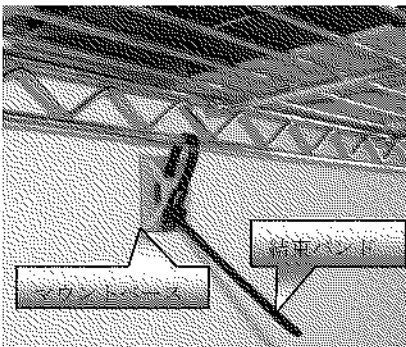
- ・ホームセンターで、100円程度からです。
- ・壁に止める場合は、壁の中の固いところ（間柱）を下地探し器で探して止めます。
- ・マンションの場合は、管理規約などによる制約や手続きが必要となる場合があります。
- ・木造住宅以外（軽量鉄骨造など）については、大工さん、工務店に相談しましょう。
- ・家具側も造りをしっかり見極め、天板などの固いところで止めます。

◆アイプレート(金具)による固定



- ・壁と家具にネジ止めします。
- ・アイプレートは結束バンドやワイヤー、ターンバックルと組合せて使います。
- ・ホームセンターで、一個300円程度です。
- ・L字型金具と同様に壁側、家具側ともしっかりしたところに取り付けます。

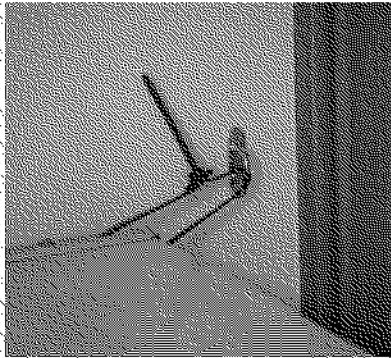
◆マウントベース(プラスチック製の留め具)による固定



- ・ネジや両面テープで、壁、柱と家具に取り付けます。
- ・マウントベースは結束バンドやワイヤー、ターンバックルと組合せて使います。
- ・1個、50円程度です。
- ・ホームセンターや通信販売で手に入ります。

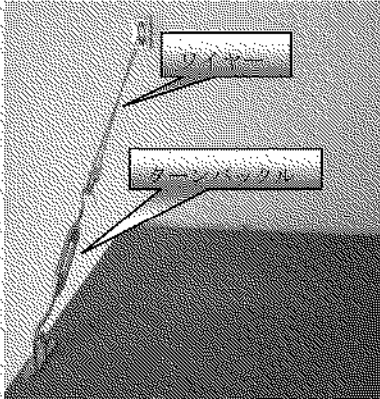
家具・家電製品の転倒防止方法

◆結束バンド(長さが簡単に調整できるプラスチック製のベルト)による固定



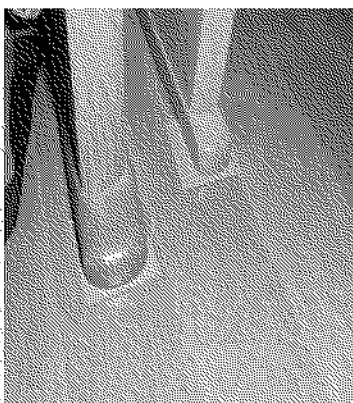
- ・ケーブルタイとも言います。
- ・様々な長さがあります。
- ・アイプレートやマウントベースと組合せて使います。
- ・何回も取り外しできるものと1回限りのものと2つのタイプあります。
- ・1袋100本入りで、500円程度。ホームセンターや通信販売で手に入ります。

◆ターンバックル(長さが調整できるネジ式の金具)による固定



- ・アイプレート、マウントベース、結束バンド、ワイヤー等と組合せて使います。
- ・様々な大きさがあります。
- ・取り外しができます。
- ・材質、大きさにより価格は様々ですが、15cm程度で300円くらいからです。
- ・ホームセンターや通信販売で手に入ります。

◆ノンスリップシート(滑り止め)の使い方



- ・大地震の時、家具等はフローリングの上をはねたり滑ったり、高い置き場所からすべり落ちるので、「滑り止めシート」の活用は意外と有効です。
- ・食器棚、テーブル等の家具の下や電子レンジ、炊飯器等の家電製品の下にも敷きます。
- ・30cm四方の大きさのものを用途に合わせて、自分で切って使います。
- ・他の転倒防止対策と組み合わせて使うと効果的です。
- ・30cm四方のもの4枚入り1袋で、3000円程度です。
- ・ホームセンターや通信販売で手に入ります。

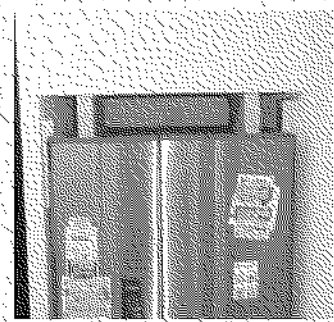
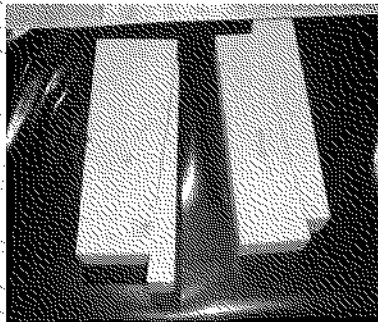
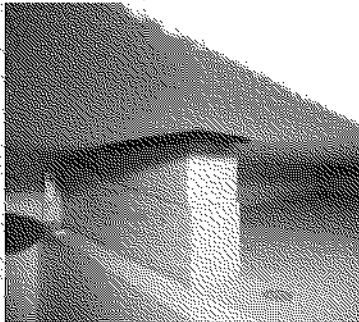
家具・家電製品の転倒防止方法

◆キャスターストッパー(キャスターホルダー)による固定



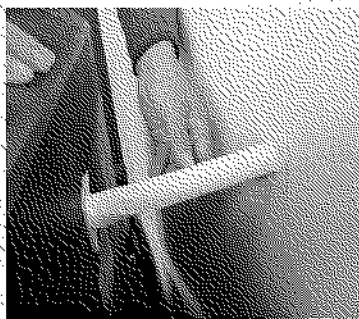
- ・テレビボードやパソコンラック等のキャスター付家具に使います。
- ・様々なサイズがあり、キャスターの大きさに合わせます。
- ・小さいもので1個200円くらいです。
- ・ストッパーの底面に「滑り止めシート」をストッパーのかたち形状に合わせて貼ると非常に効果的です。

◆「くさび」による固定



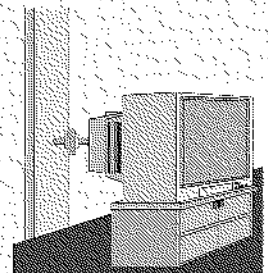
- ・木材で作ります。
- ・家具が前に倒れようとする「締まる」ので、ガッチリ止めてくれます。逆方向にトンと叩けば簡単に外れます。
- ・冷蔵庫等、将来買い替えが予想される家具、家電製品の固定に便利です。
- ・材料費は安く済みますが、固定場所に合わせた寸法に切ることがポイントです。斜めの角度も大事ですので、写真を参考にしてください。

◆マジックテープによる固定



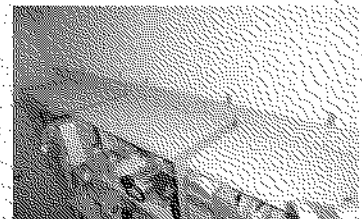
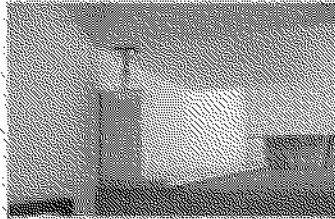
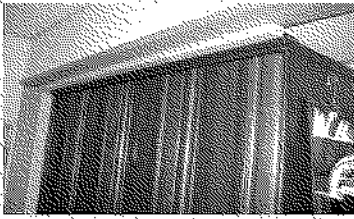
- ・家具やテレビ等と壁との間に「すき間」がある場合、板や紙筒とマジックテープで固定します。
- ・紙筒はラップの芯などを使います。

- ・両端に数cm切り込みを入れて開き、マジックテープに貼り付けます。
取り外しが簡単なので、お掃除の邪魔になりません。
- ・マジックテープは10cm四方で500円程度からです。
- ・ホームセンターや通信販売で手に入ります。



家具・家電製品の転倒防止方法

◆木材を利用した様々な工夫



(写真左) タンスが前に飛び出さないよう鴨居に木材を取り付けた例

(写真中) 家具と天井の間を木材と小型ジャッキで固定した例

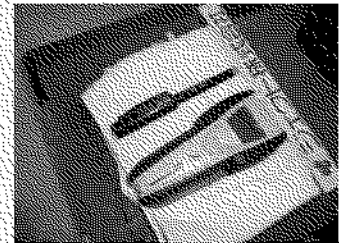
(写真右) 三連式家具と壁側の固定位置がずれているため、先ず壁に木材を取り付け、それに家具を固定した例

★あれば便利！ お助けアイテム！★

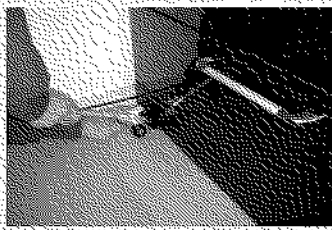
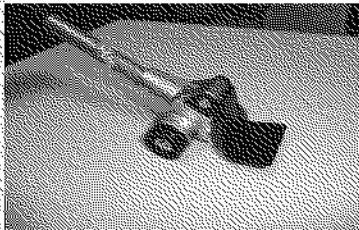
◇下地探し器(下地センサー)



- ・壁側の固定位置(間柱)を探すのに便利です。
- ・センサー式は3000円程度から、針で探す方式は1500円程度です。
- ・ホームセンターや通信販売で手に入ります。



◇リフター



- ・家具の下にノンスリップシートを差し込む時など、重い家具を持ち上げるのに便利です。
- ・1個1500円程度です。
- ・ホームセンターや通信販売で手に入ります。

◇パール(金てこ)

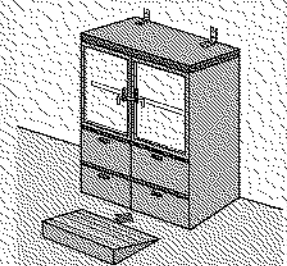


- ・家具の持ち上げに使います。
- ・大きさ、材質が様々あります。
- ・1本2000円程度からです。
- ・どちらも、ホームセンターや通信販売で手に入ります。

◇電動ドライバー



- ・金具のネジ止めに便利です。
- ・高価な充電式でなく、コード式(8000円程度)で十分です。



※マンションは、管理規約により、工事に管理組合や施工会社と調整が必要な場合があります。

家が倒壊しないことが助かる大前提！

○「木造住宅の耐震診断と耐震改修」

昭和56年5月31日(新耐震基準の導入)以前に建てられた建物は、耐震性が低い可能性があります。一度、耐震診断を受けてみましょう。川崎市では一定の条件を満たしている住宅の耐震診断を無料で耐震診断士を派遣して行っています。

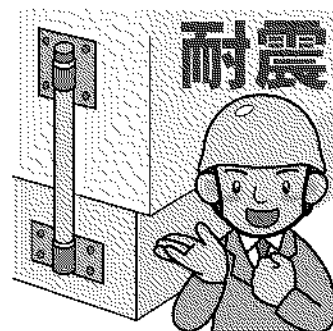
(参考) インターネットのできる簡易診断…「誰でもできるわが家の耐震診断」(日本建築防災協会)

<http://www.kenchiku-bosai.or.jp/seismic/wagaya.html>

○「木造住宅耐震改修助成制度」

昭和56年5月31日以前に建てられた建物で耐震性が低いものについて、耐震性を高めるための工事にかかった費用の一部を助成します。

※問い合わせは、川崎市役所まちづくり局指導部建築監察課
建築防災担当へ (☎044-200-3017)



○耐震シェルター

建物倒壊から寝る場所の安全を確保するため、様々なタイプの耐震シェルターが開発されています。値段は設置費用込みで40~50万程度です。

初期消火は自分たちの手で！

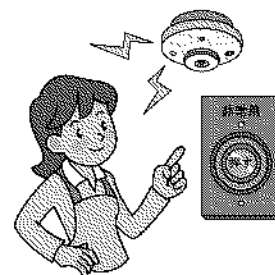
地震発生時、「死なない」ために大事なことのひとつに「火災発生への対応」があります。

出火してすぐの小さな火であれば、自分たちで消火しましょう。

そして、手に負えないと思ったら、そこから逃げて自分の命を守ることが大切です。

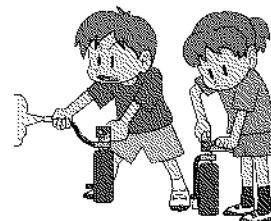
○消火器、住宅用火災警報器の設置

- 一般の住宅については、法令による消火器設置の義務はありませんが、消火器は初期消火の道具として最も一般的で身近なものです。
 - 消火器の使い方はラベルに書いてありますが、いざという時に使えるように地域の消火訓練等に積極的に参加し、使用方法を確認しましょう。
 - 平成23年6月1日に住宅用火災警報器の設置が義務化されましたが、麻生区ではまだ4戸に1戸程度が未設置です。
- ★火災から命を守るためにも、消火器などの設置をすすめましょう。



○隣り近所との初期消火への取り組み

- 初期消火の段階で隣り近所の方々協力しあうことは、大切なことです。
- 街路等への共有消火器の設置は、初期消火を効果的に行うためにも必要です。



○意外と多い「通電火災」への対策

- 地震による停電から復旧した時に発生する「通電火災」を避けるために、避難する時にはブレーカーを落としておくか、「感震ブレーカー」を設置しましょう。
- 「感震ブレーカー」には様々なタイプがあります。

さあ！まずはお宅の家具転倒防止から！

東日本大震災から3年が過ぎましたが、今後30年以内に70%の確率で首都直下地震が発生すると懸念されています。(川崎市地震被害想定調査…平成25年3月)

大地震への備えが必要ですが、その中で意外な盲点が地震発生の瞬間に命を守る対策である「家具等の転倒防止」、「家屋の耐震化」であることがわかってきました。

地震の揺れが大きかった阪神・淡路大震災では、亡くなった方の約8割が家具転倒を含む建物被害で亡くなりました(阪神・淡路大震災の死者にかかる調査について…平成17年12月22日兵庫県発表)。

地震対策として真っ先に行うべきことは、地震発生の瞬間に死なないことです。そのためには、『家具等の転倒防止対策』を実施しなければなりません。

安全な空間をつくる

◇『防災は「楽しみながらやる」時代』

防災対策は日頃から「やらなければならない」と思いつつ、なかなか取り組めないものです。

そこでこれからは、お子さんやご家族と一緒に考えながら、楽しみながらやってみてはいかがでしょうか。

家具・家電の転倒防止対策では、家具の配置を考えたり、滑り止めシートを敷くこと等、お子さんと一緒にできることがあります。

みらいの命を守る

地域コミュニティでの助け合い

◇みんなで守る向こう三軒両隣

大地震が発生し、本格的な支援体制が整うまでは、ご近所との「助け合い」が不可欠です。そこで大切になることが、日頃からのお付き合いです。ご近所との日頃からのコミュニケーションを大切に！



◇災害時要援護者への支援

災害時には高齢者や障害のある方等、避難するために支援の必要な方もいます。日頃のご近所付き合いの中で、支援の必要な方を知っておき、災害時には皆で助け合って支援しましょう。また、災害発生時には、避難に支援が必要な方に正確な情報を提供することも大切です。



☆この資料に関する

お問い合わせ☆

麻生区役所企画課 (区民会議事務局)

TEL 044-965-5112

/ FAX 044-965-5200



第4期麻生区区民会議報告書

(平成26年6月)

発行：麻生区区民会議

事務局：麻生区役所まちづくり推進部企画課

〒215-8570 川崎市麻生区万福寺 1-5-1

電話：044-965-5112 F A X：044-965-5200

E-mail：73kikaku@city.kawasaki.jp

平成26年 月 日 発行